“HIS MASTER'S VOICE” Victor

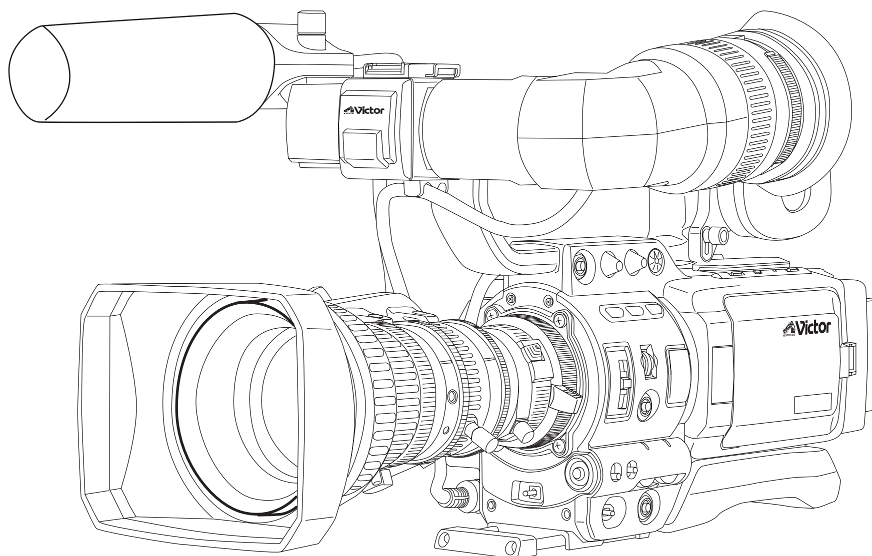
はじめに
各部の名称と
はたらき
準備
準備操作
撮影前の設定
撮影
再生
外部機器を使う
メニュー画面
カメラ部の各種
機能について
その他

HD カメラ レコーダー

型名 GY-HD100

取扱説明書（B）

HDV Mini DV



* イラストは GY-HD100HD カメラレコーダーに付属のレンズ・ビューファインダー・マイクを取り付けた例です。

お買い上げ有難うございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめ下さい。

LST0398-001A

このたびは**HD**カメラレコーダー

GY-HD100を

お買いあげいただき

ありがとうございます。

HDV / Mini DV

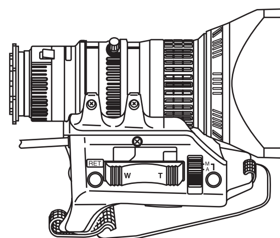
このカメラレコーダーはHDV/DV方式のビデオです。
Mini DV のマークのついたビデオカセットがご使用になれます。

他のセット（GY-HD100含む）で記録したテープを本機で記録または再生した場合、異なった機器での撮影時の環境条件等により次の様な現象が起こることがあります。
- 他のセットで記録した場面とのつなぎ部で記録が乱れることがあります。
- 再生時、トラッキングズレによるデジタルノイズが現れることがあります。

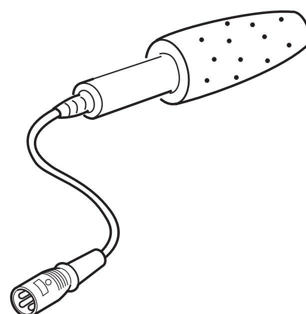
- 本機はSPモードで記録・再生します。LPモードでの記録や再生はできません。（DVフォーマット時）
- 大切な記録の場合には巻き始め部分のテープの乱れをさけるため、テープ頭から2～3分の間には記録しないでください。
- 大切な記録の場合には、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画（録音）されていることを確かめてください。
- 録画（録音）したものは個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。
- 万一、本機およびビデオカセットテープなどの不具合により、正常に録画（録音）されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の保証についてはご容赦ください。

* 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
本書では™、®、©などのマークは記載していません。

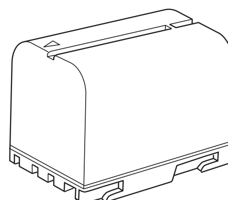
付属品



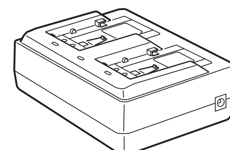
レンズ



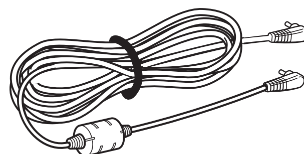
マイクロホン



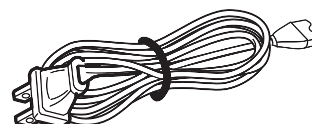
バッテリー



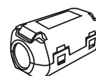
ACアダプター



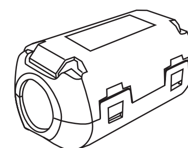
DCケーブル



パワーコード



コアフィルター
DCケーブル（グレー）／
ビューファインダー
ケーブル（黒）用



クランプフィルター
オーディオ／
IEEE1394ケーブル用

主な特長

- 本機は、HDV フォーマットまたは DV フォーマットで記録します。
  DV フォーマットは、ミニDV カセットにSD（Standard-Definition）映像を記録・再生できます。
  HDV フォーマットは、ミニ DV カセットに HD（High-Definition）またはSD（Standard-Definition）映像を記録・再生できます。
  HDVフォーマットには、2種類の記録フォーマットがあります。
  HDV 720p（有効走査線数720本、プログレッシブ走査）
  HDV 1080i（有効走査線数1080本、インターレース走査）
  本機は、HDV 720pフォーマットに対応しています。（HDV 720p、480p、576p）
  HDVおよび HDV はソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。

- 24pモード撮影機能
  HDVフォーマット時は24P記録です。
  テープへの記録時に2：3：2：3プルダウンされて60コマに変換します。再生の場合もコンポーネント出力は、60コマに変換されます。
  DVフォーマット24p映像は、2:3:2:3プルダウン（24Pモード）または2:3:3:2プルダウン（24Pアドバンスモード）に対応しています。
  映画フィルムと同じコマ数で撮影できます。

- DVCAM フォーマットで記録されたテープの再生のみ可能です。（簡易再生）
  DVCAMフォーマットでの記録はできません。
  DVCAMはソニー株式会社の商標です。

- HDまたはHDTV信号の60Hz/50Hz方式に対応
  HDまたはHDTV信号が60Hzおよび50Hzの両方式に対応しています。メニュー画面で選択できます。

- クロスコンバート映像出力
  再生時、フォーマット変換した映像を映像信号出力端子から出力できます。メニュー画面で選択できます。

- フォーカスアシスト機能
  撮影時のフォーカス合わせが簡単かつ正確におこなえます。

- モーションスムース機能
  プログレッシップ撮影時（HDV 30p、25p、24p）の映像を通常のプログレッシブ映像より滑らかな映像で記録できます。

- ユーザーボタンを装備
  撮影条件に合わせてカメラ設定を瞬時に切り換えることができます。

- タイムコードリーダー／ジェネレーター内蔵
  タイムコードおよびユーザーズビットの記録が可能です。

- 大型3.5型カラー液晶ディスプレイ搭載
  カメラ映像、再生画の他にステータス画面、メニュー設定画面やアラーム表示をします。

- 音声の確認が容易なモニタースピーカー内蔵
  記録／EEモード時は入力音声、再生モード時は再生音声を確認できます。本機に異常が発生した場合、アラーム音を出力します。

- 記録の確認に便利な録画チェック機能の採用

- カメラ部は3-CCD方式による高画質設計
  1/3型3CCD有効111万画素を搭載。デジタル信号処理によるHDV/DV高画質を再現します。

- マルチゾーンオートアイリス検出回路採用
  マルチゾーンアイリス検出回路により逆光時、または明るい被写体の画面移動の場合でもスムーズなアイリス応答をします。

- セーフティゾーンをビューファインダーに表示

- ゼブラパターンによりビデオレベルをビューファインダーに表示

- フルオートシューティング（FAS）機能
  屋内から野外へ、明るい場所から暗い場所へ、いろいろな撮影条件に対し、わずらわしいスイッチやフィルターの操作なしで、自動的に対応する機能です。

- NDフィルター 1/4ND、1/16NDを装備

- IEEE1394端子搭載
  IEEE1394端子（6ピン）を搭載。ノンリニア編集システムなど他のIEEE1394 端子を装備している機器にデジタルデータを転送することができます。（電源供給はできません。）

- 1/3型バヨネット方式レンズ採用

- カメラ出力、VTR再生出力（コンポジット／コンポーネント）可能

- カラーバー内蔵（ARIB（マルチフォーマットカラーバー）、SMPTE/EBUタイプ）

- シャッター速度やメニューの選択をダイヤルでおこなうことができ、操作性に優れています。

- バリアブルスキャンシャッター
  パソコン画面などNTSC/PAL方式以外の画面を撮影する際のちらつきをなくします。

- スローシャッター
  映像を蓄積することで暗く、動きの少ない被写体の映像を明るく撮影できます。

- バックアップレコーディング機能
  HDV/DV機器との連結により、連続長時間記録が可能です。

目次

撮影

再生

外部機器を使う

メニュー画面

カメラの各種機能について

その他

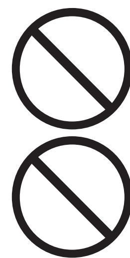
はじめに

使用上のご注意

- 電源電圧
  DC6.5V～7.9V以内であることを確認してください。電圧が低下すると色が変化したり、ノイズが出たりします。また、7.9Vをこえると損傷を受けることがあります。
- 周囲温度、湿度
  許容周囲温度は0℃～40℃、湿度30％RH～80％RHの範囲を守ってご使用ください。許容周囲温度の範囲外でご使用されると、故障の原因となるばかりでなく、CCDに重大な影響をあたえ画面上に白い点があらわれる現象が発生することがあります。十分ご留意ください。
- 強い電波や磁気の影響
  ラジオやテレビの送信アンテナに近いところ、変圧器、モーターなど強い磁気が発生するところやトランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近くでは、画像や音声にノイズが入ったり色彩に変化を生じることがあります。
- ワイヤレスマイクをカメラの近くで使用するとき
  本機で撮影中、ワイヤレスマイクおよび受信機を使用すると、ノイズがワイヤレス受信機に飛び込むことがありますので、ご注意ください。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 極端に暑いところや寒いところ
  - ゴミやほこりの多いところ
  - 湿気の多いところ
  - 調理台の近くなど油煙や湯気のあたる場所
  - 振動の激しいところや不安定なところ
  - 直射日光のあたる車の中や暖房機の近くに長時間放置しないでください。
- 放射線やX線、および腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。
- 本機を水でぬらさないでください。
  (雨の日の撮影では、特にご注意ください)
- 海辺で使用する場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。
  また、塩分、砂などがボディーに付着していることがあります。撮影後のお手入れをお忘れなく。
- 砂浜など、砂ぼこりが多い場所でご使用になるときには、内部に砂などが入らないよう、十分注意してください。
- レンズ光学性能について
  レンズの光学性能上、画面周辺において色ズレ現象（倍率色収差）を起こす場合があります。
  カメラの異常ではありません。
- 再生画とEE画の切り換え時、ビューファインダー画面にノイズが出ることがあります。
- 本機は立てた状態で使用してください。
  横にして使用すると放熱効果が悪くなりテープ走行に悪影響を及ぼします。また、場合によってはテープを傷めることがあります。
- 振動の影響
  振動の多い場所でVTRを再生すると、色がつかなかったり、画像や音声が乱れることがあります。
- 持ち運ぶ場合のご注意
  本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにご注意ください。
- 輸送するときはカセットテープを取り出してください。
- カセット挿入口に異物などを入れないでください。長時間使用しないときはカセットテープを取り出しカセットカバーを閉じてください。
- 録画や再生中に、直接［POWER］スイッチを切ったり、電源ケーブルを外さないでください。テープを傷める原因となります。
- 付属のマイクロホンの感度設定は基準入力（–60dBs）より低めに設定されています。
- ご使用にならないときは、節電のため、［POWER］スイッチを“OFF”に設定してください。
- 本機清掃の際は外装キャビネット部はやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンなどではふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。よごれがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきをしてください。
- 電源投入直後は数秒間、安定した映像が見られませんが故障ではありません。
- カセットテープのローディングおよびイジェクト動作時に内蔵ヘッドクリーナーの動作音がしますが異常ではありません。
- 液晶画面およびビューファインダーについて
  液晶画面やビューファインダー画面は精度の高い技術で作られています。液晶画面やビューファインダー画面に黒い点が現れたり、赤、青、白の点が消えないことがありますが、故障ではありません。これらの点は、記録されません。
- 長時間連続して使用した場合、ビューファインダー画面に表示した文字などが、一定時間残ることがあります。これは、テープには記録されません。また、一度電源を入れ直すと、表示されません。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。これは、テープには記録されません。
- 指や異物をカセット挿入口に入れないでください。けがやメカ故障の原因となります。
- 電源は付属のACアダプターをご使用ください。
- 電源コードは指定（付属）のものをお使いください。
  指定以外のコードを使用したり、傷んでいるコードを使用すると火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コードは、本機以外の機器で使わないでください。
- 映像信号出力端子をご使用にならないときは、端子の破損を防ぐため端子カバーを取り付けた状態でご使用ください。

⚠注意

- レンズやファインダーを太陽などの強い光源に向けない。
  - 目をいためる原因になります。
  - また、レンズやファインダーを太陽に向けたままにしておくと、集光により内部が破損し故障や火災の原因になります。
- カメラを持つ場合は必ずキャリングハンドルを持つようにしてください。レンズやビューファインダーを持つと損傷する場合があります。

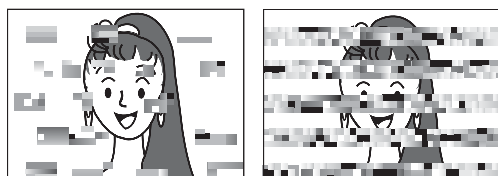


日常保守と定期点検について

本機は精密な機構部品で構成されています。これらの機構部品はお使いになるにつれて、汚れや磨耗、劣化が進みます。一方、VTRを長時間使用することにより、一般環境下でも、ヘッド、ドラムおよびテープ走行系に塵埃が次第に付着していきます。特に屋外での使用時は、塵埃が内部に入り込む可能性があります。これらの塵埃がテープとヘッドの接触を悪化させて、良好な画質、音質を確保できなくしたり、機構部品の磨耗や劣化を促進します。これらの事を予防するため、日常的な保守として、ヘッドクリーニングテープによる清掃を行なってください。また、ヘッドクリーニングテープによる清掃だけではテープ走行系の全体に渡って完全に清掃できません。突然の故障による不具合を避けるため、計画的な定期点検（メンテナンス）を実施してください。なお、部品の交換、調整、整備は高度な技術や設備を要しますので、別紙のサービス窓口案内に記載されているビクターサービスセンターの業務機器担当にご相談ください。

ヘッドクリーニングについて

- 良好な画質、音質を得るため専用ヘッドクリーニングテープでヘッドの清掃を定期的（☞「クリーニングテープ使用上のご注意」）に実施してください。ヘッドクリーニングを定期的に行なわないと、モザイク状のノイズ（ブロックノイズ）が画面に現れます。



ブロックノイズ

- ヘッドクリーニングテープはビクター製のものをお使いください。専用のヘッドクリーニングテープ以外はお使いになれません。
  ヘッドクリーニングテープの使用方法および使用上の注意は☞「クリーニングテープ使用上のご注意」
- 本機では、ヘッドにゴミが付着した場合、再生、エデットサーチおよびレンズ部のRETボタンによる録画チェック時、液晶画面やビューファインダー画面に"HEAD CLEANING REQUIRED!"と表示します。

定期点検（メンテナンス）について

内容 ： 使用時間によっては、次のような機構部品の点検または交換を実施してください。

使用時間	500H	1000H	1500H	2000H
ドラム組立（ヘッド含む）	○	☆	☆	●
テープガイド、ローラー類	○	☆	☆	●
ベルトギア類	―	☆	☆	●
駆動系部品	―	―	☆	●

○：クリーニング点検、調整
☆：クリーニング点検、必要に応じ交換
●：交換

- 実施内容は使用環境、方法により異なることがあります。目安としてお考えください。

時間管理
本機の使用時間はアワーメーター（ドラムおよびファンモーター使用時間）の表示で確認できます。☞ 93 ページ「アワーメーター表示のしかた」

メンテナンスの計画、費用などのご相談は、お買い上げの販売店または別紙のサービス窓口案内に記載しているビクターサービスセンターの業務機器担当へお願いします。

クリーニングテープ使用上のご注意

クリーニングテープはビクター製のものをお使いください。下記の注意事項を守って、クリーニングテープをご使用ください。

1. クリーニングテープを挿入します。
   クリーニングテープのローディングを完了してからPLAY/STILLボタンを押してください。
   1回の使用時間はPLAYモードで10秒です。（自動的に停止し、STOPモードに入ります。）
2. 一度の清掃での使用回数は4回までです。

■ ヘッドクリーニングは下表を目安にして、定期的におこなってください。

セット使用	低温	常温	高温
環境	0℃～10℃	10℃～35℃	35℃～40℃
クリーニングテープ使用の目安	5時間毎に1～2回	20～30時間毎に1～2回	5時間毎に1～2回

注1） 低湿条件下で使用する場合は左表の半分の時間を目安にヘッドクリーニングをおこなってください。
注2） 万一クリーニング直後にM-DV80テープを誤って使用してしまった場合、HEAD CLEANING REQUIRED!表示が消えない場合がありますが、しばらくテープを走行させることで、この表示は消えます。
注3） クリーニングテープは常温（10℃～35℃）でお使いください。
注4） クリーニングテープのケース内にクリーニングテープの使用方法についての記載がありますが、本紙の記載内容と一部異なる部分があります。
クリーニングテープの使用方法については本紙の記載内容に従ってください。
注5） ヘッドクリーニングを繰り返してもHEAD CLEANING REQUIRED!表示が消えない場合、記録テープの異状が考えられますので繰り返しクリーニングテープのご使用は避けてください。

使用バッテリーについて

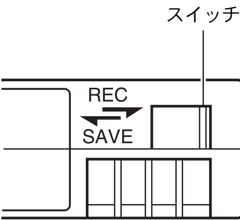
本機は、次のバッテリーが使用できます。
- BN-V428、BN-V438



不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用カセットテープについて

- 本機にはビクター製 MiniDV マークのついた専用ビデオカセットテープをお使いください。
- ミニDVカセット： M-DV63HD
  M-DV63PRO
  * M-DV80は使用しないでください。
- ビデオカセットテープは裏返しでは使えません。
- 不均一な巻き取り状態のままの保管は避けてください。テープをいためる原因になります。テープの始めまで巻戻して保管してください。
- カセットは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保存してください。
- カセットテープは繰り返し使用すると、ドロップアウトなどによりノイズが増えて、充分な性能を維持できなくなります。汚れたり傷んだテープをそのまま繰り返し使わないでください。回転ヘッドの寿命を短くする原因になります。
- MiniDV マークのついたビデオカセットには背面に誤消去防止用のスイッチがあります。
- 大切な記録を消したくない場合にはスイッチを“SAVE”側にスライドさせてください。
- 記録する場合はスイッチのスライド片を“REC”側にスライドさせてください。



■ 貴重な映像をよりよい状態で記録・保存するために

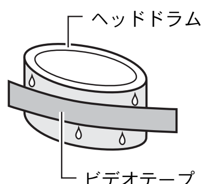
つぎのことがらをお守りいただくと、最良の状態で映像を記録・保存することができます。
- ビデオテープの使用環境・保存環境に気をつけましょう。以下の温湿度条件での、ご使用・保管をおすすめします。

	記録環境	保存環境	
		短期保存（10年以内）	長期保存（10年以上）
温度	17℃～25℃	15℃～23℃	15℃～19℃
湿度	30％～70％	40％～55％	25％～35％
1時間あたりの温度変化	10℃以内	—	—
1時間あたりの湿度変化	10％以内	—	—

- 一年に一度はビデオテープの巻き直しをしましょう。ビデオテープを長期間、巻いたままにしておくと、ゆがみが起きることがあります。またテープ同士がくっついてしまうこともあります。一年に一度は早送り、巻き戻しをして新鮮な空気に触れさせましょう。
- ビデオカセットはケースに収め、立てて並べましょう。収納ケースは、湿度やホコリ、紫外線からビデオテープを守ります。ケースに収めて保管しましょう。また並べるときは立てておきましょう。横積みにしてカセットの重みで歪んだり、ビデオテープの上下端が変形することを防げます。

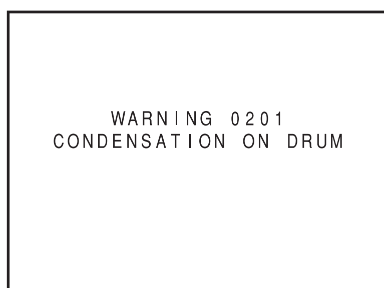
つゆ付きについて

- 本機を冷えきった状態から急に暖かいところへ移した場合、暖かい空気に含まれている水蒸気が暖まりきっていないヘッドドラムやテープガイドなどに付き、冷やされて水滴となって付着することがあります。この状態を"つゆつき（結露）"といいます。つゆつき状態になるとビデオテープが、ヘッドドラムやテープガイドに貼り付きテープを傷めてしまいます。
- "つゆつき"はこのようなときに起こります。
  - 本機を寒い所から急に暖かい所に移動したとき
  - 暖房した直後の部屋やエアコンなどの冷風が直接あたるとき
  - 湿気の多い所で使用したとき



カセットテープを入れたまま寒い室外から暖かい室内など大きな温度環境変化を伴なう移動は、おこなわないでください。 移動したときは、機器内部が安定するまで使用しないでください。

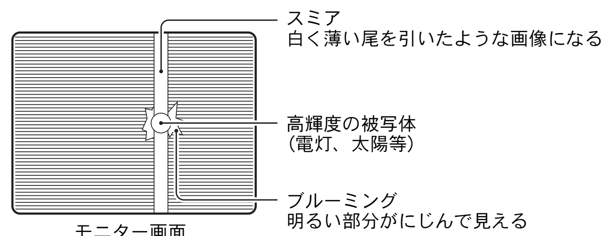
- 本機が"つゆつき"状態時、液晶画面やビューファインダー画面に"CONDENSATION ON DRUM"と表示します。



電源を入れた状態で放置し、WARNING表示が消えるまで待ってください。
- 結露表示が出る前にも結露にご注意ください。
  結露は徐々に進行しますので、内部で結露が始まってから10～15分間は、結露表示が出ない場合があります。
  特に温度が低い寒冷地では、露が凍結し、霜になることがあります。霜が溶けて露になるまでさらに2～3時間ほどかかります。
- つゆつきを防ぐには
  温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、本機をビニール袋に入れて密閉してから移動します。
  本機が移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、つゆつきを防ぐことができます。

CCD固有の現象について

スミアとブルーミング
CCDは高輝度の光源を撮影すると、その光源の垂直方向上下に白いスジが入る現象（スミア）および、光源が非常に明るい場合、その周囲に光が広がって見える現象（ブルーミング）が発生します。
本機では、スミアおよびブルーミングが特に少ないCCDを使用していますが、高輝度の光源の撮影時には発生します。



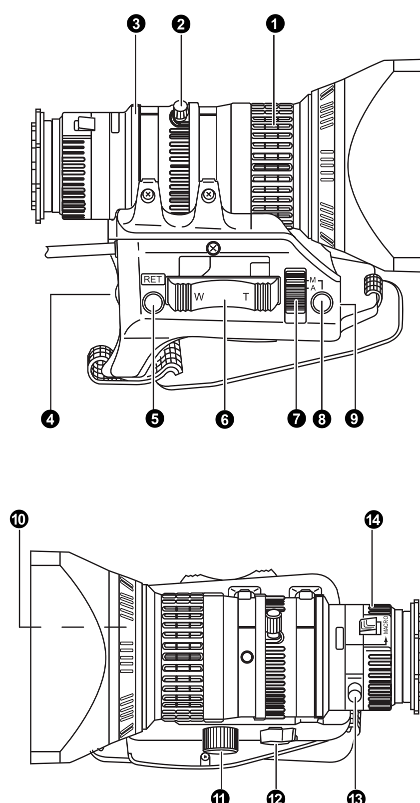
折り返しひずみ
縞模様、線などを写すと、ギザギザに見えることがあります。

白点
高温時に動作させると、画面に白点が現れることがあります。特に増感時に目立ってきます。
これは固体撮像素子CCDの特性です。できるだけ本機の温度が上らない状態で使用してください。

各部の名称とはたらき

ズームレンズ部（付属）

Th16x5.5BRMU



❶フォーカスリング
手動フォーカスリングです。

❷ズームレバー／リング
レバー付き手動ズームリングです。このレバーでズームを動作させる場合はZOOMスイッチ⓬を回しMにします。

❸アイリスリング
手動アイリスリングです。オートアイリスを動作させるにはアイリスモードスイッチ❼をAにします。

❹[VTR]VTRトリガーボタン
VTRの録画をスタート／ストップさせるボタンです。

❺[RET]リターンビデオボタン
このボタンを押している間だけVTR部からのリターンビデオ信号をビューファインダー、液晶画面、映像信号出力端子からモニターできます。
SWITCH MODEメニュー画面のLENS RET項目を"FOCUS ASSIST"に設定時は、FOCUS ASSISTボタンとして使用できます。
☞ 71 ページ

❻ズームサーボコントロールレバー
ズームサーボのコントロールレバーでズームサーボを動作させるにはZOOMスイッチ⓬をSにします。

- このレバーを W の方向に押すにつれてズームレンズが広角となり写角が広くなります。
- また、T の方向に押すにつれてレンズが望遠となり写角が狭くなります。
- 強くレバーを押すとズームの速度も早くなります。

❼アイリスモードスイッチ
A　：オートアイリスで動作します。
M　：手動アイリス操作用のモードになります。

❽アイリスモーメンタリーボタン
アイリスモードスイッチ❼がMの位置の時、このボタンを押している間だけオートアイリスモードになります。

❾[S]アイリススピード調整ボリューム
アイリスの動作スピードを調整するボリュームです。

メモ

スピードを速くしすぎると、アイリスの開閉が安定せず、ハンチングをおこすことがあります。再調整してください。

❿フィルターはめ込みネジ
レンズ保護のため透明フィルターかUVフィルターをレンズフード内側に前面からねじ込んで装着できます。各種効果のためのフィルターの使用も可能です。

⓫ズームサーボコネクター
別売のズームサーボユニットを接続するためのコネクターです。

⓬[ZOOM]ズームモードスイッチ
S　：ズームサーボコントロールレバー❻でズームを操作できます。
M　：ズームレバー／リング❷でズームを操作します。

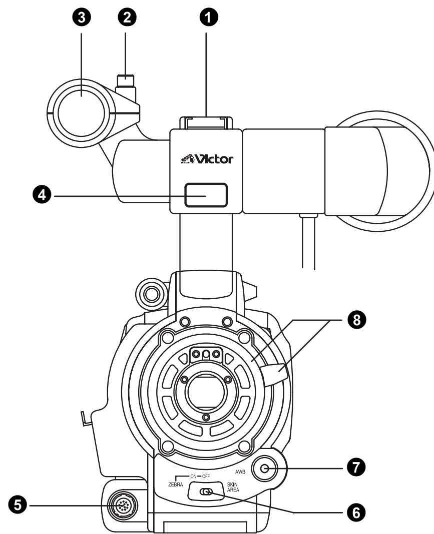
⓭バックフォーカスリング／固定ネジ
バックフォーカスの調整専用リングです。調整後固定ネジで止めます。☞ 44 ページ「バックフォーカスの調整」

⓮[MACRO]マクロフォーカスリング（クローズアップ用）
このリングを矢印方向に回すと極めて小さなものを接近してクローズアップ撮影することができます。
マクロモードでは通常のフォーカス調整やズーム撮影はできません。
マクロ撮影するには、フォーカスリング❶を無限遠（∞）に、ズームリング❷を最大広角位置にセットします。焦点調整は、このリングを矢印方向に回転させ被写体に焦点を合わせます。

ご注意

- バックフォーカスノブが近いところにありますので、間違えないようご注意ください。
- 終了後はマクロリングを戻すことを忘れないでください。
☞ 30 ページ「ズームレンズの取付方法（付属）」
☞ 44 ページ「バックフォーカスの調整」

前面部



❶シュー
この部分に別売のライトやアクセサリーを取り付けることができます。

❷ノブ
マイクホルダーの固定ノブです。

❸マイクホルダー
この部分に付属のマイクロホンや別売のマイクを取り付けることができます。
☞ 30 ページ「マイクロホンの取付方法（付属）」

❹フロントタリーランプ
本機が記録モードになると点灯します。記録モードへの移行中は点滅します。
テープが終了した場合やVTRがワーニングに入った場合は早く点滅します。
- OTHERS[1/2]メニュー画面のFRONT TALLY項目で点灯の有無や点灯方法を選択できます。
☞ 80 ページ

❺[LENS]レンズ端子
レンズからの12ピンコネクターを接続します。

ピン番号	内容	ピン番号	内容
1	リターンスイッチ	7	アイリス位置
2	VTRトリガー	8	アイリスA/R入力
3	GND	9	EXTENDER位置
4	レンズAUTO/MANU制御	10	ズーム位置
5	アイリス制御	11	—
6	+12V DC	12	—

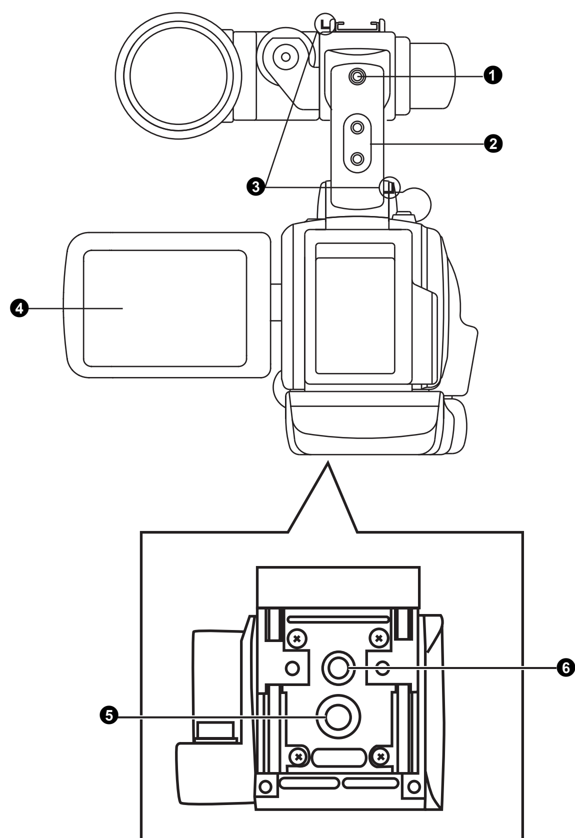
❻[ZEBRA]ゼブラスイッチ
このスイッチをONにするとメニューで選択したビデオ信号の輝度レベルの部分に斜めの縞模様（ゼブラパターン）を液晶画面やビューファインダー上に表示します。手動でレンズアイリスを調整する時の目安にします。カラーバー出力時もこのスイッチをONにするとゼブラ表示します。
- 初期設定値は70～80％ですが、LCD/VF[1/3]メニュー画面のZEBRA項目の設定で変更することができます。
☞ 74 ページ

このスイッチをSKIN AREA側にすると、スイッチを倒している間、ADVANCED　PROCESSメニュー画面のSKIN COLOR ADJUST項目で設定した色相のエリアをビューファインダーや液晶画面に表示します。スイッチを離すとOFFの位置にもどります。
☞ 86 ページ「スキンディテールの使い方」
* ビューファインダーや液晶画面にカラーバーや VTR の再生画を出力している時には、スキンディテールの色相エリアは表示しません。

❼[AWB]オートホワイトバランスボタン
15ページ⓭WHT. BALスイッチがAまたはBに設定時、このボタンを押すとホワイトバランスを自動的に合わせます。
* プリセット、フルオートシューティング、フルオートホワイトバランス、カラーバーの各モードでは作動しません。
☞ 45 ページ「ホワイトバランスの調整」

❽レンズ取付リング／レンズ固定レバー
レンズを取り外す際は、レンズを持ちレンズ固定レバーを反時計回方向に回して外します。
レンズ取り付けの際は、レンズのガイドピンが良く合っていることを確かめてから、レンズ固定レバーを時計方向に回して固定します。
☞ 30 ページ「ズームレンズの取付方法（付属）」

後面部



❶バックタリーランプ
本機が記録モードになると点灯します。記録モードへの移行中は点滅します。
テープが終了した場合やVTRがワーニングに入った場合は早く点滅します。
- OTHERS[1/2]メニュー画面のBACK TALLY項目で点灯の有無や点灯方法を選択できます。
☞ 80 ページ

❷[PHONES]イヤホン端子
音声モニター用のイヤホン接続端子です。Φ3.5プラグのイヤホンやヘッドホーンを接続します。また、状況に応じたアラーム音もモニターできます。
出力される音声チャンネルは、AUDIO/MIC[2/2]メニュー画面のAUDIO MONITOR項目および18ページ ⓯ MONITOR SELECTスイッチで選択できます。
音声の出力レベルは 14 ページ ❸ MONITOR レベルボリュームで調整できます。

メモ
- アラーム音の大きさは OTHERS[1/2] メニュー画面のALARM VR LEVEL項目で設定できます。
- ステレオタイプのジャックを使用時、ステレオ音声を出力する場合は、次の様な設定にしてください。
18ページ⓯ MONITOR SELECTスイッチをBOTHに設定する。
AUDIO/MIC[2/2]メニュー画面のAUDIO MONITOR項目をSTEREOに設定する。

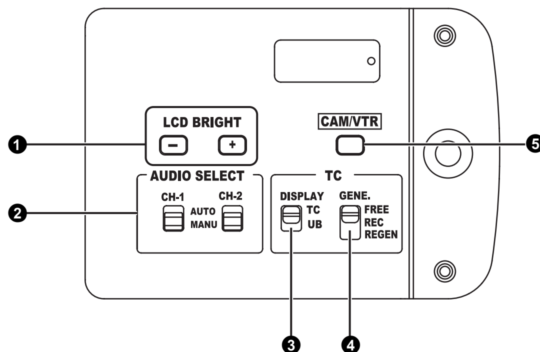
❸ショルダーベルト取り付け部
別売のショルダーベルトを取り付けます。

❹液晶画面
カメラ画やVTR再生画を表示します。
また、次のような表示をします。
- メニュー設定画面
- カメラ撮影やVTR再生モードの設定状態のキャラクター表示
- 日付・時刻やタイムコード表示
- オーディオレベルメーター表示
- 警告表示など
☞ 19 ページ

❺三脚取り付け穴
本機を三脚などに取り付ける場合は、この穴を使用します。（ネジ長さは7mm以下のものを使用してください。）
確実に取り付けてください。

❻回転防止用穴
本機を三脚などに取り付ける場合は、落下防止のため、この回転防止穴を利用し、確実に取り付けてください。

LCDドア収納部



❶[LCD BRIGHT +/–]LCDブライト+/–ボタン
液晶画面表示の明るさを調節するためのボタンです。
- +側のボタンを押すと明るくなります。
- –側のボタンを押すと暗くなります。
- +/–ボタンを同時に押すと標準設定に戻ります。

❷[CH-1/CH-2 AUDIO SELECT]CH-1/CH-2オーディオ選択スイッチ
CH-1またはCH-2オーディオチャンネルの録音レベルを調節する方法を選択します。

AUTO ：入力レベルに応じて、録音レベルは自動で設定されます。過大音声入力時は、リミッターが働いて録音レベルをおさえます。
15ページ⑰ CH-1/CH-2 AUDIO LEVEL部の"AUTO"表示灯が点灯します。

MANUAL ：15ページ⑰ CH-1/CH-2 AUDIO LEVELボリュームで録音レベルを調節できます。
この場合も過大音声入力時は、リミッターが働いて録音レベルをおさえます。

❸[TC DISPLAY]TC/UB表示切換スイッチ
液晶画面やビューファインダーのTCカウンター表示の内容を切り換えます。（LCD/VF[2/3]メニュー画面のTC/UB項目がON設定時、有効です。）

TC ：タイムコード値を表示します。
UB ：ユーザーズビット値を表示します。

❹[TC GENE.]タイムコードジェネレーター切換スイッチ
タイムコードジェネレーターをプリセットモードにするか、リジェネモードにするかの切り換えスイッチです。また、プリセットモード時の歩進モードを選択します。

FREE ：プリセットモードになり、歩進モードはフリーランモードになります。
タイムコードやユーザーズビットを新たに設定（プリセット）し、記録するとき、この位置に設定します。この位置でプリセットすると、タイムコードは常に歩進を続けます。
* この位置でつなぎ撮りを行なうと、つなぎ部でタイムコードは不連続になります。

REC ：プリセットモードになり、歩進モードはレコランモードになります。
タイムコードやユーザーズビットを新たに設定（プリセット）し、記録するとき、この位置に設定します。記録中のみ、タイムコードが歩進します。つなぎ撮りをするとき、この位置にすると、タイムコードは連続して記録されます。

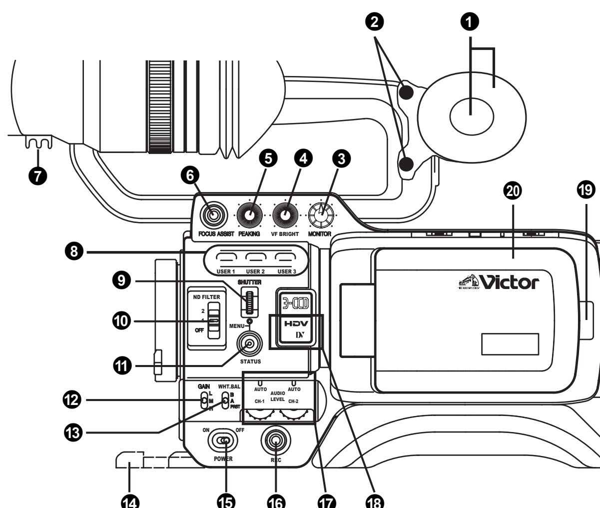
REGEN ：リジェネモードになります。テープに記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するタイムコードを記録します。途中までタイムコードが記録されたテープにタイムコードを新たに継ぎたいときにこの設定にします。

メモ

タイムコードやユーザーズビットのプリセットはTC/UB/CLOCKメニュー画面でおこないます。
☞ 40 ページ
☞ 77 ページ「TC/UB/CLOCKメニュー画面」

❺[CAM/VTR]カメラ/VTRモード切換ボタン
このボタンを押す毎に、カメラモードまたはVTRモードに切り換わります。
このとき、18ページ⑰VTRインジケーターが下記の状態になります。
モード切換中 ： 点滅
VTRモード時 ： 点灯
カメラモード時： 消灯
- カメラ映像を撮影するときは、カメラモードにします。
- VTRを再生するときや、16ページ❹IEEE1394端子からのHDV/DV信号を入力または出力するときは、VTRモードにします。
- 電源投入時は、カメラモードになります。

右側面部



❶モニタースピーカー（チークパット）
- カメラモード時、入力音声の EE モニターができます。VTRモード時、再生すると、再生音声を出力します。出力する音声は18ページ⓯ MONITOR SELECTスイッチで選択します。
- スピーカーの音量は ❸ MONITOR レベルボリュームで調節します。また、各種ワーニングの警告音を重畳して出力します。
  ☞ 91 ページ「アラーム音」

❷チークパット固定ネジ
チークパットの高さ調整用のネジです。

❸[MONITOR]オーディオモニターレベルボリューム
モニタースピーカーおよびイヤホンの音量を調整します。

❹[VF BRIGHT]ビューファインダー輝度調整ボリューム
ビューファインダー画面の明るさを調整します。
☞ 43 ページ

❺[PEAKING]輪郭調整ボリューム
液晶画面とビューファインダー画面の輪郭を調整します。
* フォーカスアシスト動作中このボリュームは機能しません。
  ☞ 43 ページ

❻[FOCUS ASSIST]フォーカスアシストボタン
撮影時、このボタンを押すと、合焦部分が青、赤、緑色のいずれかで表示され、正確なフォーカスを合わせやすくなります。
☞ 74 ページ「LCD/VF[1/3]メニュー画面」

❼クランプ
ビューファインダーからのケーブルをここに取り付けます。

❽[USER1/2/3]ユーザーボタン
USER1～3ボタンにカメラ機能を割り付けることができます。
被写体に合わせて、撮影条件を切り換えるときなどに活用します。
SWITCH MODEメニュー画面のUSER1～3項目で設定します。
☞ 71 ページ

メモ

- USERボタンの操作は、メニュー設定値と連動します。
- メニュー画面表示中は、メニュー操作ボタンとしても機能します。☞ 62 ページ「メニュー画面の設定方法」

❾[SHUTTER]シャッター／メニューダイヤル
- 通常画面時（メニュー画面が表示されていない状態）、このダイヤルを押す毎にシャッタースピードのON/OFFを切り換えます。
- 通常画面時にこのダイヤルを上下に回すと現在のシャッタースピードを液晶画面やビューファインダーに約3秒間表示します。シャッタースピード表示中にこのダイヤルを回すとシャッタースピードが切り換わります。
  ☞ 71 ページ
- メニュー画面表示中にこのダイヤルを上下に回すと、カーソル（▶）が上下に移動し項目の選択がおこなえます。項目の設定値を変えるには、このダイヤルを押し設定値を点滅させてからダイヤルを上、下に回します。
  ☞ 62 ページ「メニュー画面の設定方法」

❿[ND FILTER]NDフィルター切換スイッチ
内蔵のNDフィルターを切り換えます。

OFF ：フィルター OFF（FILTER OFF）
1 ：光量を約1/4にカットします。（1/4ND）
2 ：光量を約1/16にカットします。（1/16ND）

このスイッチを切り換えると、液晶画面やビューファインダー画面に切り換えたNDフィルターの種類を表示します。

ご注意

撮影中にNDフィルターを切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
☞ 47 ページ「カメラの設定」

⓫[STATUS]ステータス／メニューボタン
- 通常画面時（メニュー画面が表示されていない状態）、このボタンを押すとステータス画面がビューファインダーや液晶画面に表示されます。つづけてボタンを押すと、ボタンを押すごとにステータス画面が切り換わります。
  ☞ 19 ページ「ステータス画面」
- 通常画面時、このボタンを1秒以上押すと、ビューファインダーや液晶画面にメニュー画面が表示されます。メニュー画面表示中に、このボタンを押すとビューファインダーに表示されていたメニュー画面は消えます。
  ☞ 62 ページ「メニュー画面の設定方法」

⑫[GAIN]感度選択スイッチ
被写体の照度が不足している場合、電気的に増感するスイッチです。
スイッチのポジションにより、下記の様に増感されます。
（工場出荷時）
L　：0dB（増感は行ないません。）
M　：6dB（約2倍に増感します。）
H　：12dB（約4倍に増感します。）
- 各ポジションの増感レベルはSWITCH MODEメニュー画面で設定できます。☞ 71 ページ
増感する程画面はザラついた感じになります。
- 18ページ⑱FULL AUTOスイッチが“ON”のときは、“ALC”固定になります。

⑬[WHT.BAL]ホワイトバランス選択スイッチ
このスイッチで3種類のホワイトバランスの切り換えができます。

B：Bに記録されたホワイトバランスに切り替わります。スイッチがこのポジションのときオートホワイトを実行すると、ホワイトバランスがBに記録されます。
A：Aに記録されたホワイトバランスに切り替わります。スイッチがこのポジションのときオートホワイトを実行すると、ホワイトバランスがAに記録されます。
PRST (PRESET)：CAMERA OPERATIONメニュー画面のPRESET TEMP.項目で設定したホワイトバランス（3200Kまたは5600K）に切り換わります。☞ 66 ページ

SWITCH MODEメニュー画面でFAW（フルオートホワイトバランス）モードをA、BまたはPRESETに割り付けできます。
☞ 71 ページ
FAWモードの場合は常時、映像の色温度をサンプリングして適切なホワイトバランスになるように自動的に調整されます。
- 18ページ⑱FULL AUTOスイッチが“ON”のときは、“FAW”固定になります。

⑭スタンド
レンズ装着時に前方へスライドして使用します。

ご注意

レンズを装着しない状態では、本機がビューファインダー側に倒れる恐れがありますので、本機をご使用にならない場合でもレンズを装着してください。

⑮[POWER]電源ON/OFFスイッチ
電源をON/OFFにするスイッチです。
電源OFF時、“POFF”表示が液晶画面やビューファインダーに表示されます。
* 電源を再投入する場合は、5 秒以上時間を空けてください。

⑯[REC]RECトリガーボタン（録画スタート／ストップ）
このボタンで録画スタート／ストップを行います。
（上面部RECトリガーボタンやレンズ部VTRトリガーボタンと連動しています。）
OTHERS[2/2]メニュー画面の1394 REC TRIGGER項目を“SPLIT”に設定したとき、このボタンは、外部機器の録画スタート／ストップボタンになります。
☞ 81 ページ
☞ 60 ページ「バックアップ記録」

⑰[CH-1/CH-2 AUDIO LEVEL]CH-1/CH-2録音レベルボリューム・AUTO表示灯
CH-1またはCH-2オーディオチャンネルの録音レベルを調節します。
- このボリュームを使用する場合は 13 ページ ❷CH-1/CH-2 AUDIO SELECTスイッチを“MANUAL”側に設定します。
- 18ページ⑱FULL AUTOスイッチが“ON”または13ページ❷CH-1/CH-2 AUDIO SELECTスイッチが“AUTO”設定時に“AUTO”表示灯が点灯します。（録音レベルボリュームは効きません。）

⑱[HDV/DV表示灯]
- カメラモード時、撮影する映像フォーマットの設定に応じて点灯します。
- VTRモード時、テープに記録されている映像フォーマットまたはIEEE1394入力の映像フォーマットに応じて点灯します。

HDV：HDVフォーマットのとき点灯します。
DV　：DVフォーマットのとき点灯します。

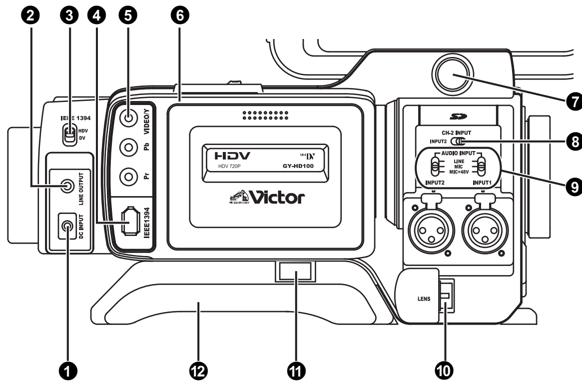
メモ

- システムエラー時、HDV/DVが交互に点滅します。
☞ 90 ページ
- 点灯の有無は、OTHERS[1/2] メニュー画面の FORMAT LED項目で選択します。
☞ 80 ページ

⑲LCDドアロック解除つまみ
LCDドアを開くとき、このつまみを背面方向に動かします。

⑳LCDドア
液晶画面（LCD）用ドアです。
ドアの内面に液晶画面があります。このドアを開くと、液晶画面を見ることができます。ドアを回すことにより、液晶画面の向きを変えたり、向きを外側にして本体に収納することができます。
☞ 43 ページ

左側面部



❶[DC INPUT]DC電源入力端子
DC 7.2V電源入力端子です。
付属のACアダプターと接続します。
☞ 32 ページ「AC電源による駆動」

❷[LINE OUTPUT]ライン出力端子（Φ3.5mm）
音声信号の出力端子です。
- カメラモード時、入力音声信号を出力します。
- VTRモード時、再生音声信号を出力します。
- HDV/DV信号（IEEE1394）を入力時は、入力音声信号のEE音声を出力します。

メモ

アラーム音は出力しません。

❸[IEEE1394]IEEE1394スイッチ
❹IEEE1394端子から入出力信号および再生信号の映像フォーマットに応じて、このスイッチを設定します。

HDV ：HDVフォーマットのとき。
DV ：DVフォーマットのとき。

❹[IEEE1394]IEEE1394端子（6ピン）
IEEE1394ケーブル（別売）で[IEEE1394]端子を搭載したデジタルビデオ機器と接続します。
☞ 56 ページ「IEEE1394ケーブルをつなぐ」
☞ 58 ページ「HDV/DV機器でダビングする」

❺[VIDEO/Y、PB、PR]映像信号出力端子（RCA）
コンポーネントまたはコンポジットビデオ信号を出力する端子です。
この端子に接続したケーブルの状態に応じて自動的に信号を切り換えます。
- VIDEO FORMATメニュー画面のOUTPUT TERMINAL項目で出力信号を選択できます。
また、SET UP項目でセットアップの有無を選択できます。☞ 65 ページ
- OTHERS[1/2]メニュー画面のOUTPUT CHAR.項目がONのとき、映像信号出力端子の映像にもメニュー設定画面を表示します。☞ 80 ページ
☞ 57 ページ「AV機器でダビングする」

メモ

この端子をご使用にならないときは、端子カバーを取り付けてください。

❻カセットカバー
上面にある17ページ⓫EJECTスイッチをスライドさせると、このカバーが開き、カセットテープの出し入れができます。

ご注意

カセットカバーを開けた状態で長時間放置しないでください。VTR内部にゴミなどが入り、故障の原因となる場合があります。

❼ビューファインダー端子（6ピン）
ビューファインダーからのケーブルを接続します。

❽[CH-2 INPUT]CH-2オーディオ入力端子選択スイッチ
CH-2オーディオの入力音声端子を選択します。

INPUT1 ：❿INPUT1端子の音声をCH-2へ入力します。
INPUT2 ：❿INPUT2端子の音声をCH-2へ入力します。

メモ

INPUT1端子の音声は、設定に関係なくCH-1にも入力します。

❾[AUDIO INPUT]オーディオ入力信号選択スイッチ
INPUT1またはINPUT2端子に入力する音声信号を選択します。

LINE ：オーディオ機器などと接続するとき、この設定にします。入力基準レベルは+4dBsとなります。
MIC ：ダイナミックマイクを接続するときこの設定にします。
MIC+48V マイク電源として+48Vの供給が必要なマイク（ファントムマイク）を接続するときこの設定にします。

ご注意

+48V供給が不要な機器を接続するときは、MIC+48Vの位置に設定されていないことを確認のうえ、接続してください。

メモ

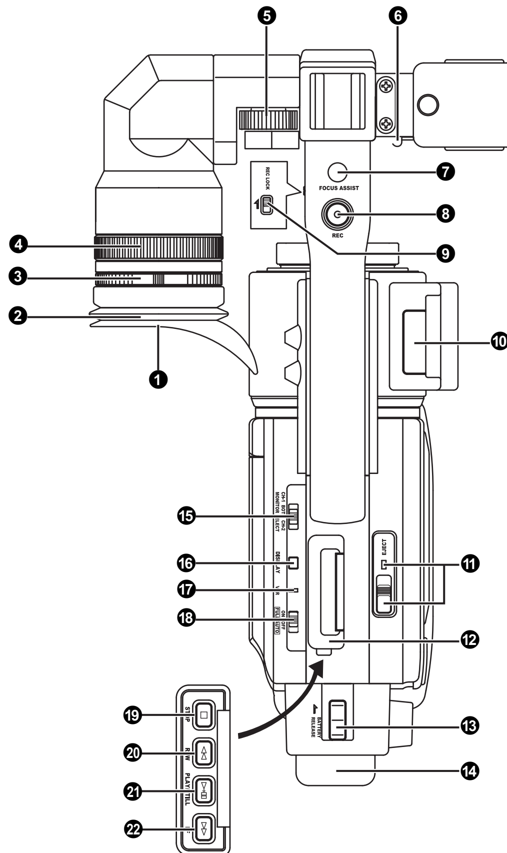
MICおよびMIC+48V設定時の入力基準レベルは、AUDIO/MICメニュー画面のINPUT1、2 MIC REF.項目で選択できます。
☞ 72 ページ

❿[INPUT1/INPUT2]INPUT1/INPUT2オーディオ入力端子
外部のオーディオ機器やマイクを接続するオーディオ入力端子です。
- 接続する機器に応じて❾[AUDIO INPUT]スイッチを設定してください。
- CH-2オーディオへ入力する端子を❽[CH-2 INPUT]スイッチで設定してください。
設定した端子よりCH-2音声が記録されます。

⓫ショルダーパットスライドボタン
ショルダーパット位置調整ボタンです。
このボタンを押すと、⓬ショルダーパットの位置を前後に調整できます。

⓬ショルダーパット

上面部



❶ビューファインダー
カメラ映像や再生画を表示します。

❷接眼部（アイピース）
ビューファインダー画面やカメラマンの視覚に外部から光が入らないようにします。

❸アイピースフォーカスリング
このリングを回すことによって視度調整ができます。

❹接眼部固定リング
このリングをゆるめ、アイピースの位置を前後に調整できます。

❺スライド固定リング
このリングをゆるめ、ビューファインダーの位置を左右に調整できます。

❻クランプ
マイクロホンのケーブルをここに取り付けます。

❼**[FOCUS ASSIST]**フォーカスアシストボタン
撮影時、このボタンを押すと、合焦部分が青、赤、緑色のいずれかで表示され、正確なフォーカスを合わせやすくなります。
☞ 74 ページ「LCD/VF[1/3]メニュー画面」

❽**[REC]REC**トリガーボタン（録画スタート／ストップ）
このボタンで録画スタート／ストップを行います。
（右側面部RECトリガーボタンやレンズ部VTRトリガーボタンと連動しています。）

❾**[REC LOCK]REC LOCK**スイッチ
このスイッチを矢印の方向にスライドさせると、❽[REC]トリガーボタンをロックします。誤操作を防ぐときに使用します。
（右側面部RECトリガーボタンとレンズ部VTRトリガーボタンはロックされません。）

❿**SD**メモリーカードカバー
このカバーを開けると、SDメモリーカードの出し入れができます。
☞ 31 ページ「SDメモリーカードを入れる」
SDメモリーカード装填時
- 本機のメニュー設定内容を保存、呼び出しおよびリセットができます。
- SD メモリーカードの初期化（フォーマット）ができます。
  ☞ 83 ページ「FILE MANAGEメニュー画面」

⓫**[EJECT]**イジェクトスイッチ・表示灯
カセットテープを挿入またはイジェクトするとき、このスイッチを横にスライドさせます。
イジェクト動作中に表示灯が点滅します。

メモ

- カセットテープをイジェクトするまで、数秒かかります。イジェクト動作中にカセットカバーを閉じないでください。
- イジェクト動作中にカセットカバーやカセットに手を触れないでください。故障の原因となる場合があります。

⓬オペレーションカバー
再生モードの操作をするとき、このカバーを開けます。それ以外のときはこのカバーを閉じてください。
このカバーを横にスライドさせると、カバーを開けることができます。

メモ

カメラモード時に⓳STOPボタンを押し、VTR動作モード表示をSTOP表示にすると、再生操作が可能です。

⓭**[BATTERY RELEASE]**バッテリーロック解除レバー
バッテリーを外すとき、このレバーを前方向にスライドさせます。

⓮バッテリー
付属のバッテリー（BN-V428）を取り付けます。
☞ 33 ページ「バッテリーによる駆動」

上面部（つづき）

⑮[MONITOR SELECT]オーディオモニター選択スイッチ
14ページ❶モニタースピーカーや12ページ❷ PHONES端子からのモニター音声や再生音声を選択します。

CH-1　：CH-1チャンネルの音声を出力します。
BOTH　：CH-1とCH-2チャンネルの音声をミックスして出力します。この設定時、イヤホン端子の音声をミックス音声にするかステレオ音声にするかをメニュー画面で選択できます。（AUDIO/MIC[2/2]メニュー画面AUDIO MONITOR項目）
AUDIO/MIC[2/2]メニュー画面のAUDIO MONITOR項目が“STEREO”設定時、モニタースピーカーからはCH-1の音声のみ出力します。
CH-2　：CH-2チャンネルの音声を出力します。

☞ 55 ページ「音声を出力する」
☞ 73 ページ「AUDIO/MIC[2/2]メニュー画面」

ご注意

各スイッチの切り換えは確実に行ってください。
切り換えの途中位置で止めないでください。
雑音が出たり、動作異常をおこします。

⑯[DISPLAY]ディスプレイボタン
- DISPLAYボタンを約2秒間長押しする毎に液晶画面表示とビューファインダー画面表示を切り換えます。
- アントンバウア社バッテリーまたはIDXバッテリー動作時、液晶画面とビューファインダー同時表示モードの場合、DISPLAYボタンを押す毎に液晶画面の表示内容が変わります。

⑰[VTR]VTRインジケーター
本機がVTRモードになったとき、このインジケーターが点灯します。VTRを再生するときや、16ページ ❹IEEE1394端子からのHDV/DV信号を入力または出力するときは、13ページ❺CAM/VTRボタンを押して、このインジケーターを点灯させます。（モード切換中は、点滅表示します。）

⑱[FULL AUTO]フルオートシューティング（FAS）スイッチ
FASモードのON/OFFスイッチです。
- FASモード時は、液晶画面やビューファインダー画面に“FAS”と表示されます。
- FASモードはオートアイリス、オートレベルコントロール（ALC）と連動してビデオ信号レベルとホワイトバランスを最適に自動調整します。
- オーディオ記録レベルは、自動調整モード、または手動調整モードを選択することができます。
  ☞ 73 ページ「AUDIO/MIC[2/2]メニュー画面」
- カラーバーであっても自動的にカメラ映像となります。
- SMOOTH TRANSモードは働きません。☞ 66 ページ
- レンズのアイリスモードスイッチがマニュアル位置に設定されていてもオートアイリスは動作します。
- ゲインは最高でALC MAXの設定値まで連続的に変化し、シャッタースピードも連続に変化します。
- FAS　モードを解除すると各設定内容は以前のモードに復帰します。

ご注意

FASモードで電源を入れると、FASの自動調整が終了するまで約10秒かかります。
その間は撮影しないでください。

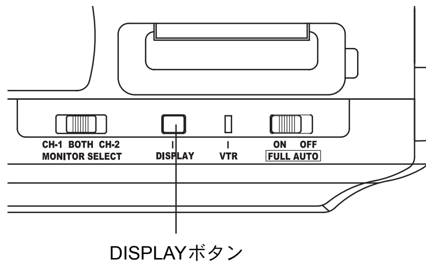
⑲[STOP]停止ボタン
停止状態にするとき、このボタンを押します。

⑳[REW]巻戻しボタン
テープを巻戻すとき、このボタンを押します。
- 停止または早送り時、このボタンを押すと巻戻しモードになります。（VTRモード時のみ）
- 再生、静止画再生またはフォワードサーチ（早送り再生）時、このボタンを押すと、リバースサーチ（巻戻しサーチ）します。

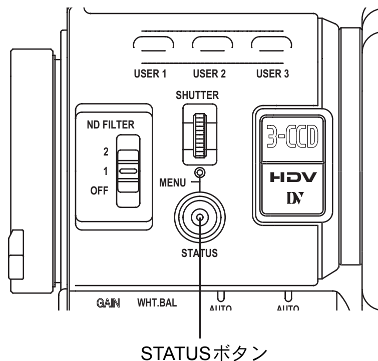
㉑[PLAY/STILL]再生/スチルボタン
テープを再生するとき、このボタンを押します。
再生、停止およびサーチモード時、このボタンを押すと静止画再生モードになります。
周囲温度により、静止画像再生モードを約30秒から3分間続けると自動的に停止状態になります。（テープ保護モード）また、静止画再生やサーチモードから再生モードにするとき、このボタンを押します。
* 再生モード立ち上がりでオートトラッキング動作中は、映像が乱れてデジタルノイズが入ります。

㉒[FF]早送りボタン
テープを早送りするとき、このボタンを押します。
- 停止または巻戻し時、このボタンを押すと、早送りモードになります。（VTRモード時のみ）
- 再生、静止画再生またはリバースサーチ（巻戻し再生）時、このボタンを押すと、フォワードサーチ（早送り再生）します。

液晶画面およびビューファインダー画面表示

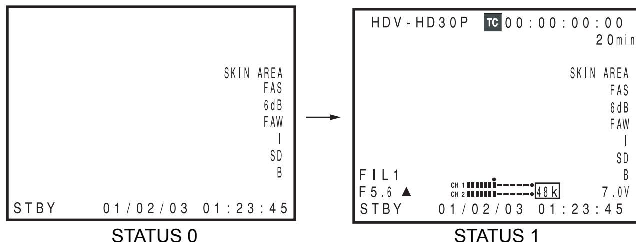


DISPLAYボタン

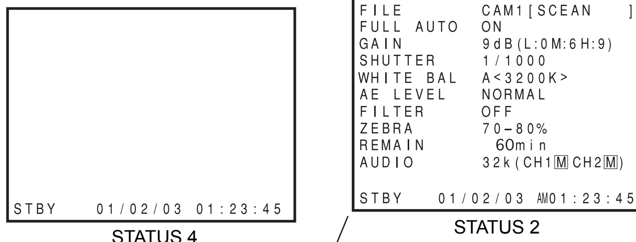


STATUSボタン

• カメラモード時（表示例）

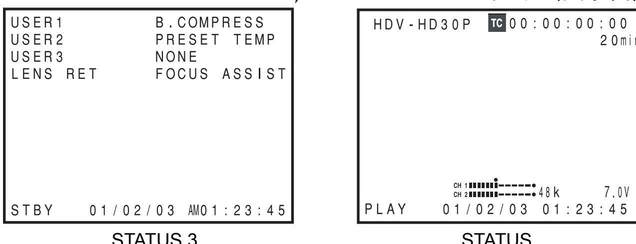


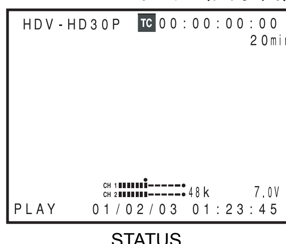
STATUS 0　STATUS 1



STATUS 4　STATUS 2

• VTRモード時（表示例）





STATUS 3　STATUS

液晶画面やビューファインダー画面には、EE画や再生画の他に次の様なキャラクター表示をします。
液晶画面にキャラクターを表示させる場合は、DISPLAYボタンを押してキャラクター表示にします。

■ ステータス画面（現在の設定状態を確認するための画面）
■ オートホワイト時の表示（カメラモード時のみ表示）
■ メニュー設定画面
■ アラーム表示
■ セーフティーゾーン表示（カメラモード時のみ表示）

メモ

OTHERS[1/2]メニュー画面のOUTPUT CHAR.項目がONのとき、映像信号出力端子の映像にもメニュー設定画面が表示されます。

■ ステータス画面

ステータス画面を表示するには、通常画面時、STATUSボタンを押してください。
ステータス表示内容はカメラモードとVTRモードで異なります。

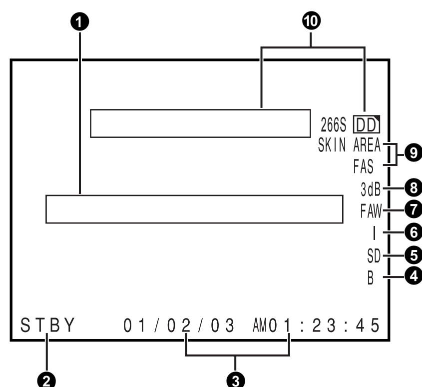
- カメラモード時は、STATUSボタンを押すごとに5種類の画面が表示されます。（STATUS 0、1、2、3、4）
- VTRモード時は、1種類の画面を表示します。

メモ

- STATUSボタンを1秒以上押すと、メニュー設定画面を表示します。
  メニュー設定画面表示時、ステータス画面を表示させる場合は、STATUSボタンを押して通常画面に戻してください。
- DISPLAY ボタンを約 2 秒間長押しする毎に液晶画面表示とビューファインダー画面表示を切り換えます。

液晶画面およびビューファインダー画面表示（つづき）

■ カメラモード時のステータス画面



ステータス0画面

- ステータス0

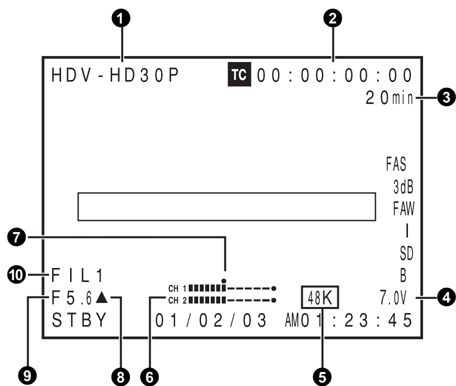
❶イベント表示
ゲインやシャッタースピードをマニュアルで変えた場合、変えた時点で設定状態を約3秒間表示します。

設 定 状 態	表 示 内 容
ゲイン値が変化したとき	GAIN 0dB、3dB、6dB、9dB、12dB、15dB、18dB
ゲインがALCになったとき	GAIN ALC
FULL AUTOがON/OFFになったとき	FULL AUTO ON、FULL AUTO OFF
ZEBRAがON/OFFになったとき	ZEBRA ON、ZEBRA OFF
シャッタースピード値が変化したとき*1	SHUTTER 1/6、1/6.25、1/7.5、1/12、1/12.5、1/15、1/24、1/25、1/30、1/48、1/50、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
バリアブルシャッタースピード値が変化したとき*1	V. SHUTTER 1/24.01～1/1998.0
シャッターがOFFになったとき	SHUTTER OFF[1/**] *4
ホワイトバランス値が変化したとき	（例） WHITE BAL A＜3200K＞ 数値：2300、2500、2800、3000、3200、3400、3700、4300、5200、5600、6500、8000のいずれか
FILTER値が変化したとき	FILTER OFF、FILTER ND1[1/4ND]、FILTER ND2[1/16ND]
AE LEVEL値が変化したとき*2	AE LEVEL –3、–2、–1、NORMAL、+1、+2、+3
BLACKゲイン値が変化したとき*2	BLACK NORMAL BLACK STRETCH 1、2、3 BLACK COMPRESS 1、2、3
PRESET TEMP値が変化したとき*2、*3	WHITE BAL PRST <3200K>、WHITE BAL PRST <5600K>
HEADER REC動作中	HEADER REC
FOCUS ASSISTがON/OFFになったとき	FOCUS ASSIST ON、FOCUS ASSIST OFF
タイムコードをゼロプリセットしたとき	TC ZERO PRESET☞ 41 ページ
REC LOCKスイッチをON/OFFしたとき	REC SWITCH LOCKED、REC SWITCH UNLOCKED ☞ 17 ページ ❾ REC LOCKスイッチ
IEEE1394端子からRECコマンドを送ったとき	TRIGGER TO HDV、TRIGGER TO DV
その他の表示	☞ 83–85 ページ「FILE MANAGEメニュー画面」 ☞ 89 ページ「警告表示とその対応」

*1 シャッタースピードの可変範囲は、映像フォーマットの設定によって異なります。☞ 71 ページ
*2 USER1～3ボタンに機能を割り付けて操作した場合に表示します。☞ 71 ページ
*3 15ページ⓭[WHT.BAL]ホワイトバランス選択スイッチがPRST（PRESET）になったとき表示します。
*4 “**”部は、映像フォーマットの設定によって異なります。

No.	項　目	内　容
❷	VTRモード表示	STBY　：撮影スタンバイモード（記録ポーズモード） REC　：記録中 PLAY　：再生中 FF　：早送り中 REW　：巻戻し中 STL　：静止画再生モード時 FWD　：フォワード方向再生中（FWD1：約2倍速、FWD2：約5倍速、FWD3：約10倍速） REV　：リバース方向再生中（REV1：約2倍速、REV2：約5倍速、REV3：約10倍速） STOP　：停止モード（テープ保護モード） EJECT：カセットイジェクト時 －－－　：テープが未装填
❸	日付・時刻表示	日付・時刻を表示します。 表示の有無や表示スタイルは、TIME/DATEメニュー画面で設定できます。
	LCD BRIGHT表示	LCD BRIGHT表示ボタンで液晶画面の明るさを調整したとき、日付・時刻表示および❷VTRモード表示が消えてLCD BRIGHT表示が表示されます。 （例） BRIGHT +5 •••••+•••••▮ 数値：–5、–4、–3、–2、–1、0、+1、+2、+3、+4、+5のいずれか
❹	ブラック動作表示	B：ブラックストレッチまたはブラックコンプレスがNORMAL以外のときに表示
❺	スキンディテール動作表示	SD：スキンディテールONのときに表示
❻	アイリスレベル動作表示	I：AE LEVELがNORMAL以外のときに表示
❼	FAW動作表示	FAW：フルオートホワイトバランスモードがONのときに表示
❽	ゲイン動作表示	*dB：ゲインが0dB、ALC以外のとき、ゲイン値を表示
❾	各種機能動作表示	FOCUS　：フォーカスアシスト動作中に表示 SKIN AREA　：スキンディテール色相エリア表示中に点滅表示 ALC　：単独ALCがONのときに表示 FAS　：フルオートシューティングがONのときに表示 S　：SHUTTERがONのときに表示
❿	DR-HD100動作表示	DR-HD100（FOCUS Enhancements社製　HDDユニット）を接続している場合に、その動作状態を表示します。 （詳細は、DR-HD100の取扱説明書をご覧ください。）

液晶画面およびビューファインダー画面表示（つづき）



ステータス1画面

- ステータス1
  ステータス0の画面に加えて、下記の項目を表示します。

No.	項　目	内　容
❶	VIDEO FORMAT表示	現在選択されている映像フォーマットを表示します。 VIDEO FORMATメニュー画面のREC項目で選択できます。☞ 64 ページ LCD/VF[2/3]メニュー画面のFORMAT項目で、表示のON/OFFを切り換えることができます。 ☞ 75 ページ
❷	タイムコード（TC）／ユーザーズビット（UB）表示	タイムコード（時：分：秒：フレーム）またはユーザーズビットデータを表示します。 （例）　タイムコード　　TC 00：00：00：00 ノンドロップフレーム時はコロン（:） ドロップフレームモード時はドット（.） ユーザーズビット　UB　FF　EE　DD　20 LCD/VF[2/3]メニュー画面のTC/UB項目で、表示のON/OFFを切り換えることができます。☞ 75 ページ タイムコード表示か、ユーザーズビット表示かは、LCDドア内のTC DISPLAYスイッチで選択します。
❸	テープ残量表示	テープ残量（分）を1分単位で表示します。 テープ残量が3分未満になったときは、点滅します。 LCD/VF[2/3]メニュー画面のTAPE REMAIN項目で、表示のON/OFFを切り換えることができます。 ☞ 75 ページ * 新品テープを挿入時、テープ残量を表示しないことがあります。 テープを走行させると、表示します。 * テープ残量時間は目安としてお使いください。 * 低温環境でご使用の場合は、テープ残量表示が現れるまでに時間がかかる場合があります。
❹	電源表示	（例）7.0V：0.1Vステップで電圧を表示

No.	項　目	内　容
❺	オーディオサンプリング周波数表示	32K ： AUDIO/MIC[1/2]メニュー画面のAUDIO MODE項目が32Kに設定時、表示します。 （12ビット32kHzサンプリング周波数でオーディオ記録します。） 48K ： AUDIO/MIC[1/2]メニュー画面のAUDIO MODE項目が48Kに設定時、表示します。 （16ビット48kHzサンプリング周波数でオーディオ記録します。） ☞ 72 ページ
❻	オーディオレベルメーター表示	CH-1、CH-2のオーディオレベルメーターを表示します。 LCD/VF[2/3]メニュー画面のAUDIO項目で、表示のON/OFFを切り換えることができます。 ☞ 75 ページ
❼	基準録音レベル値表示	テープへの基準録音レベル設定値の位置を“▮”で表示します。 –20dB、–12dB ☞ 72 ページ「AUDIO REF. LEVEL」 –20 dB　–12 dB CH-1 CH-2
❽	アイリスインジケーター表示	▲：アイリスが標準よりオーバー ■：アイリスが標準 ▼：アイリスが標準よりアンダー
❾	アイリスF値表示	レンズのf値を表示します。 OPEN、F2、F2.8、F4、F5.6、F8、F11、F16、CLOSE レンズの種類によって、またはレンズを取り外したときには無表示となります。 LCD/VF[1/3]メニュー画面のF.NO/IRIS IND.項目で、表示のON/OFFを切り換えることができます。 ☞ 74 ページ
❿	フィルターポジション表示	現在のフィルターポジションを表示します。 表示無し ： FILTER OFF ND1 ： FILTER ND1（1/4ND） ND2 ： FILTER ND2（1/16ND） LCD/VF[1/3]メニュー画面のFILTER項目で、表示のON/OFFを切り換えることができます。☞ 74 ページ

液晶画面およびビューファインダー画面表示（つづき）

```
 FILE          CAM1[SCEAN  ]
 FULL AUTO     ON
 GAIN          9dB(L:0M:6H:9)
 SHUTTER       1/1000
 WHITE BAL     A<3200K>
 AE LEVEL      NORMAL
 FILTER        OFF
 ZEBRA         70−80%
 REMAIN         60min
 AUDIO         32k(CH1🄼CH2🄼)

STBY    01/02/03 AM01:23:45
```

ステータス2画面

```
USER1           B.COMPRESS
USER2           PRESET TEMP
USER3           NONE
LENS RET        FOCUS ASSIST



STBY    01/02/03 AM01:23:45
```

ステータス3画面

- ステータス2
  カメラの設定状態を一覧表示します。
  このステータス表示中はイベント表示はしません。

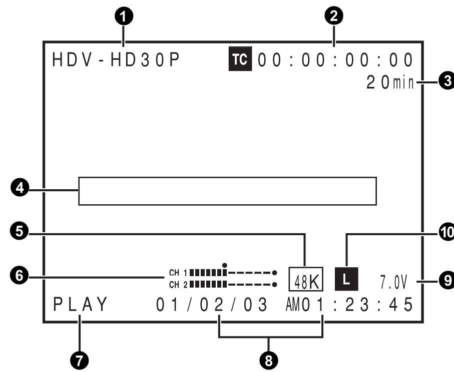
項　目	設　定　表　示　内　容
FILE	FILE　● CAM1[********]、CAM2[********]、EXT1～4[********] *は、SUB NAMEを表示 ☞ 83–85 ページ ●印は、LOAD FILEから読み出したメニュー設定値を変更したときに表示します。 STORE FILEで保存すると表示が消えます。
FULL AUTO	ON、OFF
GAIN	0dB、3dB、6dB、9dB、12dB、15dB、18dB、ALC
SHUTTER	（STEP時） OFF、1/6、1/6.25、1/7.5、1/12、1/12.5、1/15、1/24、1/25、1/30、1/48、1/50、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000 （VARIABLE時） 1/24.01～1/1998.0 （FAS/ALCモード時の表示） EEI *シャッタースピードの可変範囲は、映像フォーマットによって異なります。☞ 71 ページ
WHITE BAL	A<##00K>、B<##00K>、PRESET<##00K>、FAW AおよびBの##は23、25、28、30、32、34、37、43、52、65、80のいずれか、PRESETの##は32、56のいずれか。
AE LEVEL	–3、–2、–1、NORMAL、+1、+2、+3
FILTER	OFF、ND1 (1/4ND)、ND2 (1/16ND)
ZEBRA	60–70%、70–80%、85–95%、OVER 95%、OVER 100%
REMAIN	テープ残量（分）
AUDIO	オーディオサンプリング周波数および録音レベル調整方法（例）32K (CH1 🄰 CH2 🄼) 🄰　(AUTO時) 🄼 (MANUAL時)

- ステータス3
  SWITCH MODEメニュー画面のUSER1、2、3およびLENS RET項目の設定状態を一覧表示します。☞ 71 ページ
  このステータス表示中はイベント表示はしません。

項　目	設　定　表　示　内　容
USER1 USER2	NONE、BARS、PRESET TEMP.、B.STRETCH1、B.STRETCH2、B.STRETCH3、B.COMPRESS1、B.COMPRESS2、B.COMPRESS3、AE LEVEL+、AE LEVEL–、RET
USER3	NONE、BARS、PRESET TEMP.、B.STRETCH1、B.STRETCH2、B.STRETCH3、B.COMPRESS1、B.COMPRESS2、B.COMPRESS3、RET
LENS RET	RET、FOCUS ASSIST

- ステータス4
  日付・時刻表示やイベント表示またはワーニング表示のみ表示します。
  * 日付・時刻の表示の有無や表示スタイルは、TIME/DATEメニュー画面で設定できます。
  ☞ 38 ページ「日付・時刻の画面表示」

■ VTRモードのステータス画面

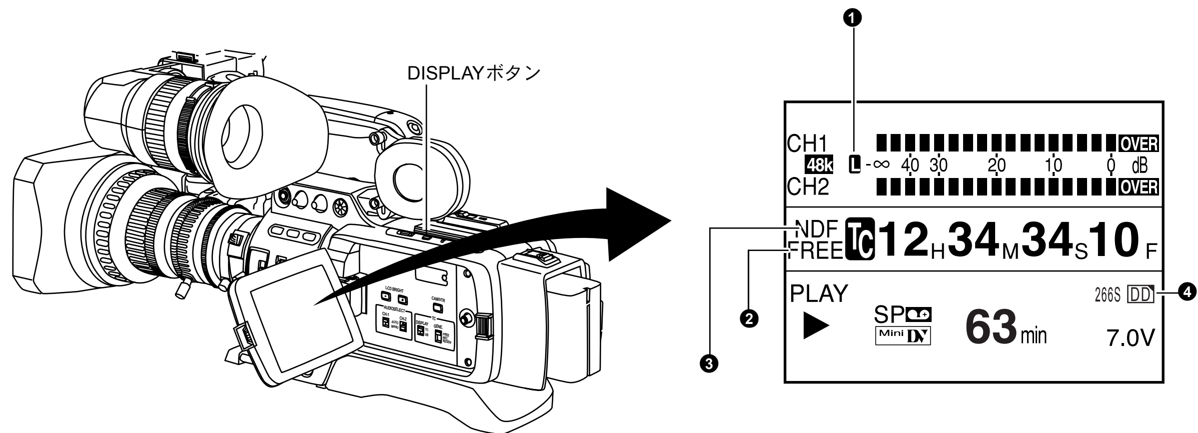


No.	項　目	内　容
❶	VIDEO FORMAT表示	VTRモード時はテープに記録されている映像フォーマットを表示します。 LCD/VF[1/2]メニュー画面のFORMAT項目で表示のON/OFFを切り換えることができます。 ☞ 75 ページ **メモ** 本機は、HDV 1080iフォーマットで記録したテープは、再生および出力できません。❹イベント表示部に“INVALID TAPE!”と表示されます。
❷	タイムコード(TC)／ユーザーズビット（UB）表示	VTRモード時は記録されているタイムコードデータ（時、分、秒、フレーム）を表示します。 LCD/VF[1/2]メニュー画面のTC/UB項目で、表示のON/OFFを切り換えることができます。 ☞ 75 ページ タイムコード表示かユーザーズビット表示かはLCDドア内のTC DISPLAYスイッチで選択します。
❸	テープ残量表示	テープ残量（分）を1分単位で表示します。 テープ残量が3分未満になったときは、点滅します。 LCD/VF[1/2]メニュー画面のTAPE REMAIN項目で、表示のON/OFFを切り換えることができます。 ☞ 75 ページ * 新品テープを挿入時、テープ残量を表示しないことがあります。 テープを走行させせると、表示します。 * テープ残量時間は目安としてお使いください。 * 低温環境でご使用の場合は、テープ残量表示が現れるまでに時間がかかる場合があります。
❹	イベント表示	VTR動作に関するメッセージを表示します。☞ 89、90 ページ
❺	オーディオサンプリング周波数表示	再生モード時、記録時のオーディオサンプリング周波数を表示します。 (32K、48K、44.1K)
❻	オーディオレベルメーター表示	再生モード時は、再生オーディオレベルメーターを表示します。 LCD/VF[1/2]メニュー画面のAUDIO項目で、表示のON/OFFを切り換えることができます。 ☞ 75 ページ
❼	VTRモード表示	VTRの動作状態を表示します。 STBY、STOP、PLAY、REC、FF、REW、FWD、REV、STL、－－－（テープ未装着)、 SLOW：フォワード方向バリアブルスロー再生中（ノンリニア編集ソフト使用時に表示します。） (SLOW+1：約0.1倍速、SLOW+2：約0.2倍速、SLOW+3：約0.5倍速) リバース方向バリアブルスロー再生中（ノンリニア編集ソフト使用時に表示します。） (SLOW–1：約–0.1倍速、SLOW–2：約–0.2倍速、SLOW–3：約–0.5倍速)
❽	日付・時刻表示	再生、早送り、巻戻し時は記録されているデータを表示します。 記録または停止時はIEEE1394端子からのデータを表示します。 表示の有無や表示スタイルは、TIME/DATEメニュー画面で設定できます。☞ 79 ページ 日付・時刻が未設定時は下記のように表示します。 －－／－－／－－　－－：－－：－－
❾	電源表示	(例) 7.0V：0.1Vステップで電圧を表示
❿	オーディオロック表示	DV記録・再生のオーディオ信号がビデオ信号にロックされている時表示します。

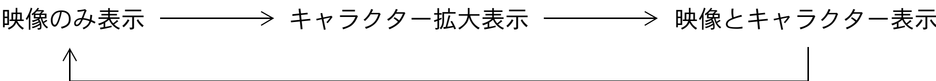
液晶画面およびビューファインダー画面表示（つづき）

■ 液晶画面のステータス拡大表示

液晶画面にステータス画面のキャラクターだけを拡大表示することができます。
* アントンバウア社バッテリーまたはIDXバッテリーで本機を動作させているときのみ、キャラクターを拡大表示します。



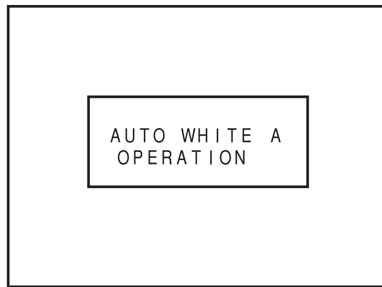
1. LCD/VF[3/3]メニュー画面のLCD+VF項目をONに設定します。（☞ 76 ページ）
2. 液晶画面が表示された状態でDISPLAYボタンを短かく押すと、DISPLAYボタンを押す毎に表示内容が変わります。（アントンバウア社バッテリーまたはIDXバッテリーで本機を動作させているときのみ）



No.	項　目	内　容
❶	オーディオロック表示	オーディオ信号がビデオ信号にロックして記録・再生される時表示します。
❷	タイムコードジェネレーター設定表示	側面部のTC GENE.スイッチの設定状態を表示します。 FREE ：TC GENE.スイッチがPRST-FREE（フリーランモード）に設定時 RECR：TC GENE.スイッチがPRST-REC（レコランモード）に設定時 REGN：TC GENE.スイッチがREGEN（リジェネモード）に設定時 DUPL ：VTRモードでIEEE1394入力信号がある場合で、TC DUPLIメニュー項目をONに設定時
❸	ドロップ/ノンドロップ表示	ドロップフレームまたはノンドロップフレームで記録したテープを再生したとき表示します。 DF　 ：ドロップフレームで記録したテープを再生した時 NDF ：ノンドロップモードで記録したテープを再生した時
❹	DR-HD100動作表示	DR-HD100（FOCUS Enhancements社製　HDDユニット）を接続している場合に、その動作状態を表示します。 （詳細は、DR-HD100の取扱説明書をご覧ください。）

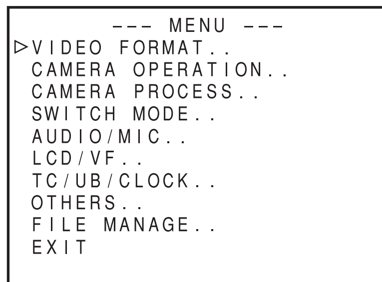
メモ

液晶画面にステータスのキャラクターを拡大表示した場合、ビューファインダーは映像を表示します。



■ オートホワイト時の表示（カメラモード時のみ）

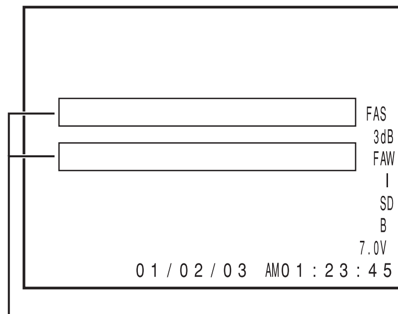
オートホワイトバランス動作時、AUTO WHITE表示とその結果を表示します。
☞ 45 ページ「ホワイトバランスの調整」



TOP MENU画面（カメラモード）

■ メニュー設定画面

各種設定をおこないます。
STATUSボタンを1秒以上押すと、メニュー設定画面を表示します。
☞ 62 ページ「メニュー画面の設定方法」



アラーム表示エリア

■ アラーム表示

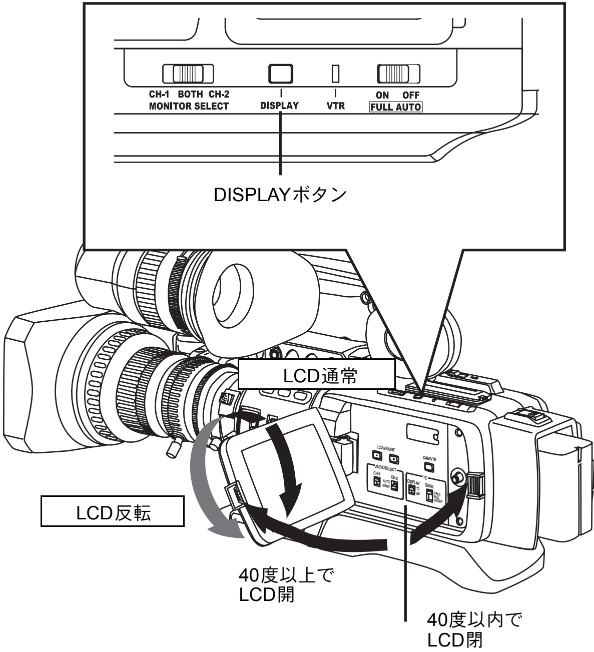
- カメラモードのステータス（0、1、4）画面表示またはVTRモードのステータス画面表示時、アラーム表示します。
  カメラモードのステータス2、3画面表示中にアラームが発生した場合は、ステータス0画面にもどり、アラーム表示します。
  ☞ 89 ページ
- VTRに異常があった場合はエラーコードの付いた警告表示をします。
  ☞ 89、90 ページ

■ セーフティーゾーン表示（カメラモード時のみ）

LCD/VF[1/3]メニュー画面のSAFETY ZONE項目およびCENTER MARK項目で下記のようなセーフティーゾーンおよびセンターマーク表示のON/OFFが選択できます。☞ 74 ページ
また、VIDEO FORMATメニュー画面のREC項目およびASPECT項目の設定により、下記のようになります。

SAFETY ZONE		OFF	4:3		14:9		16:9		16:9+4:3	
CENTER MARK		—	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
REC	ASPECT									
DV-60I DV-24P DV-24PA DV-50I DV-25P	4:3								選択不可	
	16:9									
HDV-SD60P HDV-SD50P HDV-HD30P HDV-HD25P HDV-HD24P	[16:9]									

液晶画面およびビューファインダー画面表示（つづき）



■ アントンバウア社バッテリーまたはIDXバッテリーを使用しない場合、あるいはこれらのバッテリーを使用する場合でもLCD/VF[3/3]メニュー画面のLCD+VF項目をOFFに設定した場合、液晶画面とビューファインダー画面（VF）の表示は下記のようになります。

液晶画面（LCD）の状態		LCD表示	VF表示
LCD閉	LCD通常	OFF	ON
	LCD反転	ON	OFF
LCD開	LCD通常	ON	OFF
	LCD反転	ON	OFF

■ アントンバウア社バッテリーまたはIDXバッテリーを使用して、LCD/VF[3/3]メニュー画面のLCD+VF項目をONに設定している場合、液晶画面とビューファインダー画面（VF）の表示は下記のようになります。

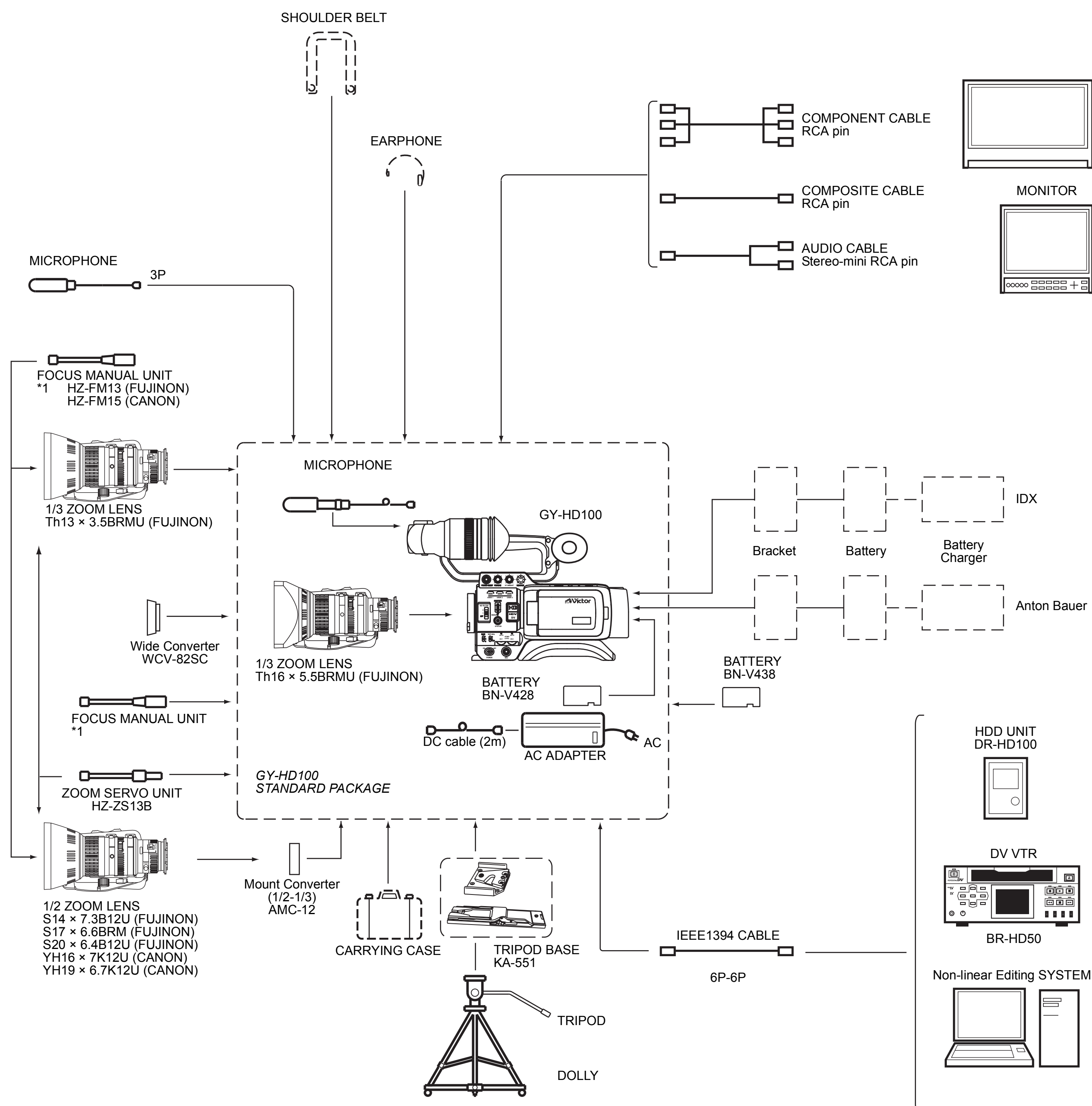
液晶画面（LCD）の状態		LCD表示	VF表示
LCD閉	LCD通常	OFF	ON
	LCD反転	ON	ON
LCD開	LCD通常	ON	ON
	LCD反転	ON	ON

メモ

- DISPLAYボタンを約2秒間長押しする毎に液晶画面表示とビューファインダー画面表示を切り換えます。
- DISPLAYボタンの長押しによる液晶画面表示とビューファインダー表示の切り換え機能は、設定後に、液晶画面の開閉および通常／反転表示操作を行うと解除されます。
- 液晶画面（LCD）を通常表示の向きで本体に収納している場合は、DISPLAYボタンの長押しは機能しません。
- LCD/VF[3/3] メニュー画面の LCD+VF 項目で液晶画面とビューファインダーを同時表示が可能となります。（アントンバウア社バッテリー、またはIDXバッテリーで本機を動作させている場合のみ）
☞ 76 ページ

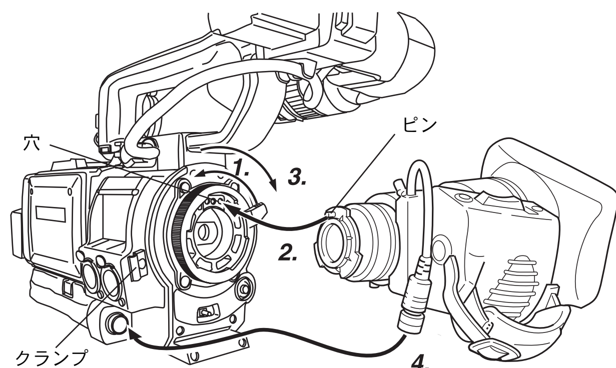
準備

基本システムについて



*1 Th16×5.5BRMU、S14×7.3B12/UにはHZ-FM13は使用できません。
フジノン製フォーカスマニュアルユニット（FMM-8、CFH-3、CFC-12-990）を使用してください。
詳細は、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

ズームレンズの取付方法（付属）

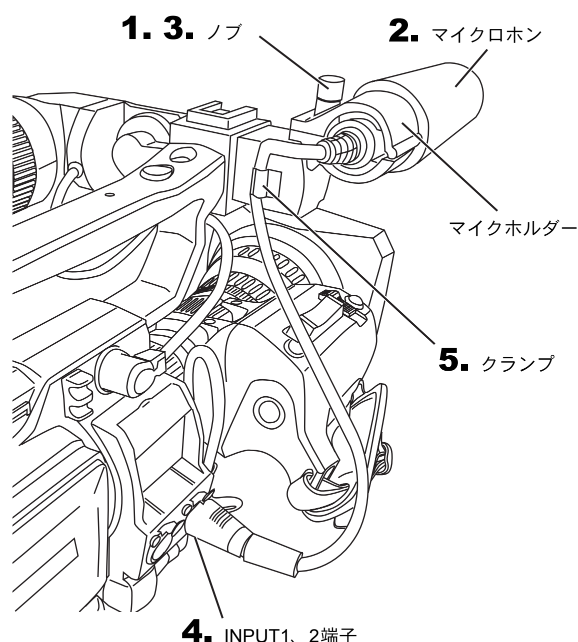


1. マウントリングをゆるめる。
2. レンズのピンとマウント部の穴が合うように取り付ける。
3. マウントリングをしめる。
4. ケーブルコネクターを接続する。
5. レンズケーブルをクランプに取り付けます。

ご注意

- マウントリングは最後まで完全にしめつけてください。しめつけが不完全な場合、レンズが落下したりバックフォーカスがズレたりします。
- ズームレンズの取り付け、取り外しの際は、本機のPOWERスイッチを“OFF”にしてください。

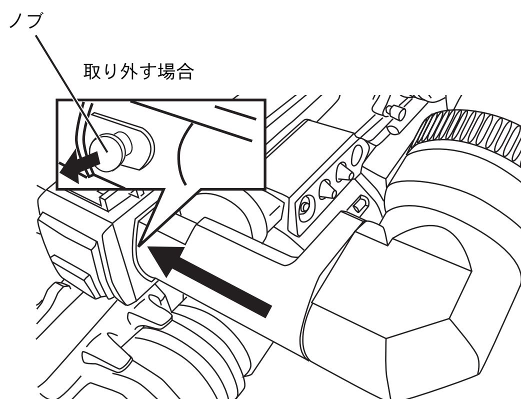
マイクロホンの取付方法（付属）



マイクホルダーに付属のマイクロホンを取り付けます。
付属のマイクロホンはファントムです。

1. マイクホルダーのノブを反時計方向にまわしてゆるめ、マイクホルダーを開きます。
2. マイクロホンをマイクホルダーにセットします。
カセットカバーと干渉しないようにマイクは前側にセットしてください。
3. マイクホルダーのノブを時計方向に回してマイクを固定します。
4. マイクケーブルを本機INPUT1またはINPUT2オーディオ入力端子に接続します。
5. マイクケーブルをクランプに取り付けます。
6. ファントムマイク用の設定を正しくおこなってください。
☞ 48 ページ

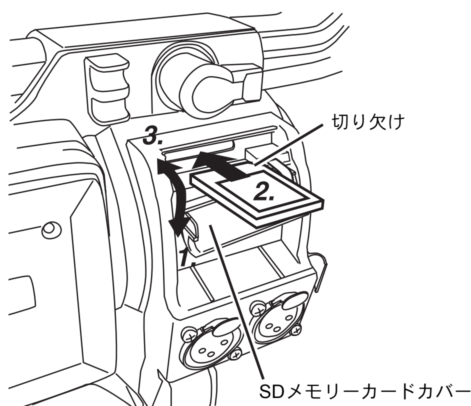
ビューファインダーの取付方法



ビューファインダーを取り付ける場合は、矢印の方向にスライドさせて取り付けます。

ビューファインダーを取り外す場合は、ノブを矢印の方向に引きながらスライドさせると、外せます。

SDメモリーカードを入れる



SDメモリーカードを使用することで、本機のメニュー設定内容やカメラ設定を保存および呼び出してができます。
☞ 83 ページ「FILE MANAGEメニュー画面」
本機の**POWER**スイッチが**OFF**になっていることを確認してください。

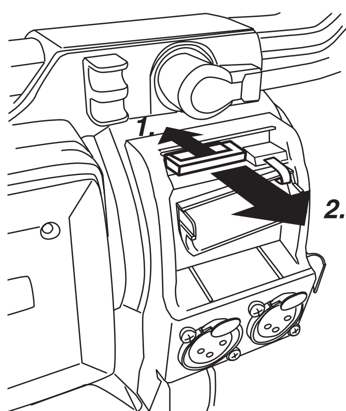
■ SDメモリーカードを入れる

1. SDメモリーカードカバーを開けます。

2. SDメモリーカードの切り欠き部分を奥にして矢印の方向に差し込みます。

ご注意

SDメモリーカードの金属端子部分を触らないようにしてください。



3. SDメモリーカードカバーを閉じます。

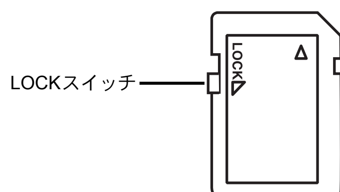
■ SDメモリーカードを取り出す

1. SDメモリーカードを矢印の方向に押します。
- SDメモリーカードが少し出ます。

2. 出てきたSDメモリーカードをまっすぐ取り出します。

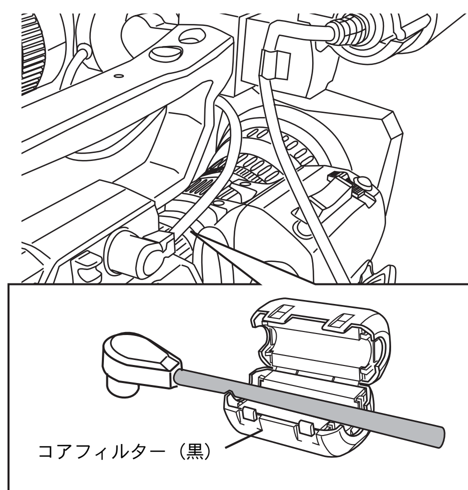
■ SDメモリーカードについて

- 新たに購入または本機以外で初期化（フォーマット）したSD メモリーカードを使用するときは、本機で初期化（フォーマット）してください。
☞ 85 ページ
推奨SDメモリーカード
Panasonic社製：16MB以上



- 保存したファイルを誤消去しないように、ライトプロテクトができます。SDメモリーカード側面スイッチを “LOCK” の位置に設定します。

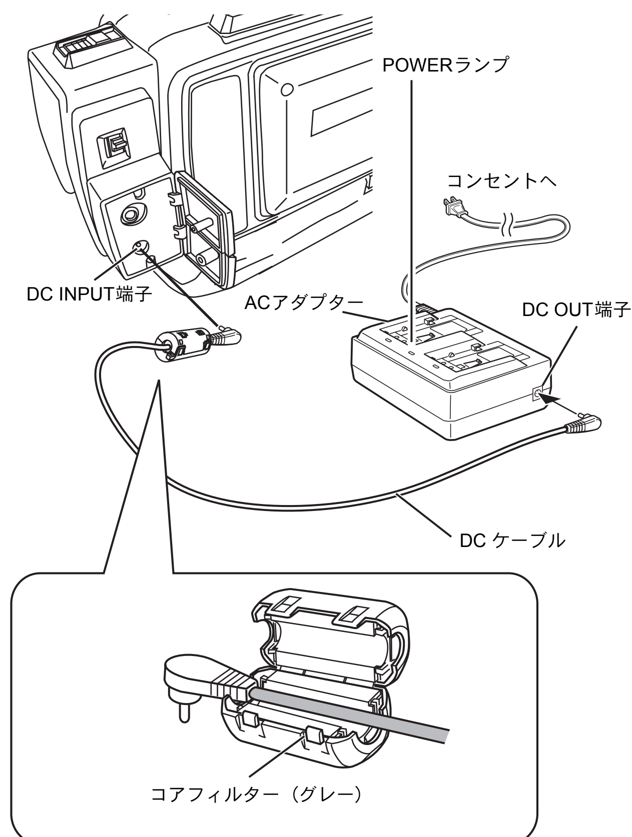
ビューファインダーケーブルについて



不要電波の放射を軽減するため必ず付属のコアフィルターを左図のように取り付けてください。

- コアフィルター（黒）は図のようにできるだけ本機の近くに取り付けてください。

AC電源による駆動



本機はAC電源またはバッテリーで動作させることができます。
AC電源で動作させる場合は、付属のACアダプターを使用します。

1. 本機およびACアダプターの電源が“OFF”になっている事を確認し、図の様にACアダプターのDCケーブルを本機のDC INPUT端子に接続します。
2. 本機のPOWERスイッチを“ON”にします。VTR部およびカメラに電源を供給します。

ご注意

- 録画中に DC ケーブルの抜き差しは行なわないでください。
- 電源電圧変動の大きい電源やリップルなどのノイズがある電源、容量が不足する電源は使用しないでください。

不要電波の放射を軽減するため必ず付属のコアフィルターを左図のように取り付けてください。

● コアフィルター（グレー）は図のようにできるだけ本機の近くに取り付けてください。

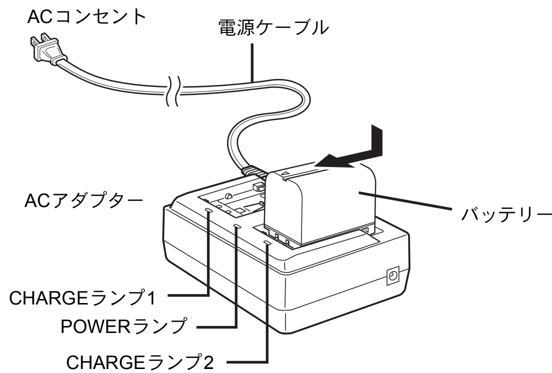
■ 内蔵電池の充電

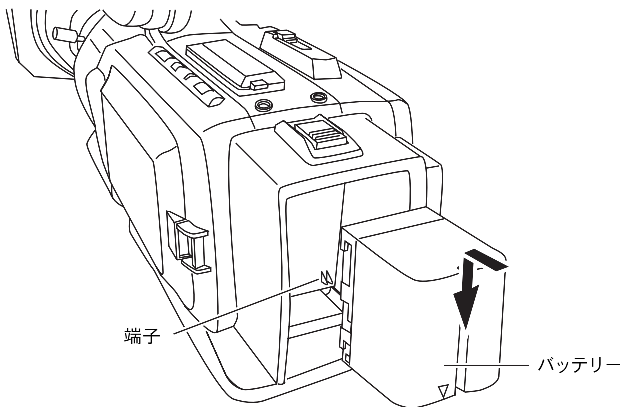
日付・時刻やタイムコードデータは内蔵の充電式電池を使って保存させています。
内蔵電池は、本機に電源が接続されている場合、常に充電されますが、本機から電源を外した場合、徐々に放電します。3ヶ月近く使用しないと完全に放電してしまい、設定した日付・時刻やタイムコードデータはリセットされます。
内蔵電池を充電してから、日付・時刻やタイムコードを設定してください。
ただし、内蔵電池が充電されていなくても、日付・時刻やタイムコードを記録しないのであれば、本機を使用することができます。

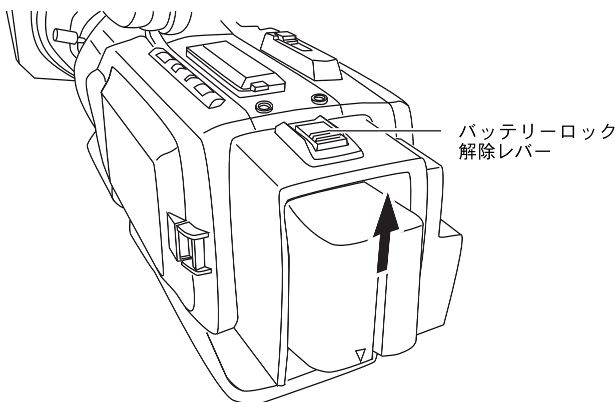
■ 充電方法

1. 付属のACアダプターを本機とACコンセントに接続するかまたは、充電したバッテリーを本機に取り付けます。
2. 本機のPOWERスイッチをONまたはOFFに設定します。（どちらの設定でも充電します。）
3. 約4時間そのままの状態で放置します。
   - 内蔵電池は約4時間の充電で約3ヶ月間もちます。

バッテリーによる駆動







■ バッテリーを充電する

バッテリーは付属のACアダプターで充電してからお使いください。

* バッテリーを充電する場合は、必ずDCケーブルをACアダプターから外してください。

1. ACアダプターの電源ケーブルをACコンセントにつなぎます。
   POWERランプが点灯します。
2. バッテリーを押しながら矢印方向にずらし、ACアダプターに取り付けます。充電が始まり、CHARGEランプが緑色で点滅します。充電が終ると点灯表示になります。
3. 充電が完了したら、バッテリーを取り付け時とは反対方向にずらし、外します。

■ バッテリーを本機に取り付ける

本機にDCケーブルが接続されている場合は外します。

1. バッテリーの端子面を本機側に向けます。
2. バッテリーを押しながら下にずらし、本機に取り付けます。

■ バッテリーを本機から外す

本機のPOWERスイッチがOFFになっていることを確認してください。

1. バッテリーロック解除レバーを前方向にスライドさせ、バッテリーを上にずらすと外れます。

ご注意

録画中にバッテリーを外さないでください。

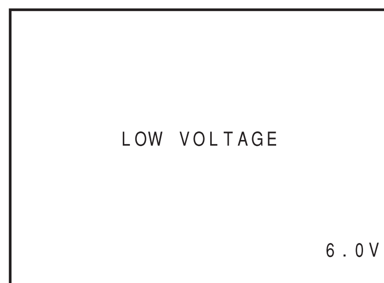
メモ

- バッテリーで動作中に DC ケーブルの抜き差しは行わないでください。
  バッテリーで動作中にDCケーブルを抜き差しすると、次の様な症状が発生することがあります。
  • DCケーブルを抜いている途中で電源が一度切れる。
  • 映像や音声にノイズが入ったり音声がミュートされる。
- バッテリーの容量が無くなった後に DC 入力で動作させる場合は、DC印加後に一旦電源スイッチをOFFにし、再度ONにしてください。
- バッテリーを入れた状態で放置すると、本機のPOWERスイッチをOFFにしても、電力をわずかに消費しています。本機を使用しないときはバッテリーを取り出してください。

バッテリーによる駆動（つづき）

■ バッテリー残量表示

液晶画面／ビューファインダー



バッテリーの残量が少なくなると、次のような警告をします。

■ ビューファインダー画面や液晶画面
ステータス画面表示時
（カメラモードのステータス2,3は除く）
- アラーム表示：LOW VOLTAGEと表示

■ 本機のフロントタリーおよびバックタリーランプ：点滅

■ モニタースピーカーまたはPHONES端子：アラーム音

メモ

バッテリー残量警告時、更にバッテリー駆動を続けると、本機は自動的に動作を停止します。

■ バッテリーの充電時間

バッテリー	1個の場合の充電時間	2個連続の場合の充電時間
BN-V428	約3時間20分（200分）	約6時間40分（400分）
BN-V438	約4時間20分（260分）	約8時間40分（520分）

- 上記の充電時間は、周囲温度が20℃～25℃の場所で充電した場合の目安です。
- 長い間保管していたバッテリーの場合、充電時間は長くなります。
- バッテリーを２個取り付けたときは、取り付けた順に充電完了します。

■ バッテリーによる動作時間

フル充電したバッテリーを使用した場合の、連続動作時間の目安は次の通りです。

バッテリー	連続動作時間（25℃にて）
BN-V428	約40分
BN-V438	約60分

- 表の時間はおよその目安で、バッテリーの古さ、充電状況、動作環境などによって異なります。
- 寒冷地では動作時間が短くなります。
- 電動ズームレンズや液晶画面を多用すると動作時間が短くなります。

■ バッテリーについてのご注意

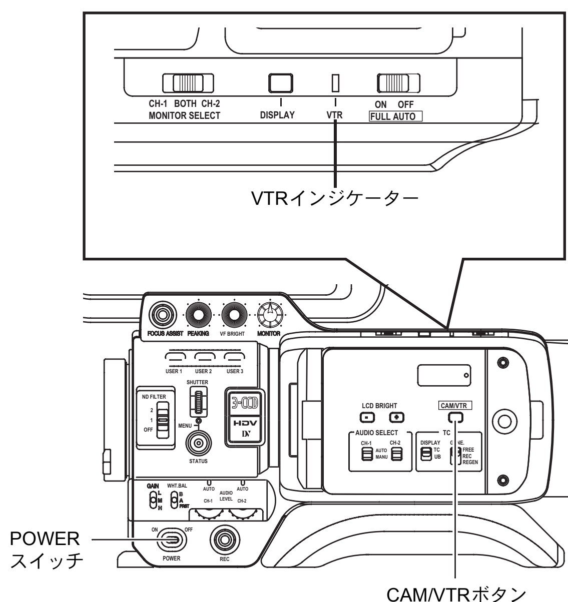
- バッテリーを使わないときは、涼しい乾燥した場所に保管してください。
  高温になる場所（直接日光の当たる車内など）に放置しないでください。液モレや寿命を早める原因になります。
- バッテリーの端子部が汚れていると動作時間が短くなります。
- 充電直後でも動作時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命と思われます。
  新しいものをお買い上げください。

■ 充電について

- バッテリーは充分に放電してから充電してください。充分に放電しないで、充電を繰り返すと、バッテリーの容量低下の原因になります。
- 浅い充電、放電を繰り返して容量が低下した場合は、一度充分に放電・充電すれば容量が回復することがあります。
- 使用直後、バッテリーの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。
- 10℃～35℃での充電をおすすめします。低温（10℃以下）では、十分に充電されないことや、充電に時間がかかることがありますので、ご注意ください。

準備操作

電源の入れ方



■ 電源を入れる

1. POWERスイッチをONにします。
本機に電源が供給されカメラモードになります。

■ 本機がカメラモードかVTRモードかにより、動作が異なります。
CAM/VTRボタンを押す毎に、モードが切り換わります。
このとき、VTRインジケーターが下記の状態になります。

モード切換中	：点滅
VTRモード時	：点灯
カメラモード時	：消灯

カメラモード
ビューファインダーや液晶画面にカメラ映像を出力します。また、記録可能なカセットテープが装填されている場合は、撮影スタンバイモードとなります。液晶画面やビューファインダーのVTR動作モード表示部にSTBY表示します。この状態からREC/VTRトリガーボタンを押すと、記録を開始します。
* カメラモードでも再生可能です。
STOPボタンを押しVTR動作モード表示をSTOP表示にすると操作できます。

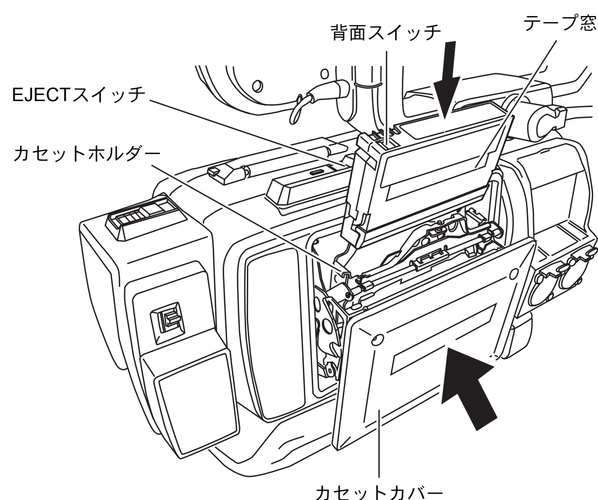
VTRモード
ビューファインダーや液晶画面にカメラ映像を出力しません。カセットテープが装填されている場合は、停止モードになります。
液晶画面やビューファインダーのVTR動作モード表示部にSTOP表示します。
IEEE1394端子からHDV/DV入力ができます。

■ 電源を切る

1. 本機を撮影スタンバイまたは停止モードにします。
2. POWERスイッチをOFFにします。
3. バッテリーやDC INPUT端子の電源を外します。（長時間使用しない場合）

ご注意
- 記録中、POWER スイッチを OFF にしないでください。VTR動作モード表示がSTBYまたはSTOP表示していることを確認してから、電源を切ってください。
  万一、記録中POWERスイッチをOFFにして、電源を再投入する場合は、5秒以上時間をあけてください。
- 電源を切る場合は、はじめに本機の POWER スイッチをOFFにしてください。
  本機のPOWERスイッチをONにした状態で、バッテリーやAC電源をOFFにしないでください。

カセットテープの挿入、取り出し



■ カセットテープを挿入する

MiniDVカセットテープを使用します。

- 記録する場合はカセット背面の誤消去防止スイッチをREC側にします。
- テープのたるみをとってください。

1. POWERスイッチをONにします。

2. 本機上面部のEJECTスイッチを横にスライドします。
カセットカバーが自動的に開き、カセットテープを挿入できる状態になります。

3. カセットテープをカセットホルダーに挿入します。
テープ窓を外側に、背面のスイッチを上側にしてカセットの背面の中央部を押してまっすぐに奥まで確実に入れてください。

4. カセットカバーの中央部を矢印方向に静かに奥まで押して閉じます。
- カセットカバーを閉じてから、記録を受け付ける、または停止モードになるまで約10秒程かかります。

■ 電源が入っている場合、次のようになります。

モード	カセット背面スイッチ	
	REC	**SAVE**
カメラ	撮影スタンバイモード	停止モード 液晶画面やビューファインダーにREC INHIBITと表示
VTR	停止モード	

■ カセットテープを取り出す

1. POWERスイッチをONにします。

2. 撮影スタンバイまたは停止モード時、EJECT スイッチを横にスライドさせ、カセットカバーが完全に開くのを待ちます。
- EJECTスイッチ横の表示灯が点滅します。
カセットテープをイジェクトするまで数秒かかります。

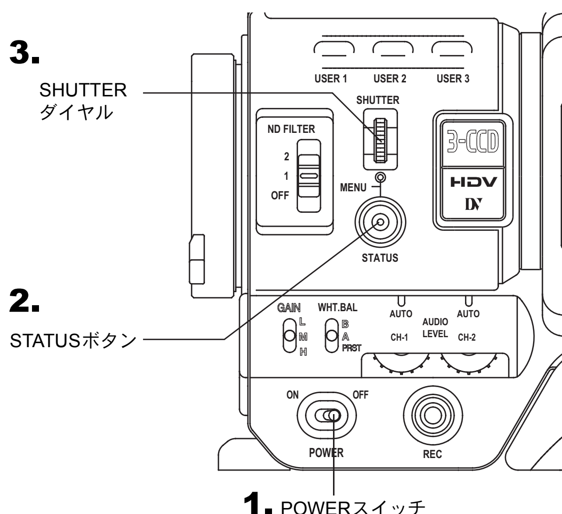
3. 表示灯が消灯しカセットカバーが開きます。
- カセットテープを取り出します。

4. カセットカバーの中央部を矢印方向に静かに奥まで押して閉じます。

ご注意

- カセットカバーを閉じる時は奥まで確実に押してください。カセットカバーの閉じ方が不十分な場合、カセットカバーはハーフロック状態となり、本機は動作を受け付けなくなります。
この場合は、カセットカバーをもう一度、奥まで押して確実にロックさせてください。
- 記録中に EJECT スイッチをスライドしないでください。記録中、EJECTスイッチをスライドするとテープがイジェクトされます。
- カセットカバーを開けた状態で長時間放置しないでください。
内部にゴミなどが入り、故障の原因となります。
- イジェクト動作中にカセットカバーに触れたり、イジェクト動作を妨げることはしないでください。
故障の原因となります。

日付・時刻の設定／表示



4. TC/UB/CLOCKメニュー画面

```
    --- TC/UB/CLOCK ---
 TC PRESET        00:00:00:00
                  EXECUTE
 UB PRESET        00 00 00 00
                  EXECUTE
 DROP/NON DROP    DROP
 TC DUPLI.        OFF
 HEADER REC..
▷TIME/DATE..
 PAGE BACK
```

5. TIME/DATEメニュー画面

```
    --- TIME/DATE ---
 DISPLAY          ON
 DISPLAY MODE     BARS+CAM
 DISPLAY STYLE    DATE+TIME
▷DATE STYLE       YY/MM/DD
 TIME STYLE       24HOUR
 SEC DISPLAY      ON
 TIME SHIFT       OFF
 CLOCK ADJUST..
 PAGE BACK
```

内蔵時計の日付・時刻を設定します。設定した日付・時刻データは電源を切っても内蔵の充電式電池によって保持されます。

- 設定した日付・時刻データはメニュー画面の設定により、液晶画面やビューファインダー画面に表示したり、テープに記録することができます。

■ 日付・時刻の表示スタイルを設定する

日付・時刻はメニュー画面で設定します。
映像信号出力端子に接続したモニター画面を見ながら設定する場合は、OTHERS[1/2]メニュー画面のOUTPUT CHAR.項目をONにします。

1. POWERスイッチをONにします。
2. STATUSボタンを1秒以上押し、TOP MENU画面を表示させます。
3. SHUTTER ダイヤルを回して、カーソル（▶）を TC/UB/CLOCK項目に合わせ、SHUTTERダイヤルを本体方向に押します。
   - TC/UB/CLOCKメニュー画面を表示します。
4. SHUTTERダイヤルを回して、カーソル（▶）をTIME/DATE項目に合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
   - TIME/DATEメニュー画面を表示します。
5. TIME/DATE　メニュー画面を設定する。（表示スタイルなど）

DATE STYLE	：日付表示スタイルを選択します。 YY/MM/DD（年、月、日） MM/DD/YY（月、日、年） DD/MM/YY（日、月、年）
TIME STYLE	：時刻表示スタイルを12時間か24時間にするかを選択します。
SEC DISPLAY	：画面に秒の単位を表示するかどうかを選択します。
TIME SHIFT	：内蔵時計の時刻に加算（時間補正）して表示します。テープにも加算した時刻が記録されます。

❶SHUTTERダイヤルを回して、設定したい項目にカーソル（▶）を合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
•選択した項目の設定部分が点滅します。

❷SHUTTER ダイヤルを回して、設定を変え、SHUTTERダイヤルを押します。
•設定部分の点滅が止まり、設定が確定します。

メモ

TIME STYLE、SEC DISPLAY、DATE STYLE およびTIME SHIFT項目は日付・時刻設定を終えてからでも設定を変えることができます。

日付・時刻の設定／表示（つづき）

1.

TIME/DATEメニュー画面

```
--- TIME/DATE ---
 DISPLAY          ON
 DISPLAY MODE     BARS+CAM
 DISPLAY STYLE    DATE+TIME
 DATE STYLE       YY/MM/DD
 TIME STYLE       24HOUR
 SEC DISPLAY      ON
 TIME SHIFT       OFF
▷CLOCK ADJUST..
 PAGE BACK
```

2.

CLOCK ADJUSTメニュー画面

日付

```
 --- CLOCK ADJUST ---
▷DATE(YY/MM/DD)    05/05/05
 TIME              09:33
 PAGE BACK
```

時刻（時：分）

```
                          FAS
                          3dB
                          FAW
                            I
                           SD
                            B
                         7.0V
01/02/03 AM01:23:45
```

日付　時刻

■ 日付・時刻を設定する

1. CLOCK ADJUST画面をを表示させる。
TIME/DATEメニュー画面のをCLOCK ADJUST項目を選択する。

2. 日付・時刻を設定する。
点滅している桁が設定できる桁です。
❶SHUTTERダイヤルを押すと、点滅桁が移動します。
❷SHUTTERダイヤルを回すと、点滅桁の値が変わります。SHUTTERダイヤルを上に回すと数値が大きく、下に回すと小さくなります。
❸上記❶と❷の手順を繰り返し、年、月、日、時間、分を設定します。
秒の桁は設定できません。
❹分を設定後、時報と同時にSHUTTERダイヤルを押し、日付・時刻を決定します。

3. 全ての設定が終了したら、SHUTTERダイヤルを回してカーソルをPAGE BACKに合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
- TIME/DATEメニュー画面にもどります。

4. 通常画面にもどすには、次のいずれかの操作をします。
STATUSボタンを押す。
または、
TOP MENU画面にもどして、TOP MENU画面のEXIT項目を選択し、SHUTTERダイヤルを押す。

■ 日付・時刻の画面表示

液晶画面やビューファインダー画面への日付・時刻表示の有無や表示形態は、TIME/DATEメニュー画面で設定します。

1. TIME/DATEメニュー画面を表示させる。
❶TOP MENU画面のTC/UB/CLOCK項目を選択する。
❷TC/UB/CLOCKメニュー画面のTIME/DATE項目を選択する。

2. TIME/DATEメニュー画面を設定します。

- DISPLAY項目 ：日付・時刻表示の有無を設定します。
表示する場合はONに設定します。
- DISPLAY MODE項目 ：日付・時刻表示する映像出力モードを設定します。
BARS ：カラーバー出力のとき表示
CAM ：カメラ画出力のとき表示
BARS+CAM ：常に表示
- DISPLAY STYLE ：日付・時刻表示スタイルを設定します。
DATE+TIME ：日付と時刻を表示
DATE ：日付のみ表示
TIME ：時刻のみ表示

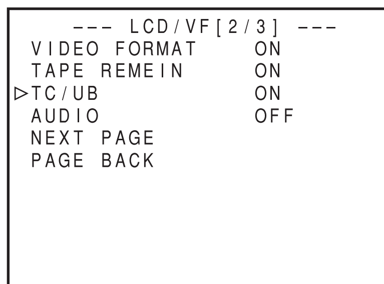
■ 各動作モードでの日付・時刻表示

カメラモード時	：内蔵時計の日付・時刻を表示
VTR再生モード時	：テープに記録されている日付・時刻を表示
VTR停止モード時	：最後に読み取った日付・時刻の値を表示
IEEE1394 端子からのHDV/DV信号入力時	：HDV/DV入力の日付・時刻を表示

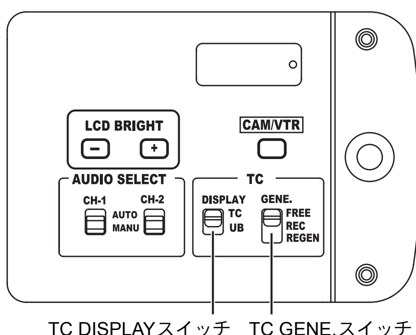
タイムコードを表示する

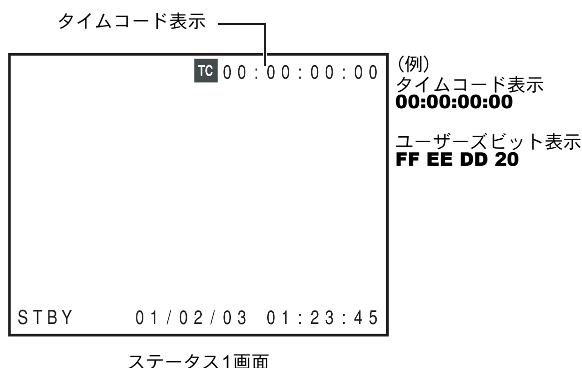
1.

LCD/VF[2/3]メニュー画面



2.





ステータス1画面

本機はSMPTE準拠（NTSC）またはEBU準拠（PAL）のタイムコードおよびユーザーズビットを記録します。再生または記録時、タイムコードおよびユーザーズビットをビューファインダー画面や液晶画面に表示します。

- 本機の出力端子からタイムコードデータは出力しません。

記録および再生時、ビューファインダー画面や液晶画面に、タイムコードまたはユーザーズビットを表示します。（ステータス画面）

■ 設定

1. LCD/VF[2/3] メニュー画面の TC/UB 項目を ON に設定します。
- ステータス画面にタイムコードまたはユーザーズビットデータを表示します。

2. タイムコード表示かユーザーズビット表示かを LCD ドア内にあるTC DISPLAYスイッチで選択します。

TC　：タイムコード表示
UB　：ユーザーズビット表示

■ IEEE1394　端子からの入力タイムコード表示について

EJECTまたは停止時、STOPボタンを1秒間長押しすると、IEEE1394 端子からの DV 入力タイムコードデータまたはユーザーズビットデータをステータス画面に表示します。

DTCG ：IEEE1394端子からのタイムコードデータ
DUBG ：IEEE1394端子からのユーザーズビットデータ

元のタイムコードおよびユーザーズビット表示にもどすときは、STOPボタンを押します。（VTRを動作させた場合も通常タイムコードまたはユーザーズビット表示になります。）

メモ

- IEEE1394 端子からの DV 入力タイムコードおよびユーザーズビットを記録する場合は、TC/UB/CLOCKメニュー画面のTC/CB DUPLI.項目をONに設定します。
  ☞ 77 ページ
- IEEE1394 端子からの DV 入力信号を記録する場合、タイムコードの連続性を保つためTC　GENE. スイッチをREGENモードにしてご使用ください。
- HDV入力のタイムコード表示は対応していません。

ご注意

2H以上のタイムコードを記録したテープを民生用DVビデオ機器で再生した場合、タイムコードを正しく再生しない機種があります。

テープに記録されているタイムコードに続けてタイムコードを記録する

本機はタイムコードリーダーも備えています。撮影スタンバイ状態から記録モードに入るとき、テープに記録されているタイムコードデータを読み取り、その値に続けてタイムコードを記録します。ユーザーズビットはテープに記録されているユーザーズビットと同じデータを記録します。

* ただし、つなぎの精度は±１フレームぐらいのバラツキがあります。

タイムコード関連スイッチを次の様に設定して記録を始めてください。

■ 設定

LCDドア内にあるTC GENE.スイッチをREGEN側に設定します。

メモ

タイムコードのフレーミングモードは自動的にテープに記録されているモード（ドロップフレームまたはノンドロップフレームモード）になります。

タイムコードを任意にプリセットし記録する

TC/UB/CLOCKメニュー画面
（FRAME RATE:60/30設定時）

```
  --- TC/UB/CLOCK ---
 TC PRESET        00:00:00:00
                  EXECUTE
 UB PRESET        00 00 00 00
                  EXECUTE
▷DROP/NON DROP   DROP
 TC DUPLI.        OFF
 HEADER REC..
 TIME/DATE..
 PAGE BACK
```

フレーミングモード：
ノンドロップ／
ドロップ設定

TC/UB/CLOCKメニュー画面
（FRAME RATE:50/25設定時）

```
  --- TC/UB/CLOCK ---
 TC PRESET        00:00:00:00
                  EXECUTE
 UB PRESET        00 00 00 00
                  EXECUTE
▷UB REC           ON
 TC DUPLI.        OFF
 HEADER REC..
 TIME/DATE..
 PAGE BACK
```

記録時、内部タイムコードジェネレーターからのタイムコードおよびユーザーズビットのデータを記録します。

- VIDEO FORMATメニュー画面のFRAME RATE項目の設定が “60/30” か “50/25” 設定により、TC/UB/CLOCKメニュー画面が異なります。

タイムコードをプリセットする場合は次のような設定をおこないます。

■ TC GENE.スイッチ
RECまたはFREEに設定します。

REC：タイムコードジェネレーターにプリセットしたデータが記録モード時歩進します。
つなぎ部で連続したタイムコードを記録する場合、この設定にします。
* ただし､つなぎの精度は±1フレームぐらいのバラツキがあります。

FREE：タイムコードジェネレーターにプリセットした時点から歩進を始めます。

■ TC/UB/CLOCKメニュー画面（FRAME RATE:60/30設定時）
DROP/NON DROP項目でタイムコードジェネレーターへのフレミングモードを選択します。

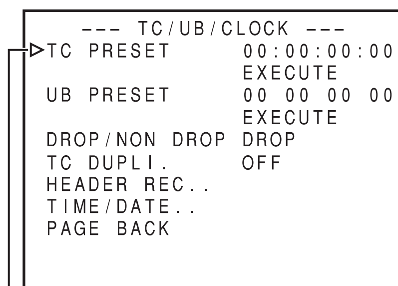
DROP：タイムコードジェネレーターの歩進のしかたをドロップフレームモードにします。
記録した時間を重視するとき、この設定にします。

NON DROP：タイムコードジェネレーターの歩進のしかたをノンドロップフレームモードにします。
フレーム数を重視するとき、この設定にします。

メモ

ドロップフレーム／ノンドロップフレームモード
NTSC方式では1秒間の実際のフレーム数は約29.97フレームですが、タイムコードの処理基準となるフレーム数は30フレームです。このフレーム数のズレを補正するため、10で割り切れない正分毎に00フレームと01フレームをドロップすることでつじつまを合わせるモードをドロップモードといいます。
また、フレームをドロップせず、実時間とのズレを無視するモードをノンドロップフレームモードといいます。

■ TC/UB/CLOCKメニュー画面（FRAME RATE:50/25設定時）
TC/UB/CLOCKメニュー画面のUB REC項目表示時、ユーザーズビットのデータを記録するかを設定できます。



タイムコード（時、分、秒、フレーム）

■ タイムコードのプリセット

タイムコードやユーザーズビットのプリセットはTC/UB/CLOCKメニュー画面でおこないます。

1. TC/UB/CLOCKメニュー画面を表示させます。
TOP MENU画面のTC/UB/CLOCK項目を選択する。

2. タイムコード（時、分、秒、フレーム）を設定します。

❶SHUTTER ダイヤルをまわし、カーソル（▶）を TC PRESETに合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
•タイムコードの1桁目が点滅します。
点滅している桁が設定できる桁です。

❷SHUTTERダイヤルを押すと、点滅桁が移動します。

❸SHUTTERダイヤルをまわすと、点滅桁の値が変わります。
SHUTTERダイヤルを上にまわすと、数値が大きく、下にまわすと小さくなります。

❹上記❷と❸の手順を繰り返し、各桁の値を設定します。

❺フレームの桁を設定後、SHUTTER ダイヤルを押しEXECUTEを点滅させ、もう一度SHUTTERダイヤルを押すと、設定値が確定します。
設定を取り消す場合は、CANCELを選択し、SHUTTERダイヤルを押します。

3. 全ての桁の設定が終わったら

- STATUSボタンを押すと、通常画面にもどります。
または
- SHUTTERダイヤルをまわし、カーソル（▶）をPAGE BACK に合わせ SHUTTER ダイヤルを押すと、TOP MENU画面にもどります。

■ ユーザーズビットのプリセット

ユーザーズビットをプリセットする場合は、TC/UB/CLOCKメニュー画面のUB PRESET項目を選択します。
設定方法は、タイムコードのプリセットの方法と同じです。

- ユーザーズビットは各桁の 0 ～ F の間の数字またはアルファベットで指定します。
- ユーザーズビットのデータを記録する場合は、UB REC項目を“ON”に設定します。

ご注意

ユーザーズビットの全桁をFに指定できません。
再生時、ユーザーズビットの読み取りがオールFの場合は不定データと判定します。

■ タイムコードやユーザーズビットをゼロリセットする場合

TC/UB/CLOCKメニュー画面のTCまたはUB PRESET項目でおこなえます。（タイムコードとユーザーズビット別に）

❶SHUTTERダイヤルをまわし、カーソル（▶）をTCまたはUB PRESET項目に合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。

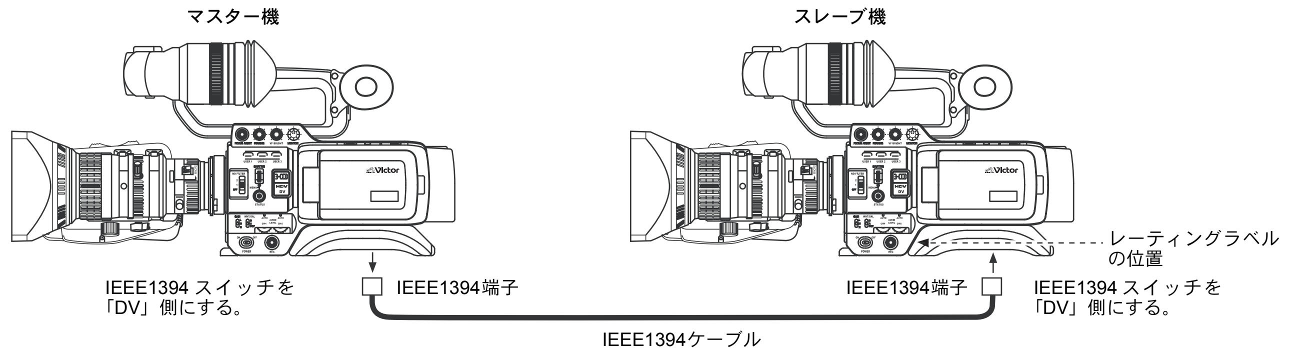
❶SHUTTERダイヤルをまわし、設定値をZERO PRESETにして、SHUTTERダイヤルを押します。

メモ

メニュー画面が表示されていない状態のときにUSER2ボタンとSTOPボタンを同時に約1秒間長押しすると、タイムコードデータをゼロリセットできます。

IEEE1394（DV）接続されたマスター機のタイムコードにスレーブロックする

マルチカメラ撮影を行なうときに、タイムコードを同期させることができます。IEEE1394端子から入力した信号内のタイムコードに内部タイムコードジェネレータを同期させます。同期（スレーブロック）した後は、IEEE1394ケーブルの接続を外しても、内部タイムレコードジェネレータは歩進を続けます。



* スレーブ機としては、本機[GY-HD100(B)]が使用できます。
GY-HD100(B)：レーティングラベルに(B)表示があります。

■ 接続

マスター機とスレーブ機をIEEE1394ケーブルで接続します。

■ 設定および操作

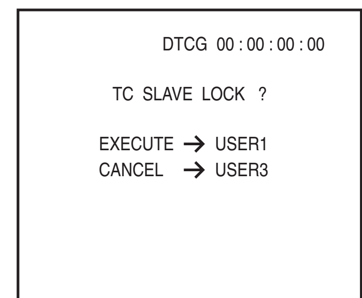
- **マスター機[GY-HD100/GY-HD100(B)]**

1. 本体左側面部のIEEE1394スイッチを「DV」側に設定します。
2. カメラモードにします。
3. RECフォーマットを「DV-60I」または「DV-50I」にします。
4. TC GENE.スイッチを「FREE」側に設定します。

- **スレーブ機[GY-HD100(B)]**

1. 本体左面部のIEEE1394スイッチを「DV」側に設定します。
2. VTRモードにします。
3. マスター機のカメラ画像が入力されていることを確認します。
4. TC GENE.スイッチを「FREE」、TC DISPLAYスイッチを「TC」側に設定します。
5. STOPモードまたはEJECTモードにします。
6. STOPボタンを1秒間長押しします。
   - IEEE1394端子からのDV入力タイムコードデータがステータス画面に表示されます。（ステータス拡大表示の場合は、映像とキャラクター表示になります。）
7. USER1ボタンを押すとスレーブロックします。
（スレーブロックしない場合は、USER3ボタンを押して確認表示を消します。）
8. マスター機にスレーブロックしたタイムコードが歩進していることを確認します。
9. IEEE1394ケーブルの接続を外します。

ステータス画面



メモ

■ 以下の場合は、スレーブロックできません。
- スレーブ機がカメラモード
- スレーブ機がVTＲモードでDV入力信号がない。
- スレーブ機のTC GENE.スイッチがFREEでない。
- スレーブ機がGY-HD100(B)でない場合
- HDVフォーマット

■ ＤＶフォーマットでスレーブロックした後、HDVフォーマットに切り替えた場合に、フレーム桁の値がずれる場合があります。

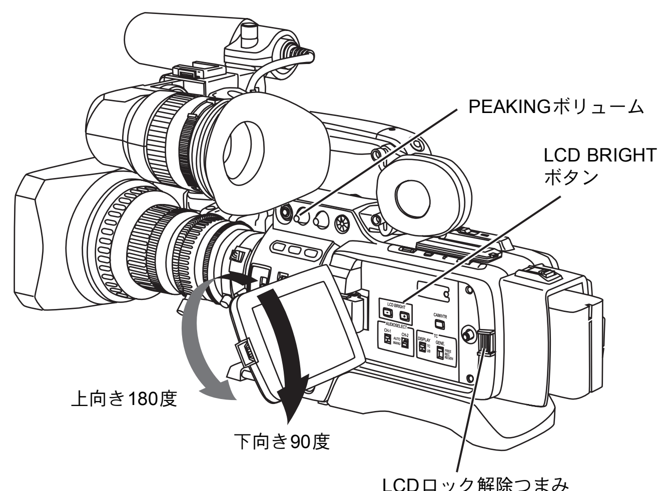
■ 電源を切ると、スレーブロックが外れますので再度スレーブロック操作を行なってください。

■ UB（ユーザーズビット）はスレーブロックできません。

■ マスター機とスレーブ機のフレームレートが異なると正しく歩進しませんので、フレームレートは合わせてご使用ください。

■ ドロップ／ノンドロップが異なると正しく歩進しませんので、マスター機とスレーブ機のドロップ／ノンドロップは合わせてご使用ください。

液晶画面の調整



液晶画面の向き・角度や画面の明るさなどを変えることができます。

■ 液晶画面の向きや角度を変える

- LCDロック解除つまみを背面側にスライドさせ、LCDドアを開きます。
- LCDドアを開いた状態で、LCDドアを回転させます。
  上向き方向には180度、下向き方向には90度まで回転します。
  上向きに180度回転させると、レンズ側から液晶画面を見ることができます。（対面表示）

■ 液晶画面の調整

- PEAKING：
  液晶画面とビューファインダー画面の輪郭を調整します。
- LCD BRIGHT：
  液晶画面の明るさを調整します。

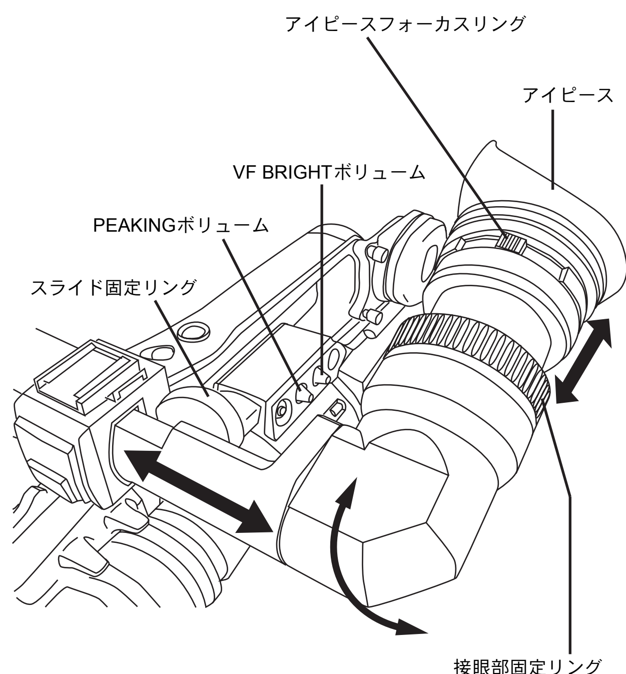
LCD/VF[1/3]メニュー設定画面で設定します。☞ 74 ページ

- LCD MIRROR MODE：
  対面撮影を行なうときに液晶画面を鏡面表示にすることができます。

LCD/VF[3/3]メニュー設定画面で調整します。
☞ 76 ページ

- LCD CONTRAST：
  液晶画面のコントラストを調整します。
- BLACK & WHITE：
  液晶画面とビューファインダーを白黒表示にすることができます。

ビューファインダーの調整



■ ビューファインダーの向き

ビューファインダーの位置および角度を調整します。

■ 視度調整

アイピースフォーカスリングを回すことによってビューファインダー画面の画像がはっきりと見えるようにします。

■ ビューファインダー画面の調整

- PEAKING：
  液晶画面とビューファインダー画面の輪郭を調整します。
- VF BRIGHT：
  ビューファインダー画面の明るさを調整します。

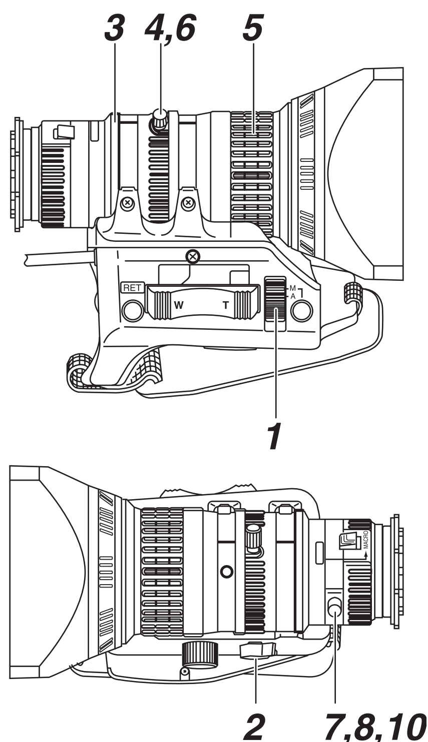
LCD/VF[3/3]メニュー設定画面で調整します。
☞ 76 ページ

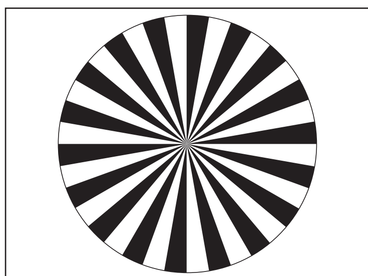
- VF CONTRAST：
  ビューファインダー画面のコントラストを調整します。
- BLACK & WHITE：
  液晶画面とビューファインダーを白黒表示にすることができます。

メモ

ビューファインダーの画面サイズはVIDEO FORMATメニュー画面のASPECT項目の選択で変わります。（4:3または16:9）

バックフォーカスの調整



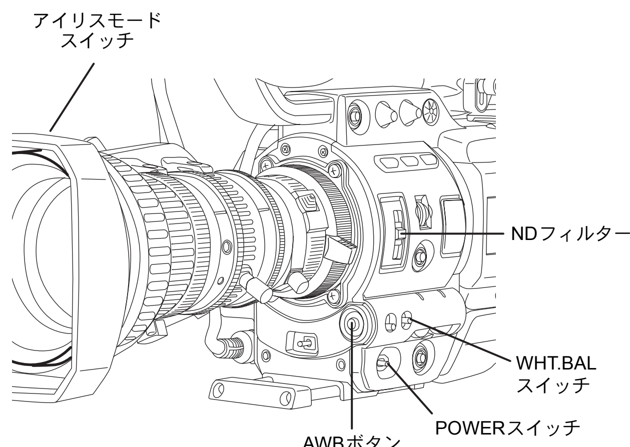

ジーメンスターチャート（被写体）

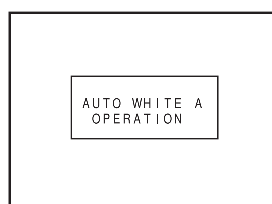
はじめてレンズを取り付けたとき、ズーム操作で望遠・広角の両方でピントが合わないときには、レンズのバックフォーカスを調整します。

- 被写体をカメラから3m以上はなれた位置におきます。
  被写体はジーメンスターチャートが最適です。

1. レンズのアイリスモードスイッチをM（手動）にします。
2. ズームモードスイッチをM（手動）にします。
3. アイリスリングを回し開放にします。
適正な映像レベルが得られるように照明を調整します。
4. ズームレバーを回してレンズを最大望遠位置にします。
5. フォーカスリングを回して被写体にピントを合わせます。
6. レンズを最大広角位置にします。
7. バックフォーカスリングの固定ネジをゆるめます。
8. 同じ被写体を写してピントが一番合う位置にバックフォーカスリングを固定します。
9. 望遠と広角の両方でピントが合うようになるまで、**4.**～**8.**を3回程度繰り返します。
10. バックフォーカスリングの固定ネジをしっかりしめます。

ホワイトバランスの調整

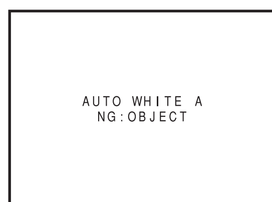




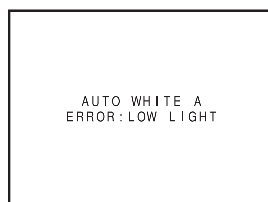
起動中



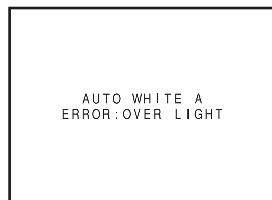
結果表示



被写体不良



光量不足



光量過剰

ご注意

- 被写体には、金属等の強い反射光を置かないでください。正しくホワイトバランスがとれないことがあります。
- 被写体が一色しかない場合や白が少ないなどフルオートホワイト機能の調整範囲を超えている場合は適正なホワイトバランスがとれません。
- FAWの精度はオートホワイトバランスより劣ります。
- FAWモードで電源を入れると、FAWの自動調整が終了するまで約10秒かかります。
  その間は録画しないでください。

光源により光の色（色温度）が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、ホワイトバランスを再調整してください。

■ ホワイトバランスの調整方法

ホワイトバランスAUTO A、AUTO Bと2種類の値をメモリーに記憶することができます。

■ 設定方法

1. カメラのスイッチを設定します。
- POWERスイッチをONにします。
- レンズのアイリスモードスイッチをA（自動）にします。
- FULL AUTOスイッチをOFFにします。

2. 照明に合わせて、NDフィルターを設定します。

3. WHT.BAL切換スイッチをAあるいは、Bにします。

4. 画面の中心付近に被写体と同じ照明条件のところに白いものを置き、ズームアップして画面に白を映します。

5. AWB（オートホワイトバランス）ボタンを押します。
オートホワイト起動中は「AUTO WHITE A、B OPERATION」とビューファインダーに表示されます。
正しくホワイトバランスがとれると概略の色温度を表示すると共に約5秒間「AUTO WHITE A、B OK」と表示されます。

■ エラー表示

オートホワイト調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージが約5秒間表示します。

- NG：OBJECT（被写体不良）
  被写体の白が少ない時や色温度が適正でないときなどに表示されます。
  白い被写体に変更し、再びホワイトバランスを取り直してください。
- ERROR：LOW LIGHT（光量不足）
  照明が暗いときに表示されますので照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。
- ERROR：OVER LIGHT（光量過剰）
  照明が明るすぎる時に表示されますので照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

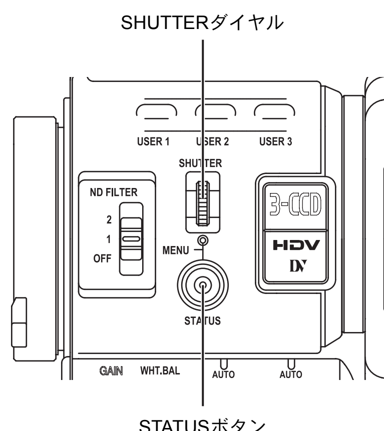
■ フルオートホワイト（**FAW**）機能

照明条件の変化に応じて、その条件に合ったホワイトバランス値に自動調整されます。

このモードは、新たにホワイトバランス調整をとる時間がないときや、照明条件の異なる場所をカメラが頻繁に出入りする場合などに便利です。

■ 設定方法
SWITCH MODEメニュー画面FAW項目で設定します。
FAW 機能をホワイトバランス切換スイッチの A、B、PRESETのうち1つのポジションに割り付けます。
☞ 71 ページ

映像フォーマットの設定




```
  --- VIDEO FORMAT ---
▷FRAME RATE        60/30
 REC               HDV-HD30P
                   EXECUTE
 ASPECT            [16:9]
 HDV PB OUTPUT     NATIVE
 PB TAPE           AUTO
 OUTPUT TERMINAL   AUTO
 DOWN CONV. [HDV]  SQUEEZE
 SET UP            7.5%
 PAGE BACK
```

```
  --- VIDEO FORMAT ---
▷FRAME RATE         50/25
                    EXECUTE

     CHANGE THE SYSTEM
```

```
         REBOOT!
      SYSTEM CHANGE
```

映像フォーマットをVIDEO FORMATメニュー画面のFRAME RATE項目およびREC項目で設定します。

■ FRAME RATE項目の設定

1. STATUSボタンを1秒以上押し押します。
   - TOP MENU画面を表示します。
2. SHUTTER ダイヤルを回して、カーソル（▶）を VIDEO FORMAT..項目に合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
   - VIDEO FORMATメニュー画面を表示します。
3. SHUTTER ダイヤルを回して、カーソル（▶）を FRAME RATE項目に合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
   - 選択した項目の設定値部分が点滅表示し、可変状態になります。
     画面に“CHANGE THE SYSTEM”が表示されます。
4. SHUTTERダイヤルを回して、設定を変え、SHUTTERダイヤルを押します。
   - 設定値の点滅が止まり、仮確定します。
   - カーソル（▶）がEXECUTE項目に移動し、EXECUTEが点滅します。
5. SHUTTERダイヤルを押します。
   - 画面に“REBOOT! SYSTEM CHANGE”が表示され、数秒後にリブート（再起動）されます。

■ REC項目の設定

FRAME RATE項目の設定と同様の手順で設定します。

メモ

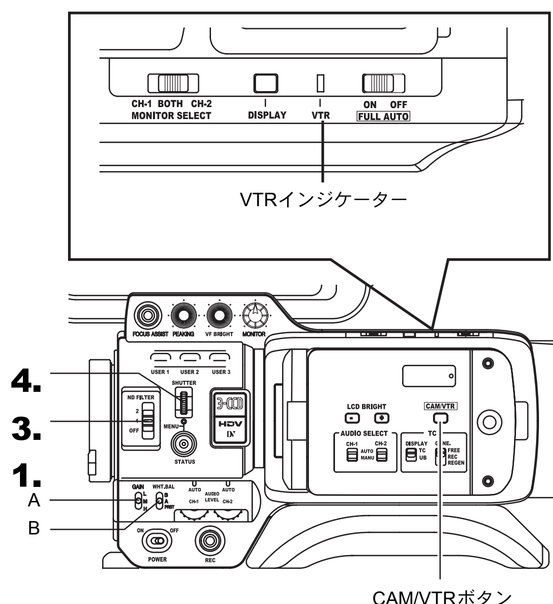
- FRAME RATE項目の設定を変更した場合に、リブート（再起動）が実行されます。
- REC 項目の設定を切り換えたときに映像の同期信号が一瞬乱れます。

■ モーションスムース機能について

REC項目がHDV-HD30P、HDV-HD25P、HDV-HD24P設定のときCAMERA　PROSSES[2/2] メニュー画面のMOTION SMOOTH 項目をON に設定して記録すると、通常のプログレッシブ映像より、滑らかな画像で再生できます。
☞ 68 ページ

この機能は、記録再生時にのみ有効で、ライブ出力や撮影時には確認できません。

カメラの設定



1. スイッチを設定します。
A. [GAIN]感度選択：L位置（0 dB）
B. [WHT. BAL]ホワイトバランス：AあるいはB

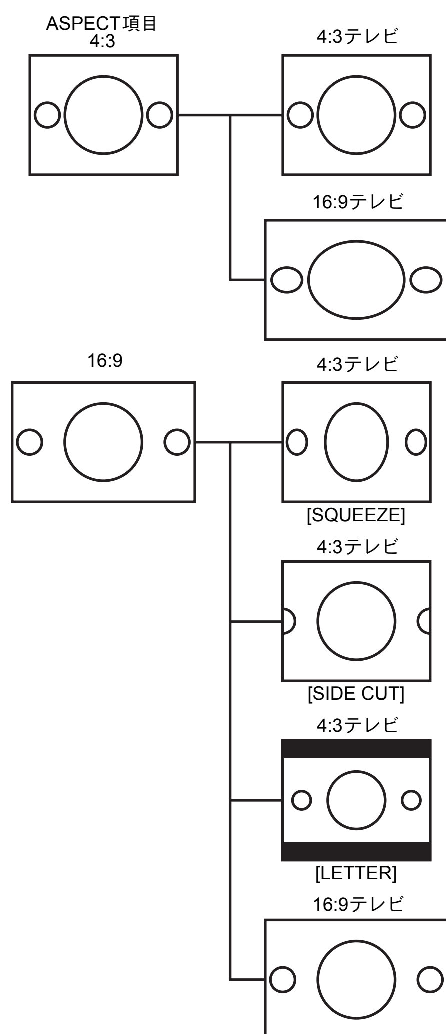
2. レンズのアイリスモードスイッチを“A”（オートアイリス側）に設定します。

3. NDフィルターを選択します。

ND FILTER		使用する場所
OFF	OFF	室内および暗い屋外
1	1/4ND	良く晴れた屋外
2	1/16ND	極端に明るい屋外

4. SHUTTER ダイヤルでシャッタースピードを OFF にします。

画面サイズ（4:3/16:9）の選択



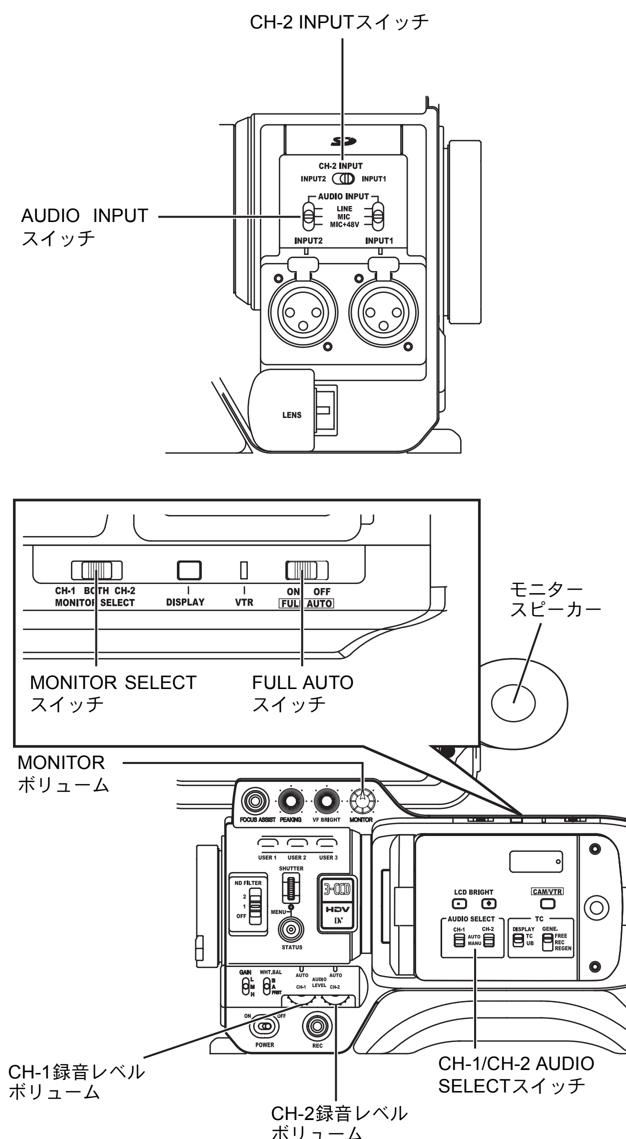
記録映像の画面サイズをVIDEO FORMATメニュー画面のASPECT項目で選択できます。☞ 64 ページ

- 標準画面で記録する場合はASPECT項目を4:3に設定します。
- 16:9画面で記録する場合はASPECT項目を16:9に設定します。

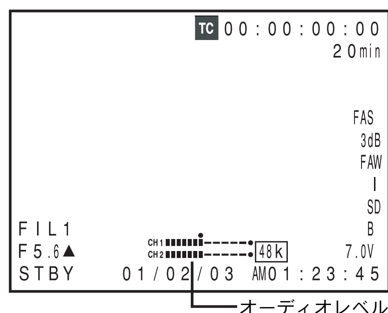
メモ

- VIDEO FORMATメニュー画面のREC項目をHDVフォーマット設定時、ASPECT項目は16:9に固定され、“[16:9]”と表示されます。
- 上記の場合に、4：3テレビに表示する映像スタイルを設定することができます。
☞ 64 ページ
- LCD/VF[1/3]メニュー画面のSAFETY ZONE項目で、標準画面および16:9画面のセーフティーゾーンをビューファインダーや液晶画面に表示させることができます。
☞ 74 ページ
- ASPECT項目を4:3に設定時、ご使用の16:9テレビによっては、表示される画面が異なる場合があります。

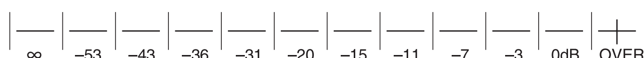
音声入力の設定



ステータス1画面



表示レベル（目安）



本機はオーディオ入力用として、INPUT1端子とINPUT2端子を備えています。
CH-2に記録する音声は、CH-2 INPUTスイッチでINPUT1端子かINPUT2端子の音声を選択します。

■ CH-2チャンネル入力端子の選択

CH-2 INPUTスイッチで選択します。

INPUT1　：INPUT1端子の音声をCH-2に入力します。
INPUT2　：INPUT2端子の音声をCH-2に入力します。

メモ

INPUT1端子の音声は、設定に関係なくCH-1にも入力します。

■ オーディオ入力信号の選択

INPUT1またはINPUT2端子に入力する音声をAUDIO INPUTスイッチで選択します。
INPUT1またはINPUT2端子のそれぞれに対して設定します。

LINE　：オーディオ機器などを接続するとき、この設定にします。
入力基準レベルは+4dBsになります。
MIC　：ダイナミックマイクを使用するとき、この設定にします。
MIC+48V　：+48Vの電源供給が必要なマイク（ファントムマイク）を接続するときにこの設定にします。

ご注意

+48Vの電源供給が不要な機器を接続するときは、MIC+48Vの位置に設定されていないことを確認のうえ、接続してください。

メモ

MICおよびMIC+48V設定時の入力基準レベルは、AUDIO/MIC[1/2]メニュー画面のINPUT1、2 MIC REF.項目で選択できます。

■ 録音レベルの調整

オーディオチャンネル毎に録音レベルの調節をAUTOモードにするかMANUALモードにするか、CH-1/CH-2 AUDIO SELECTスイッチで選択できます。

■ 録音レベルボリュームでの調節

録音レベルは記録、記録ポーズ、停止モード時、手動で調節できます。

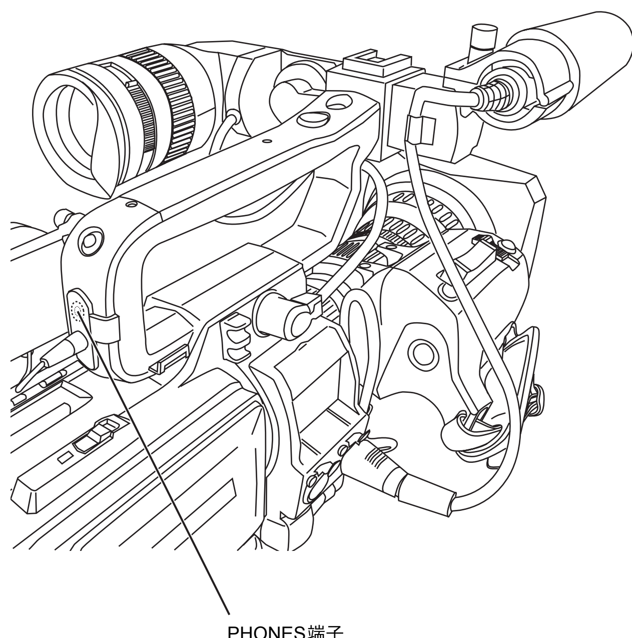
1. 録音レベルを手動で調節したいチャンネルの CH-1/CH-2 AUDIO SELECTスイッチをMANUAL側に設定します。
2. 該当する録音レベルボリュームを回して調節します。
   - 大きな音が入った場合、レベルメーターのピークが–3dBを超えない様、調節します。

ご注意

- AUDIO INPUTスイッチを“MIC”に設定した場合、INPUT 1/2端子にマイクロホンが接続されている事を確認してください。マイクロホンが接続されていない状態で、録音レベルを上げると、入力端子からのノイズがテープに記録されることがあります。INPUT1/2端子にマイクロホンを接続しない場合はAUDIO INPUTスイッチを“LINE”に設定するか録音レベルボリュームを絞ってください。
- FULL AUTO時は、CH-1およびCH-2の録音レベルボリュームでの調整はできません。

メモ

テープに記録する基準レベルは、AUDIO/MIC[1/2]メニュー画面のAUDIO REF. LEVEL項目で設定できます。(–20dBまたは–12dB)…CH-1、CH-2共一緒に変わります。



PHONES端子

■ 記録時の音声モニターについて

記録、記録ポーズまたはストップモード時入力される音声をモニタースピーカーまたはイヤホンで確認できます。

- オーディオモニターするチャンネルをMONITOR SELECTスイッチで選択します。

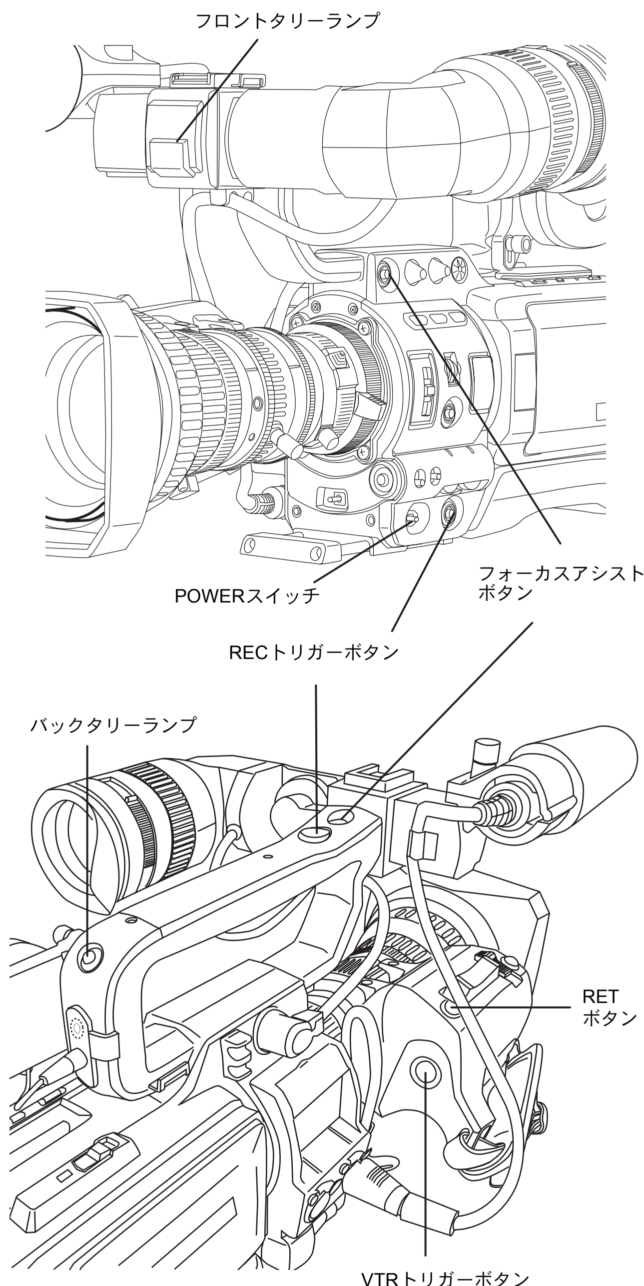
  CH-1　：CH-1チャンネルに入力する音声を出力します。
  BOTH　：CH-1とCH-2チャンネルに入力する音声をミックスして出力します。
  CH-2　：CH-2チャンネルに入力する音声を出力します。

- MONITORボリュームでモニター音声の音量を調節します。
- 本機に異常があった場合、アラーム音を出力します。
  テープが終了したときやバッテリーが容量不足のときもアラーム音を出力します。
  * 音声モニターレベルを上げすぎると、カメラマイクとハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。

メモ

- ステレオタイプのイヤホンジャック接続時、ステレオ音声を出力させる場合は、次のように設定します。
  ❶MONITOR SELECTスイッチをBOTHに設定します。
  ❷AUDIO/MIC[2/2]メニュー画面のAUDIO MONITOR項目をSTEREOに設定します。
- AUDIO/MIC[2/2]メニュー画面のAUDIO MONITOR項目が“STEREO”設定時、モニタースピーカーからはCH-1の音声のみ出力します。
- アラーム音の音量はOTHERS[1/2]メニュー画面のALARM VR LEVEL項目で設定できます。(OFF/LOW/MIDDLE/HIGH)

基本的な記録のしかた



クイックレコスタート（QUICK REC START）モードについて

カセットを挿入してすぐに、REC/VTRトリガーボタンを押すと、クイックレコスタートモードとなり、記録の立ち上がりを早くできます。ただし、テープの途中から記録をおこなった場合、前の映像とは継らずブランク部分が生じます。
また、タイムコードも連続しません。（一部重複することもあります。）

1. POWERスイッチをONにします。
- 本機に電源が供給されカメラモードになります。

2. 収録を始める。
本機のREC/VTRトリガーボタンを押します。
収録を始めます。
収録を始めるとフロントタリーおよびバックタリーランプが赤色に点灯します。

メモ

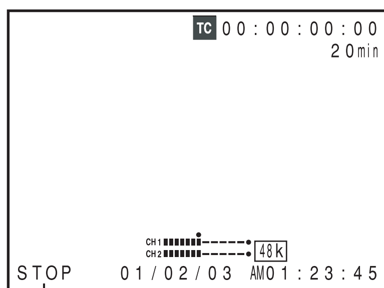
フロントタリーおよびバックタリーランプの点灯状態はOTHERS[1/2] メニュー画面の FRONT TALLY や BACK TALLY項目の設定によって変わります。☞ 80 ページ

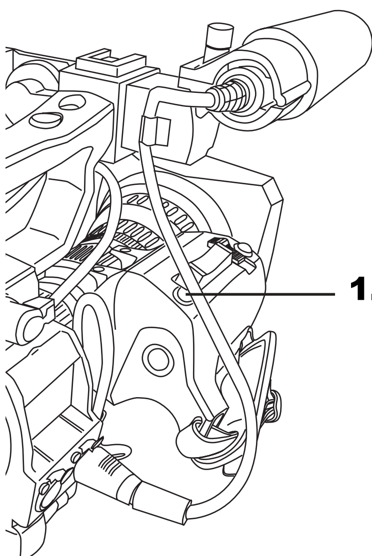
ご注意

- TAPE ENDになると自動的に停止します。停止状態を約3分続けるとテープ保護モードになります。
☞ 80 ページ「OTHERS[1/2] メニュー画面」のLONG PAUSE TIME
- REC/VTRトリガーボタンを連打したり、押した直後にPOWERスイッチを動かすと、記録を受け付けないことがあります。
この場合はPOWERスイッチをOFFにし、5秒以上時間をおいて再度立ち上げてください。
- 収録中、POWERスイッチやDC電源をOFFにしたりバッテリーを取り出すとつなぎが保証できません。
- 大切な記録のときは事前に試し撮りを行って、正常に記録できている事を確認してください。
- 録画中にレンズのアイリスが急激に変化したり、マニュアルでアイリスを激しく動かしたりすると、レンズのアイリス音をマイクロホンでひろう場合があります。

■ フォーカスアシスト機能について

撮影時、このボタンを押すと、合焦部分が青、赤、緑色のいずれかで表示され、正確なフォーカスを合わせやすくなります。
☞ 74 ページ「LCD/VF[1/3]メニュー画面」
RETボタンにもこの機能を設定できます。
☞ 71 ページ「SWITCH MODEメニュー画面」のLENS RET





■ 撮影スタンバイで放置した場合

テープ保護モードになる時間の設定

撮影スタンバイモードからテープ保護モードに入る時間は、OTHERS[1/2]メニュー画面のLONG PAUSE TIME項目で5分または3分に設定することができます。☞ 80 ページ

撮影スタンバイモードを約5分または約3分間続けると、本機はテープ保護のため、自動的にドラムの回転が停止します。（テープ保護モード）

テープ保護モード時、液晶画面またはビューファインダー画面のVTRモード表示はSTOPと表示します。（ステータス1画面）

- ■ テープ保護モード時、記録したい場合はREC/VTRトリガーボタンを押します。
  - ドラムが回転を始め、約3秒後記録を始めます。
- ■ テープ保護モードから撮影スタンバイモードにもどす場合は、RETボタンを押してください。

ご注意

RETボタンをフォーカスアシストボタンとして使用時、この機能は動作しません。

■ 撮影スタンバイ時、記録内容を確認する（録画チェック機能）

録画チェック機能はスタンバイモード時のみ有効です。
スタンバイ時、記録内容の最後の部分をDVフォーマット記録時は約5秒間、HDVフォーマット記録時は約7秒間再生します。

- 液晶画面、ビューファインダーや映像信号出力端子に接続したモニターで記録内容を確認できます。
- 液晶画面、ビューファインダーや映像信号出力端子からの映像はVTRを通した映像になります。

1. スタンバイ状態時、カメラレンズ部のRETボタンを押します。
  - テープを巻き戻し、その部分をDVフォーマット記録時は約6秒間、HDVフォーマット記録時は約8秒間、再生します。再生後、RETボタンを押したテープ位置でスタンバイ状態にもどります。

- ■ RETボタンを押し続けると、DVフォーマット記録時は、最大約18秒までHDVフォーマット記録時は、最大約20秒まで巻き戻して再生します。
  - 再生中にREC/VTRトリガーボタンを押すとREC予約ができます。再生後、記録モードに入ります。

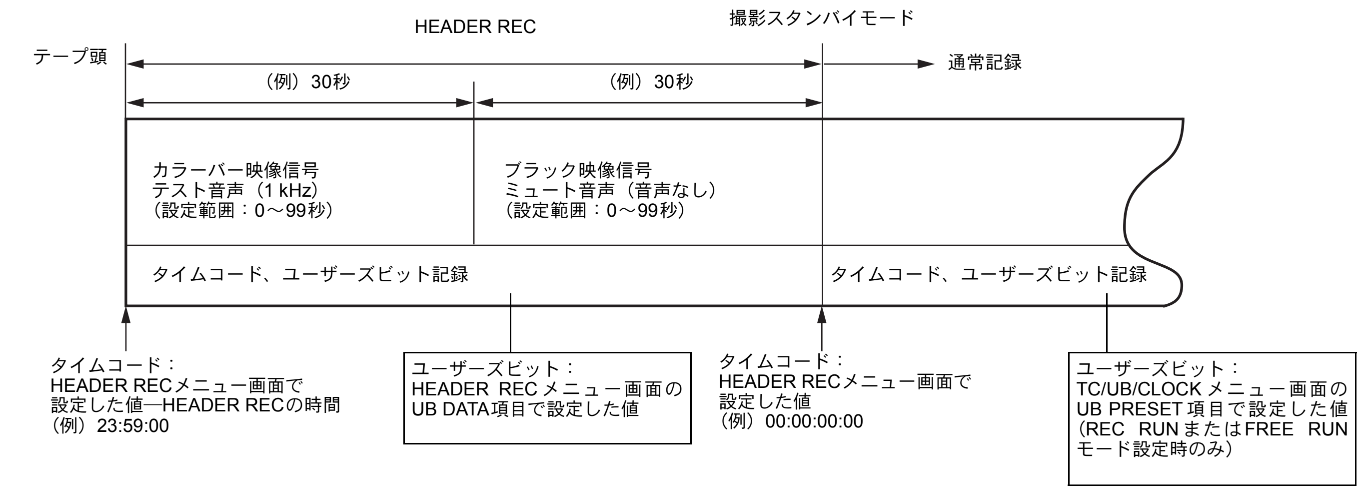
ご注意

- RETボタンをフォーカスアシストボタンとして使用時、この機能は動作しません。
- VTRが停止モード時、この機能は動作しません。
- 録画チェック時、ヘッド目詰まりなどによりエラーレートが悪化した場合、次の様な表示をします。
  液晶画面やビューファインダー画面に“HEAD CLEANING REQUIRED!”表示。（ステータス0、1、4画面表示時）

HEADER REC機能

STOPボタンを押しながらREC/VTRトリガーボタンを押すと、テープ頭部分に、最初に内蔵信号発生器のカラーバー映像とテスト音声（1 kHz正弦波）、次にブラック映像信号とミュート音声信号を前もって指定した時間だけ記録します。記録を終了すると、撮影スタンバイモードになります。撮影スタンバイ位置でのタイムコード値は、前もって指定したタイムコードとなります。（HEADER REC機能）

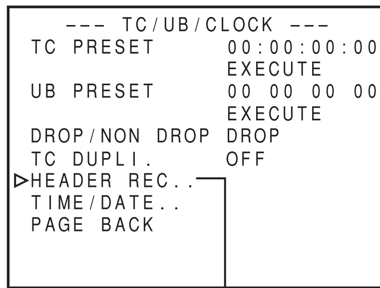
- HEADER REC機能を有効にするかの設定およびHEADER RECの実行時間やHEADER RECを終了し撮影スタンバイモードになったときのタイムコード設定などHEADER REC機能に関する設定は、HEADER RECメニュー画面でおこないます。
- HEADER REC機能は、次の状態のときに実行します。
  CAM/VTRボタン：CAMモード
  撮影スタンバイまたは停止モード時



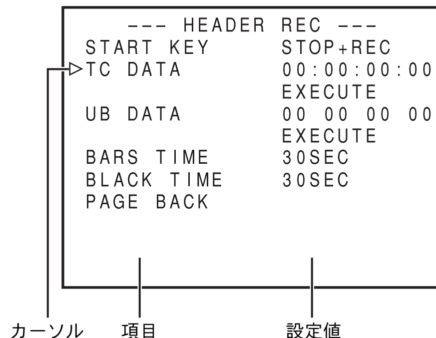
■ HEADER RECメニュー画面の内容

項　目	機　能　・　設　定　値
START KEY	STOPボタンを押しながらREC/VTRトリガーボタンを押したとき、HEADER REC動作を実行するかを設定します。 DISABLE　：HEADER REC動作を実行しません。 STOP+REC　：HEADER REC動作を実行します。
TC DATA	HEADER RECを終了し、撮影スタンバイモードになったときのタイムコード値を設定します。 EXECUTE　：設定したタイムコードを確定します。 ZERO PRESET：タイムコードを全て“0”にします。 CANCEL　：設定したタイムコードを取り消します。 フレームモードはTC/UB/CLOCKメニュー画面のDROP/NON DROP項目の設定値に従がいます。 * 撮影スタンバイモードになったときのタイムコード値は、この項目で設定した値に対して数フレームズレることがあります。
UB DATA	HEADER REC部分のユーザーズビットを設定します。 EXECUTE　：設定したユーザーズビットを確定します。 ZERO PRESET：ユーザーズビットを全て“0”にします。 CANCEL　：設定したユーザーズビットを取り消します。 **メモ** 通常記録部のユーザーズビットは、TC/UB/CLOCKメニュー画面で設定します。
BARS TIME	HEADER REC時、カラーバー信号およびテスト音声（1 kHz）を記録する時間（秒）を設定します。（1秒ステップ） [設定値：0SEC～30SEC～99SEC]
BLACK TIME	HEADER REC時、ブラック信号を記録する時間（秒）を設定します。（1秒ステップ） [設定値：0SEC～30SEC～99SEC]
PAGE BACK	SHUTTERダイヤルを押すと、TC/UB/CLOCKメニュー画面に戻ります。

TC/UB/CLOCKメニュー画面



HEADER RECメニュー画面





HEADER REC中

- HEADER REC動作時は、メニュー画面を表示しません。

■ HEADER RECメニュー画面の設定方法

1. HEADER RECメニュー画面を表示させる。

❶TOP MENU画面のTC/UB/CLOCK..項目を選択する。

❷TC/UB/CLOCKメニュー画面のHEADER REC項目を選択する。

2. HEADER RECメニュー画面を設定する。

❶メニュー項目を選択する。
SHUTTERダイヤルを回し、カーソル（▶）を設定項目に合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
- 選択した項目の設定値部分が点滅します。

❷設定値を変更する。
SHUTTERダイヤルを回し、設定値を変更し、SHUTTERダイヤルを押します。

■TC DATA項目やUB DATA項目は、SHUTTERダイヤルを押すと、点滅桁が移動します。SHUTTERダイヤルを回すと、点滅桁の値が変わります。全ての桁を設定後、SHUTTERダイヤルを押して、EXECUTEを点滅させもう一度、SHUTTERダイヤルを押すと、設定値が確定します。

3. 設定終了する場合は、STATUSボタンを押します。

■ HEADER REC機能を実行する

HEADER RECメニュー画面のSTART KEY項目をSTOP+RECに設定します。

1. カセットを挿入し、撮影スタンバイまたは停止モードにします。

2. STOPボタンを押しながらREC/VTRトリガーボタンを押します。
- テープは自動的にテープ頭まで巻き戻され、テープ頭から、HEADER RECを開始します。
設定した時間だけHEADER RECをおこなうと、自動的に撮影スタンバイモードになります。
- HEADER REC中、液晶画面やビューファインダーに"HEADER REC"とオンスクリーン表示します。（点滅表示）

3. HEADER RECを終了し、撮影スタンバイモードになった後、REC/VTRトリガーボタンを押すと、通常記録を始めます。
- TC GENE.スイッチがRECまたはREGENに設定時、記録開始のタイムコード値は、HEADER RECメニュー画面で設定したタイムコード値となります。

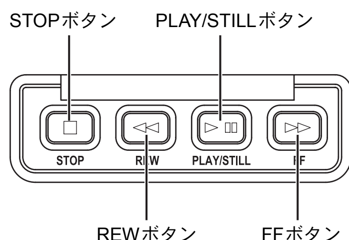
メモ

- HEADER RECを途中で停止する場合は、REC/VTRトリガーボタンまたは停止ボタンを押してください。
- HEADER REC中は、HEADER RECメニュー画面を開くことはできません。
- カセットテープをローディング中でも、HEADER REC動作を受け付けます。
- カラーバー部のテスト音声（1 kHz正弦波）は、AUDIO/MIC[1/2]メニュー画面のTEST TONE項目の設定には関係なく記録されます。
- TC/UB/CLOCKメニュー画面でプリセットしたタイムコードは、HEADER RECをおこなうと、無効となります。
- HEADER REC完了後のユーザーズビットは、TC/UB/CLOCKメニュー画面で設定したユーザーズビット値となります。
- HEADER REC完了後のタイムコード値の歩進は、TC GENE.スイッチの設置に従がいます。
FREE RUN: 歩進を続けます。
REC RUNまたはREGEN: REC時のみ歩進します。
- HEADER REC動作開始時のREWモードのとき、液晶画面、ビューファインダー、ビデオ出力には、カメラ画は出力されません。

再生

再生のしかた

撮影した映像をビューファインダー、液晶画面や映像信号出力端子のモニターで見ることができます。



メモ

本機は、次の2種類のカセットを再生できます。
- MiniDVカセット
- DVCAMカセット

LPモード記録したテープは再生できません。

1. POWERスイッチをONにします。
2. 本機をVTRモードにします。
   CAM/VTRボタンを押し、VTRインジケーターを点灯させます。
   * カメラモードでも再生可能です。
     STOPボタンを押しVTR動作モード表示をSTOP表示にすると操作できます。
3. 記録カセットテープを正しく挿入します。
   - カセットテープをローディングし、停止モードになります。
4. 本機上面部のオペレーションカバーを開きます。
   オペレーションカバーは横にスライドさせて開けます。
5. PLAY/STILLボタンを押します。
   - 再生を始めます。
6. 再生を一時停止するときは、もう一度PLAY/STILLボタンを押します。
   - スチル（静止画再生）モードになります。
7. 再生を再開するときは、PLAY/STILLボタンを押します。
8. 再生やスチルモードをやめるときは STOP ボタンを押します。

メモ

- VTR モード時、ビューファインダー、液晶画面や映像信号出力端子にカメラ映像は出力しません。
- スチルや停止状態を続けると、本機は自動的にテープ保護モードになります。

  テープ保護モード　：テープ保護のためドラムの回転を止めます。

- スチル状態時、画面にノイズが入ることがあります。
- 再生モードの立ち上がりでオートトラッキング動作中は、再生画にデジタルノイズが入ります。
- 本機は手動によるトラッキング調整はできません。
- 他機で記録したテープを再生時、デジタルノイズが発生することがあります。
- ローディング時、内蔵ヘッドクリーナーの動作音がしますが異常ではありません。
- 日付・時刻やタイムコードはテープに記録されているデータを画面に表示します。画面表示の有無はメニュー画面で選択できます。

  日付・時刻表示　：TIME/DATEメニュー画面
  タイムコード表示　：LCD/VF[2/3]メニュー画面

早送り／巻戻しのしかた

■ 停止時、FFボタンを押すと、テープを早送りします。
REWボタンを押すとテープを巻きもどします。
（VTRモード時のみ）
* カメラモードのSTOPモード時に“FF”、“REW”ボタンを押すと、“SWITCH TO VTR MODE”と表示され動作しません。

■ 早送りまたは巻き戻しをやめるときはSTOP ボタンを押します。

メモ

- 早送りまたは巻き戻し時、テープの終了付近になると、テープ保護のため減速します。
- 低温環境下では、早送り、巻き戻し時間が長くなる場合がありますが、故障ではありません。

サーチのしかた

■ 再生またはスチル時、FFボタンを押すと、早送り再生します。
REWボタンを押すと巻戻し再生します。
（ボタンを押す毎に×2、×5、×10倍速になります。）

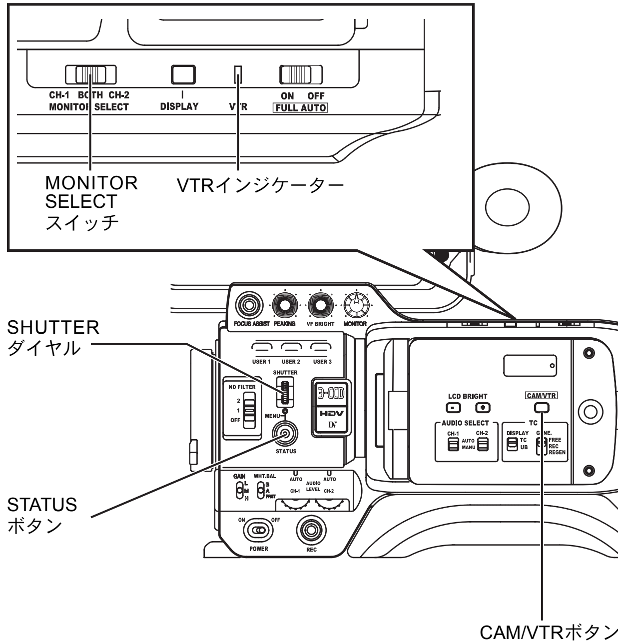
■ 通常再生モードにもどすときは、PLAY/STILLボタンを押します。

■ 停止するときは、STOPボタンを押します。

メモ

- DVフォーマット記録のテープをサーチ中に音声を出力する場合は、AUDIOメニュー画面のSEARCH AUDIO[DV]項目をONに設定します。
- サーチ中、画面にブロックノイズが出たり、画像がフリーズする場合があります。

音声を出力する



AUDIOメニュー画面

```
--- AUDIO ---
 TEST TONE              ON
 AUDIO REF.LEVEL        -20dB
 AUDIO MONITOR          MIX
 SEARCH AUDIO[DV]       ON
▷PB AUDIO CH[DV]        CH1/2
 PAGE BACK
```

■ 設定

本機がVTRモードになっている事を確認します。
（VTRインジケーター：点灯）

1. AUDIOメニュー画面を表示させる。
TOP MENU画面のAUDIO項目を選択する。

2. AUDIOメニュー画面を設定します。

- AUDIO MONITOR項目
  - MIX　：ミックス音声を出力
  - STEREO　：ステレオ音声を出力
- PB AUDIO CH[DV]項目
  - CH1/2　：撮影時の音声（CH-1、CH-2）の音声を再生します。
  - MIX　：撮影時の音声（CH-1、CH-2）とCH-3、CH-4にアフレコした音声を同時に再生します。
  - CH3/4　：CH-3とCH-4にアフレコした音声を再生します。

3. MONITOR SERECTスイッチを設定します。
下記の表1を参考に設定してください。

4. 次のいずれかの操作で通常画面にもどします。

- STATUSボタンを押す。
  または
- TOP MENU画面にもどして、EXIT項目を選択し、SHUTTERダイヤルを押します。

メモ

DVフォーマットはオーディオサンプリング周波数が12ビット32kHzの場合、4チャンネルまで記録トラックを用意しています。
本機はその内、CH-1、CH-2の2チャンネルに音声を記録しています。（DV入力の場合は4チャンネル記録ができます。
他機でCH-3、CH-4チャンネルに音声記録したテープを本機で再生する場合、AUDIOメニュー画面のPB AUDIO CH[DV]項目を設定します。
本機でCH-3、CH-4チャンネルへのアフレコはできません。

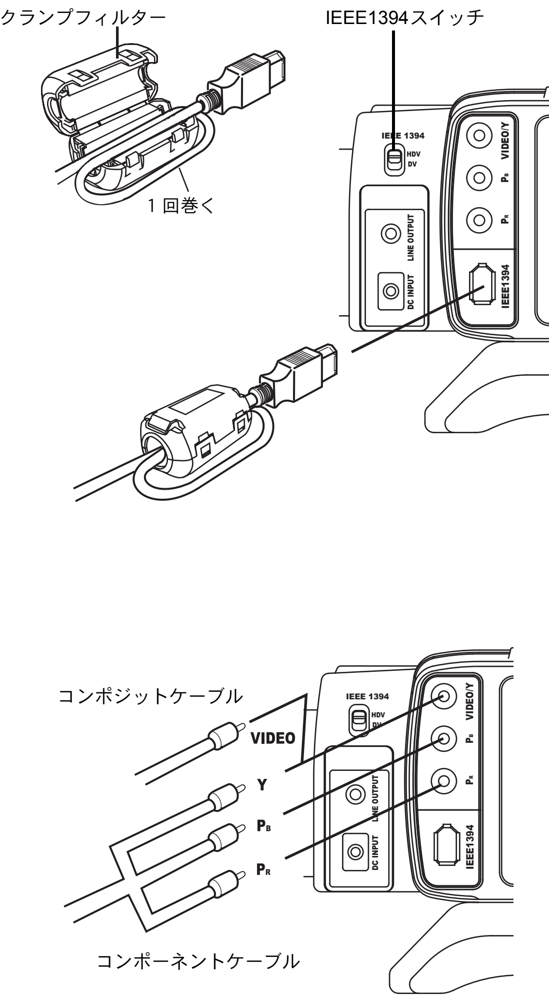
表1

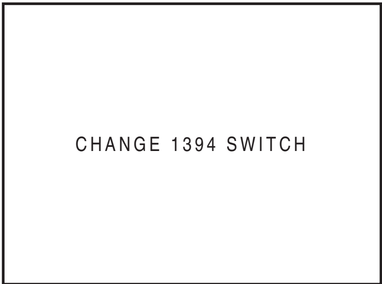
＊ HDVフォーマット時は、太枠部のみ選択できます。

MONITOR SELECT	PB AUDIO CH [DV] / AUDIO MONITOR	CH1/2	MIX	CH3/4
CH-1	—	L/R:CH1	L/R:CH1+CH3	L/R:CH3
BOTH	MIX STEREO	L/R:CH1+CH2 L:CH1 R:CH2	L/R:CH1+CH2+CH3+CH4 L:CH1+CH3 R:CH2+CH4	L/R:CH3+CH4 L:CH3 R:CH4
CH-2	—	L/R:CH2	L/R:CH2+CH4	L/R:CH4

外部機器を使う

映像信号ケーブルをつなぐ





■ アラーム表示

- CHANGE 1394 SWITCH

IEEE1394端子から入出力する映像フォーマットとIEEE1394スイッチの設定が異なった設定のとき表示されます。
IEEE1394スイッチを映像フォーマットに合わせて設定してください。

■ IEEE1394ケーブルをつなぐ

不要電波の放射を軽減するため必ず付属のクランプフィルターを左図のように取り付けてください。

- クランプフィルターは図のようにできるだけ本機の近くに取り付けてください。
- 本機左側面部のIEEE1394スイッチを設定します。

DV　：DVフォーマット
HDV　：HDVフォーマット

ご注意

カメラレコーダー、VTRおよびその他のIEEE1394機器にIEEE1394ケーブルを接続する場合、必ず下記の手順を確認してください。正しく接続しないと、本体の回路が故障する場合があります。

- 本体および接続機器の電源は切ってから IEEE1394 ケーブル接続を行なってください。
- IEEE1394ケーブル端子の形状を確認し、逆向きに接続しないようにしてください。
- 静電気が発生した状態、又は発生しやすい場所では、接続しないようにしてください。
- IEEE1394 スイッチを HDV ⇔ DV 間で切り換える際には、本体および接続機器の電源を切った状態で行なってください。

■ コンポジット、コンポーネント接続

本機の映像信号出力端子（VIDEO/Y、PB、PR）から出力される映像信号は、VIDEO FORMAT メニュー画面のOUTPUT TERMINAL項目の設定により、下記のようになります。

AUTO　：映像信号出力端子に接続したケーブルの状態に応じてコンポジットまたはコンポーネント信号を自動で切り換えて出力します。
COMPOSITE　：映像信号出力端子に接続したケーブルの状態に関係なくコンポジット信号を出力します。
COMPONENT　：映像信号出力端子に接続したケーブルの状態に関係なくコンポーネント信号を出力します。

AUTO設定時の出力信号

端子（○：未接続 ●：接続）			出力信号
VIDEO/Y	PB	PR	
●	●	●	COMPONENT
●	○	●	COMPOSITE
●	●	○	COMPONENT
●	○	○	COMPOSITE
上記以外			OFF

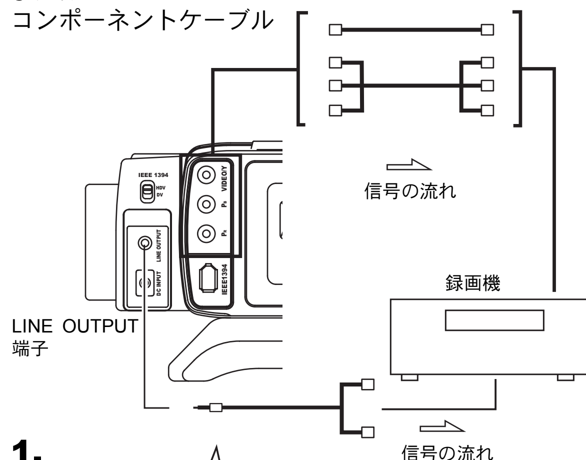
また、テープ再生時は、再生テープの映像フォーマットを自動検出するか特定のフォーマットのみ再生するかをPB TAPE項目で設定できます。
☞ 65 ページ

ご注意

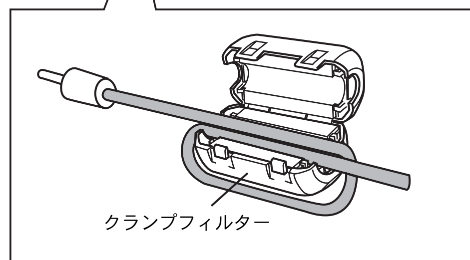
- 映像信号出力端子にケーブルを接続または取り外す際は、映像信号出力端子に過大な負荷を加えないようにご注意ください。接触不良や故障の原因になります。
- RCA←→BNC変換コネクターを使用時、信号自動切り換え機能を動作させる場合は変換コネクターごと映像出力端子から外してください。

AV機器でダビングする

1.
コンポジットケーブル
または
コンポーネントケーブル



1.
オーディオ
ケーブル



4.

VIDEO FORMATメニュー画面

```
  --- VIDEO FORMAT ---
 FRAME RATE         60/30
▷HDV PB OUTPUT      NATIVE
 PB TAPE            AUTO
 OUTPUT TERMINAL    AUTO
 DOWN CONV.[HDV]    SQUEEZE
 SET UP             0.0%
 PAGE BACK
```

5.

AUDIOメニュー画面

```
      --- AUDIO ---
 TEST TONE           ON
 AUDIO REF.LEVEL     -20dB
 AUDIO MONITOR       MIX
 SEARCH AUDIO[DV]    ON
▷PB AUDIO CH[DV]     CH1/2
 PAGE BACK
```

本機の映像信号出力端子およびLINE OUTPUT端子とAV機器を接続することで、アナログ信号によるダビングができます。

1. ケーブル類を接続します。

不要電波の放射を軽減するため必ず付属のクランプフィルターを左図のように取り付けてください。
- クランプフィルターは図のようにできるだけ本機の近くに取り付けてください。

2. 両方の機器の電源を入れます。

3. 本機をVTRモードにします。
CAM/VTRボタンを押して、VTRインジケーターを点灯させます。

4. 映像出力の設定
VIDEO FORMATメニュー画面を設定します。☞ 64 ページ
- **HDV PB OUTPUT項目**：
テープ再生時､映像信号出力端子から出力する映像フォーマットを設定します。
- **PB TAPE項目**：
再生テープの映像フォーマットを自動検出するか特定のフォーマットのみ再生するかを選択します。
通常は、“AUTO”設定でご使用ください。
- **OUTPUT TERMINAL項目:**
コンポーネントまたはコンポジット出力の設定をします。
通常は、“AUTO”設定でご使用ください。

5. 音声出力の設定 ☞ 55 ページ
AUDIOメニュー画面を設定します。☞ 72 ページ
- **AUDIO MONITOR項目**：
ステレオ音声かミックス音声の設定をします。
- **PB AUDIO CH[DV]項目**：
出力する音声チャンネルを設定します。
- **MONITOR SELECTスイッチを設定します。**

6. カセットテープを入れます。
本機　：記録済みカセットテープ
録画機：ダビングしたいカセットテープ

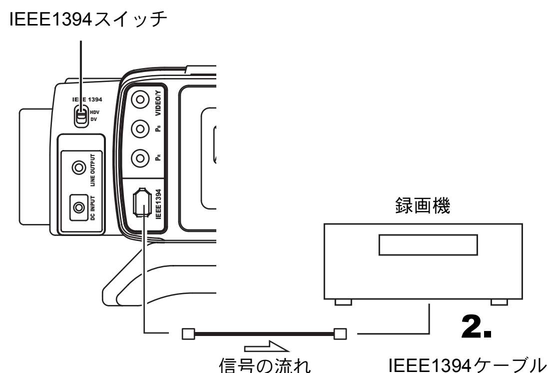
7. 本機のPLAY/STILLボタンを押して、再生を始めます。

8. 録画機で録画を始めます。
詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

9. ダビングが終ったら
録画機の記録を停止し、本機のSTOPボタンを押して、再生を停止します。

HDV/DV機器でダビングする

1.



ご注意

- 送信側と受信側のIEEE1394設定は、HDV/DVを合わせてください。
- 正しく接続されているか、確認してから記録操作してください。

5.

VIDEO FORMATメニュー画面

```
  --- VIDEO FORMAT ---
 FRAME RATE          60/30
 HDV PB OUTPUT       NATIVE
▷PB TAPE             AUTO
 OUTPUT TERMINAL     AUTO
 DOWN CONV.[HDV]     SQUEEZE
 SET UP              0.0%
 PAGE BACK
```

本機とHDV/DV入出力端子（IEEE1394準拠）付きの別のビデオ機器をIEEE1394ケーブル（別売）で接続することで、デジタル信号による高画質、高音質のダビングができます。

■ GY-HD100を再生側に用いる場合（他のビデオへダビングする）

1. 本機左側面部のIEEE1394スイッチを設定します。

DV	：DVフォーマットでダビングするとき
HDV	：HDVフォーマットでダビングするとき

2. IEEE1394ケーブルを接続します。

3. 両方の機器の電源を入れます。

4. 本機をVTRモードにします。
CAM/VTRボタンを押して、VTRインジケーターを点灯させます。

5. VIDEO FORMATメニュー画面のPB TAPE項目を設定します。
☞ 65 ページ
再生テープの映像フォーマットを自動検出するか特定のフォーマットのみ再生するかを選択します。
通常は、“AUTO”設定でご使用ください。

6. カセットテープを入れます。

本機	：記録済みカセットテープ
録画機	：ダビングしたいカセットテープ

7. 本機のPLAY/STILLボタンを押して、再生を始めます。

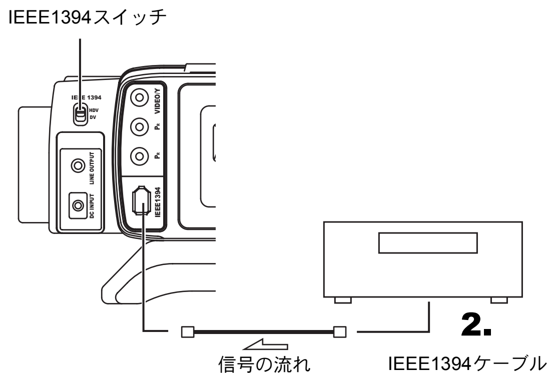
8. 録画機で録画を始めます。
詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

9. ダビングが終ったら
録画機の記録を停止し、本機のSTOPボタンを押して、再生を停止します。

メモ

- IEEE1394スイッチは、本機の電源がOFFのときに切り換えてください。
- スチル画をダビングすると、粗い画像になります。また音声にノイズが入ることがあります。
- 接続する機器の特性や仕様によっては操作方法が異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。
- 画面にノイズが出たり、音声が途切れたりした場合は、IEEE1394ケーブルを抜き差しするかまたはGY-HD100の電源を再投入して入れ直してください。
- IEEE1394端子に接続されている機器の電源を入り切りしたり、ビデオ入力の切り換えをおこなった場合、音声にノイズが発生することがあります。このような操作をおこなう場合は、本機に接続されているオーディオ機器、スピーカー等の音量（ボリューム）を最小にしてください。
- IEEE1394端子を装備した録画機でも、ご使用の機器によっては記録できない場合があります。

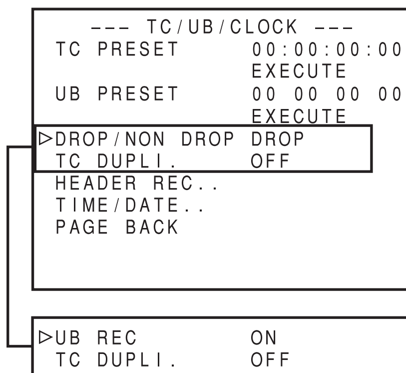
1.

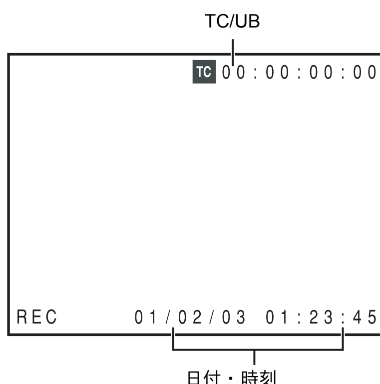


ご注意

- 送信側と受信側のIEEE1394設定は、HDV/DVを合わせてください。
- 正しく接続されているか、確認してから記録操作してください。

6.





■ GY-HD100を記録側に用いる場合（他のビデオをダビングする）

1. 本機左側面部のIEEE1394スイッチを設定します。

DV	：DVフォーマットでダビングするとき
HDV	：HDVフォーマットでダビングするとき

2. IEEE1394ケーブルを接続します。

3. 両方の機器の電源を入れる。

4. 本機をVTRモードにします。
CAM/VTRボタンを押して、VTRインジケーターを点灯させます。

5. フレームレートの設定
IEEE1394端子から入力されるHDV/DV信号のフレームレートに合わせて、VIDEO FORMATメニュー画面のFRAME RATE項目（60/30、50/25、24）を設定してください。
☞ 64 ページ

6. タイムコードおよびユーザーズビットの記録設定
TC/UB CLOCK.メニュー画面のTC DUPLI.項目を設定します。（DVフォーマット時のみ）

OFF	：本機で設定したTC/UBを記録します。
ON	：IEEE1394入力のTC/UBを記録します。
日付・時刻データ	：再生機から送られてくるデータを記録

メモ

HDVフォーマット時は、設定に関係なく本機で設定したTC/UBを記録します。

7. カセットテープを入れます。

本機	：ダビングしたいカセットテープ
再生機	：記録済みカセットテープ

8. 再生機を再生します。
詳しくは、再生機の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の液晶画面やビューファインダー画面に再生機からの再生画を表示します。

9. 本機のREC/VTRトリガーボタンを押して、記録を始めます。
- ■ 記録を一時停止するときは、RECまたはVTRトリガーボタンを押します。
- ■ 記録を再開するときは、RECまたはVTRトリガーボタンを押します。

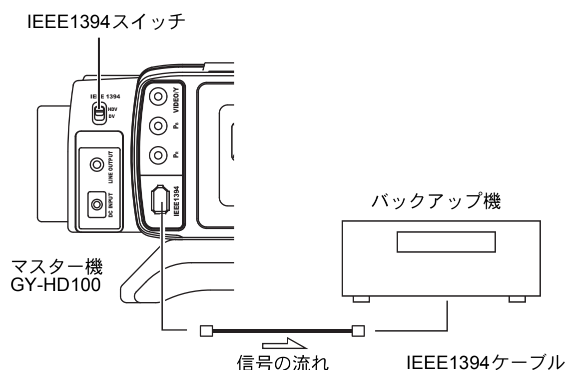
10. ダビングが終ったら
本機のREC/VTRトリガーボタンまたはSTOPボタンを押して記録を停止し、次に再生機の再生を停止します。

メモ

再生機によっては、再生機モードをSTILLからPLAYモードにした時、本機の音声出力が一瞬出ないことがあります。

バックアップ記録

1.



ご注意

- 送信側と受信側のIEEE1394設定は、HDV/DVを合わせてください。
- 正しく接続されているか、確認してから記録操作してください。
- バックアップ記録中にRETボタンを押すと、IEEE1394端子から出力されているカメラ映像のストリームが停止し、本機に記録された映像に切り換わるため、バックアップ記録の映像が途切れます。

OTHERS[2/2]メニュー画面

```
    --- OTHERS[2/2]---
▷1394 REC TRIG.     SERIES
 BACK SPACE [HDV]   P-1394
 DR-HD100  A.OFF    OFF
 MENU ALL RESET     CANCEL
 PAGE BACK

 DRUM HOUR          000200H
 FAN HOUR           003200H
```

■ GY-HD100 の映像／音声を IEEE1394 端子を通してバックアップ記録する

本機のカメラ映像や音声をIEEE1394端子付きビデオ機器でバックアップ記録することができます。

■ 接続

マスター機として、GY-HD100を使用します。
マスター機とバックアップ機をIEEE1394ケーブルで接続します。

■ 設定

■ マスター機（GY-HD100）

1. 本機左側面部のIEEE1394スイッチを設定します。
   DV　：DVフォーマットでバックアップするとき
   HDV　：HDVフォーマットでバックアップするとき
2. カメラモードにします。
3. OTHERS[2/2]メニュー画面の1394 REC TRIGGER項目を設定します。☞ 81 ページ
   HDVモードの場合は、BACK SPACE [HDV]項目を設定します。☞ 81 ページ

■バックアップ機

- HDV/DV信号入力モードに設定します。
- * ご使用の機器によっては"REMOTE SELECT"を設定する必要があります。
- BR-HD50の場合は、バックアップレコーディング機能をOFFにします。
- テープを挿入しSTOPまたはREC PAUSE状態にします。

■ 動作

マスター機のREC/VTRトリガーボタンの操作に応じて、バックアップ機も記録のスタート／ストップをおこないます。（記録開始点や終了点で本機とバックアップ機によって画像、音声、タイムコードがズレます。）

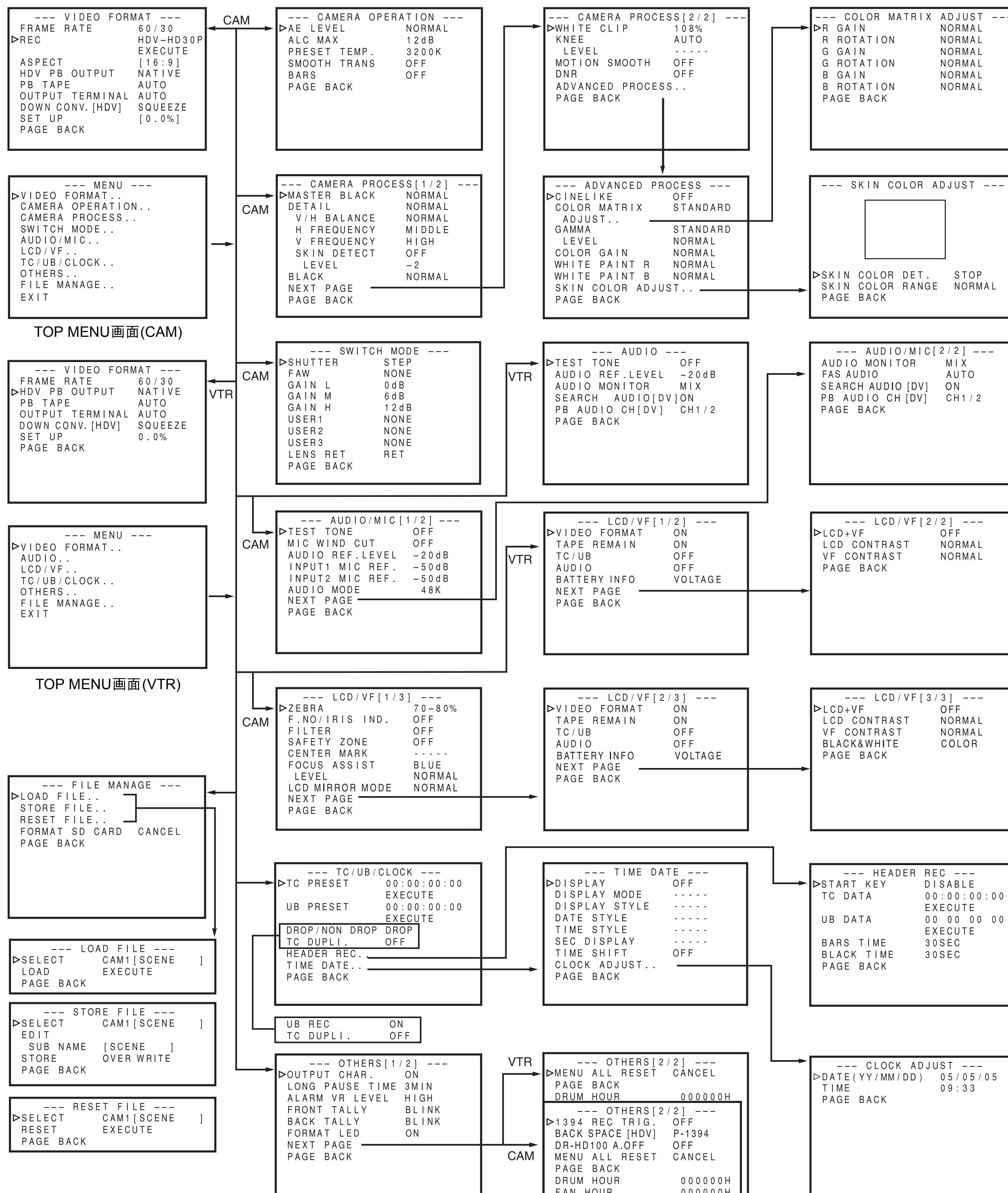
メモ

- バックアップ記録を開始すると液晶画面やビューファインダーに"TRIGGER TO DV"または"TRIGGER TO HDV"を約3秒間表示します。
- BR-HD50でシリーズ記録機能を使用する場合、GY-HD100の1394 REC TRIGGER項目をOFFに設定してください。
- バックアップ機にIEEE1394端子から入力しているタイムコードを記録する機能（TC DUPLICATE機能）が有る場合、その機能を使うと、マスター側と同じタイムコードデータを記録できます。
- バックアップ機としてBR-HD50を使用時、本機を再生モードから記録モードにすると、BR-HD50のモニター出力画面にノイズが入ります。（バックアップ記録は正常に記録されます。）

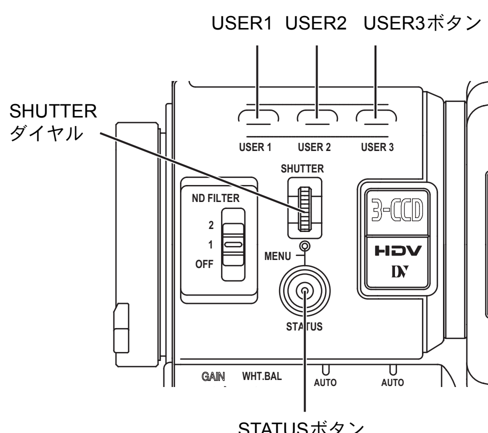
メニュー画面

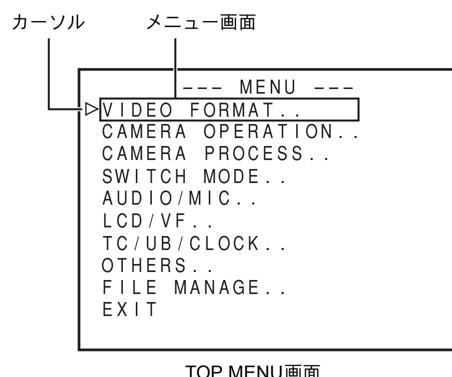
メニュー画面の構成

メニュー画面は下図のように複数階層のメニュー画面で構成されています。TOP MENU画面で機能や用途に応じて、設定したいメニュー画面を選択し、設定します。
カメラモードとVTRモードで、メニュー画面の項目が異なります。設定したメニュー内容は、本機のメモリーに保存され、電源を切っても保存されます。
また、FILE MANAGEメニュー画面で、メニュー設定内容を本機またはSDメモリーカードに保存できます。

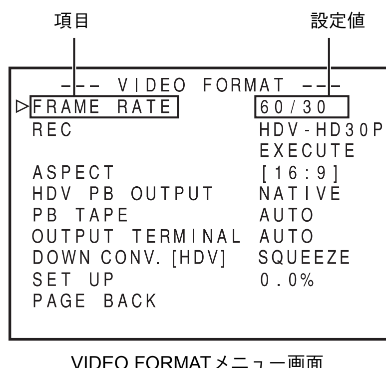


メニュー画面の設定方法





TOP MENU画面



VIDEO FORMATメニュー画面

設定は液晶画面やビューファインダー画面を見ながら設定します。
また、OTHERS[1/2]メニュー画面のOUTPUT CHAR.項目をONに設定時、映像信号出力端子に接続したモニター画面にも、メニュー画面を表示します。

1. POWERスイッチをONにします。

2. CAM/VTRボタンで、本機のモードを設定します。（カメラモードまたはVTRモード）

3. STATUSボタンを1秒以上押します。
- TOP MENU画面を表示します。

4. 設定したいメニュー画面を選択する。
SHUTTERダイヤルをまわし、設定したいメニュー項目にカーソル（▶）を合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
- 選択したメニュー画面を表示します。

5. メニュー画面のメニュー項目を選択する。
SHUTTERダイヤルをまわし、設定したい項目にカーソル（▶）を合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
- 選択したメニュー項目の設定値部分が点滅し、可変状態になります。

6. 設定値を変える。
SHUTTERダイヤルをまわし、設定値を変え、SHUTTERダイヤルを押します。
- 設定値の点滅が止まり、確定します。

■ 複数の項目を変更する場合は、上記**5.** **6.**の操作を繰り返します。

7. TOP MENU画面にもどる。
SHUTTERダイヤルをまわし、PAGE BACK項目にカーソル（▶）を合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。

■ 他のメニュー画面の設定を変更する場合、上記**4.**～**7.**の操作をおこなってください。

■ 設定内容をFILEに保存する場合は、FILE MANAGEメニュー画面を選択し、ファイルの保存操作をおこなってください。
☞ 83 ページ「FILE MANAGEメニュー画面」

8. メニュー画面の設定を終了し、通常画面にもどる場合は、次のいずれかの操作をします。
STATUSボタンを押す。
または
TOP MENU画面のEXIT項目にカーソル（▶）を合わせ、SHUTTERダイヤルを押す。

メモ

- メニュー画面表示中は、USER1、USER2、USER3ボタンでもメニュー操作がおこなえます。
  USER1ボタン：カーソル（▶）を上げる／設定値の変更
  USER2ボタン：カーソル（▶）を下げる／設定値の変更
  USER3ボタン：メニュー項目の確定／設定値の確定
- カメラ/VTRモード切り換え中（VTRインジケーター点滅）は、メニュー画面を表示しません。

TOP MENU画面

カメラモードとVTRモードによって、表示するメニュー画面が異なります。VTRモード時、CAMERA OPERATION、CAMERA PROCESSおよびSWITCH MODEメニュー画面は表示しません。

項　目	機　能
VIDEO FORMAT..	撮影および再生時の映像フォーマットの設定をするためのメニュー画面を表示します。 • 本機が記録動作中のときカーソル（▶）はこの項目に移動しません。
CAMERA OPERATION..	カメラ撮影時の操作モードを設定するためメニュー画面を表示します。 • この項目は、カメラモード時のみ表示します。
CAMERA PROCESS..	カメラ映像の画質調整に関するメニュー画面を表示します。 2画面で構成されています。 CAMERA PROCESSメニュー画面を介して、ADVANCED PROCESSメニュー画面やSKIN COLOR ADJUST画面を表示します。 • この項目は、カメラモード時のみ表示します。 • 本機がVTR動作中（PLAY、STL、FWD、REV）のとき、カーソル（▶）はこの項目に移動しません。
SWITCH MODE..	カメラのスイッチ機能に関するメニュー画面を表示します。 • この項目は、カメラモード時のみ表示します。
AUDIO/MIC..	音声に関するメニュー画面を表示します。 カメラモード時：2画面で構成されています。 VTRモード時　：1画面で構成されています。 • VTRモード時は、AUDIOメニュー画面になります。 • 本機が記録動作中のときカーソル（▶）はこの項目に移動しません。
LCD/VF..	液晶画面やビューファインダー画面へのキャラクター表示の選択や液晶画面の画質調整に関するメニュー画面を表示します。 カメラモード時：3画面で構成されています。 VTRモード時　：2画面で構成されています。
TU/UB/CLOCK..	タイムコード、ユーザーズビットや日付・時刻を設定するためのメニュー画面を表示します。 日付・時刻は記録方法や表示スタイルなどを設定します。 TC/UB/CLOCKメニュー画面を介して、TIME/DATEメニュー画面やCLOCK ADJUST画面を表示します。 • 本機が記録動作中のときカーソル（▶）はこの項目に移動しません。
OTHERS..	その他の機能に関する設定やアワーメーター表示をするためのメニュー画面を表示します。 2画面で構成されています。
FILE MANAGE..	FILE MANAGEメニュー画面を表示します。 メニュー画面の設定内容をファイルとして本機またはSDメモリーカードに保存したり、保存したファイルのメニュー画面の設定を読み出します。また、メニュー設定内容を初期設定値にリセットすることやSDメモリーカードの初期化（フォーマット）もできます。 ☞ 83 ページ「FILE MANAGEメニュー画面」 • 本機がVTR動作中やEJECT動作中のとき、カーソル（▶）はこの項目に移動しません。
EXIT	カーソルがこの位置にあるとき、SHUTTERダイヤルを押すと、通常画面に戻ります。

VIDEO FORMATメニュー画面

* VTRモード時は、表示されません。

<table>
<tr><th>項　目</th><th>機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）</th></tr>
<tr><td>FRAME RATE</td><td>撮影時のフレームレートを設定します。
60/30　：480/60i、480/60p、720/30pで撮影します。
50/25　：576/50i、576/50p、576/25p、720/25pで撮影します。
24　：480/24p（2:3:2:3プルダウン）、480/24pアドバンスモード（2:3:3:2プルダウン）、720/24pで撮影します。
CANCEL　：設定をキャンセルします。
EXECUTE　：設定を実行します。
メモ
• FRAME RATE項目の設定を変更するとリブート（再起動）が実行されます。☞ 46 ページ
• 本機がVTR動作中やEJECT動作中のとき、カーソル（▶）はこの項目に移動しません。</td></tr>
<tr><td>REC*</td><td>撮影時の映像フォーマットを設定します。（カメラモード時のみ表示および設定可能）
FRAME RATE項目の設定に応じて下記のように設定ができます。
<table>
<tr><th>設　定　値</th><th>内　容</th><th>FRAME RATE</th></tr>
<tr><td>DV-60I</td><td>DVフォーマット　480/60i信号で撮影します。</td><td rowspan="3">60/30</td></tr>
<tr><td>HDV-SD60P</td><td>HDVフォーマット　480/60p信号で撮影します。</td></tr>
<tr><td>HDV-HD30P</td><td>HDVフォーマット　720/30p信号で撮影します。</td></tr>
<tr><td>HDV-SD50P</td><td>HDVフォーマット　576/50p信号で撮影します。</td><td rowspan="4">50/25</td></tr>
<tr><td>HDV-HD25P</td><td>HDVフォーマット　720/25p信号で撮影します。</td></tr>
<tr><td>DV-50I</td><td>DVフォーマット　576/50i信号で撮影します。</td></tr>
<tr><td>DV-25P</td><td>DVフォーマット　576/25p信号で撮影します。</td></tr>
<tr><td>DV-24P</td><td>DVフォーマット　480/24p（2:3:2:3プルダウン）で撮影します。</td><td rowspan="3">24</td></tr>
<tr><td>DV-24PA</td><td>DVフォーマット　480/24p（2:3:3:2プルダウン）で撮影します。</td></tr>
<tr><td>HDV-HD24P</td><td>HDVフォーマット　720/24p信号で撮影します。</td></tr>
</table>
CANCEL　：設定をキャンセルします。
EXECUTE　：設定を実行します。
メモ
REC項目の設定を切り換えたときに映像の同期信号が一瞬乱れます。</td></tr>
<tr><td>ASPECT*</td><td>記録映像信号の画面サイズを設定します。（カメラモード時のみ表示および設定可能）
4:3　：アスペクト比4:3の映像が出力されます。
16:9　：アスペクト比16:9の映像が出力されます。
垂直方向の解像度が4:3の映像に比べ低下します。
メモ
• REC項目が、HDVフォーマット設定時は、16:9に固定されます。（“[16:9]”と表示）
• ASPECT項目の設定を切り換えたときに映像の同期信号が一瞬乱れます。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項　目</th><th>機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）</th></tr>
<tr><td>HDV PB OUTPUT</td><td>
テープ再生時、映像信号出力端子からの出力する映像フォーマットを設定します。
OUTPUT TERMINAL項目が“COMPONENT”または“AUTO”設定でコンポーネント出力接続のとき設定できます。
FRAME RATE項目の設定に応じて下記のように設定ができます。
<table>
<tr><th>設　定　値</th><th>内　容</th><th>FRAME RATE</th></tr>
<tr><td>NATIVE</td><td>テープに記録されている信号を出力します。</td><td rowspan="3">60/30
50/25
24</td></tr>
<tr><td>720P</td><td>テープに記録されている信号を720pに変換して出力します。</td></tr>
<tr><td>1080I</td><td>テープに記録されている信号を1080iに変換して出力します。</td></tr>
<tr><td>480P</td><td>テープに記録されている信号を480pに変換して出力します。</td><td rowspan="2">60/30
24</td></tr>
<tr><td>NTSC</td><td>テープに記録されている信号を480iに変換して出力します。</td></tr>
<tr><td>576P</td><td>テープに記録されている信号を576pに変換して出力します。</td><td rowspan="2">50/25</td></tr>
<tr><td>PAL</td><td>テープに記録されている信号を576iに変換して出力します。</td></tr>
</table>
ご注意
HDVフォーマットで記録した映像をDVフォーマットに変換またはその逆の変換で出力した場合、色調が変わることがあります。
</td></tr>
<tr><td>PB TAPE</td><td>
再生テープの映像フォーマットを自動検出するか特定のフォーマットのみ再生するかを選択します。
通常は、“AUTO”設定でご使用ください。
AUTO　：テープ再生時、自動でフォーマット信号を切り換えて、再生します。
DV　：テープ再生時、DVフォーマットで記録された部分のみ再生します。
HDV　：テープ再生時、HDVフォーマットで記録された部分のみ再生します。
DVCAM　：テープ再生時、DVCAMフォーマットで記録された部分のみ再生します。
メモ
DVやHDVフォーマットが混在したテープを再生した場合、信号が切り換わったときに映像が乱れます。
</td></tr>
<tr><td>OUTPUT TERMINAL</td><td>
映像信号出力端子（VIDEO/Y、PB、PR）から出力する信号を設定します。
AUTO　：映像信号出力端子に接続したケーブルの状態に応じてコンポジットまたはコンポーネント信号を自動的に切り換えて出力します。
COMPOSITE　：映像信号出力端子に接続したケーブルの状態に関係なくコンポジット信号を出力します。
COMPONENT　：映像信号出力端子に接続したケーブルの状態に関係なくコンポーネント信号を出力します。
AUTO設定時の出力信号
<table>
<tr><th colspan="3">端子（○：未接続　●：接続）</th><th rowspan="2">出力信号</th></tr>
<tr><th>VIDEO/Y</th><th>PB</th><th>PR</th></tr>
<tr><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>COMPONENT</td></tr>
<tr><td>●</td><td>○</td><td>●</td><td>COMPOSITE</td></tr>
<tr><td>●</td><td>●</td><td>○</td><td>COMPONENT</td></tr>
<tr><td>●</td><td>○</td><td>○</td><td>COMPOSITE</td></tr>
<tr><td colspan="3">上記以外</td><td>OFF</td></tr>
</table>
ご注意
HDVフォーマットで記録した映像をコンポジット信号で出力した場合、色調が変わることがあります。
</td></tr>
<tr><td>DOWN CONV. [HDV]</td><td>
ダウンコンバートした映像をアスペクト比4:3の画面に表示するためのスタイルを設定します。
SQUEEZE　：左右方向を圧縮した映像を表示します。
LETTER　：上下方向を黒くしたワイド映像で表示します。
SIDE CUT　：ワイド映像の左右をカットして表示します。
メモ
REC項目がHDVフーマット以外に設定されている場合は、SQUEEZEに固定されます。（“[SQUEEZE]”と表示されます。）
</td></tr>
<tr><td>SET UP</td><td>
映像信号出力端子から出力される映像信号にセットアップ信号を付加するかを選択します。
* IEEE1394信号入力時も、セットアップ信号を選択できます。
0.0%　：セットアップ信号を付加しません。
7.5%　：セットアップ信号を付加します。
メモ
FRAME RATE項目が50/25設定時、この項目は、表示されません。
また、本機のメニュー設定や本機に接続されているケーブルの状態によって、セットアップ信号が、“0.0%”に固定される場合があります。この場合“[0.0%]”と表示されます。
</td></tr>
<tr><td>PAGE BACK</td><td>カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとTOP MENU画面に戻ります。</td></tr>
</table>

CAMERA OPERATIONメニュー画面

CAMERA OPERATIONメニュー画面は、カメラモード時のみ表示します。

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
AE LEVEL	オートアイリス、“ALC”、“EEI”を使用したときの映像レベルを調整します。 数字を大きく：　レベルを上げます。 数字を小さく：　レベルを下げます。 [設定値：–3、–2、～**NORMAL**（0）～2、3]
ALC MAX	明るさにより電気増感レベルを自動的に切り換える“ALC”の最大値を設定します。 [設定値：6dB、**12dB**、18dB]
PRESET TEMP.	15ページ⓭[WHT.BAL]ホワイトバランス選択スイッチがPRST（PRESET）ポジション時の基本色温度を設定します。 **3200K**　　：基本色温度を3200Kにします。（ハロゲンランプなど低い色温度で使用します。） 5600K　　：基本色温度を5600Kにします。（太陽光などの高い色温度で使用します。） **メモ** SWITCH MODEメニュー画面の“FAW”項目を“PRESET”設定時、この項目は、機能しません。
SMOOTH TRANS	15ページ⓬[GAIN]感度選択スイッチ、⓭[WHT.BAL]ホワイトバランス選択スイッチ等を切り換えたとき、急激な変化をやめ徐々に変化させる機能です。ただしFULL AUTO ONおよびALCに設定した感度選択スイッチを切り換えたときは働きません。 **ON**　　：スムーストランス機能を動作させる。 OFF　　：スムーストランス機能を動作させない。
BARS	カラーバー出力の有無を設定します。（FULL AUTO時“OFF”固定） **OFF**　　：カラーバーを出力しません。 ON　　：カラーバーを出力します。
PAGE BACK	カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとTOP MENU画面に戻ります。

CAMERA PROCESS[1/2]メニュー画面

CAMERA PROCESSメニュー画面は2画面で構成されています。(1/2画面、2/2画面)
CAMERA PROCESSメニュー画面は、カメラモード時のみ表示します。

項 目	機 能 ・ 設 定 値（太字が初期設定値）
MASTER BLACK	黒の基準となるペデスタルレベル（マスターブラック）の調整を行ないます。 数字を大きく ：ペデスタルを上げる。 数字を小さく ：ペデスタルを下げる。 [設定値：MIN (–10)、–9～**NORMAL** (0)～9、MAX (10)]
DETAIL	輪郭（ディテール）強調レベルの調整を行ないます。 数字を大きく ：輪郭をシャープにする。 数字を小さく ：輪郭をソフトにする。 OFF ：機能しません。 [設定値：OFF、MIN (–10)、–9～**NORMAL** (0)～9、MAX (10)] この項目を“OFF”に設定時、下記メニュー項目は、“-----”と表示され選択できません。
V/H BALANCE	輪郭（ディテール）の強調を水平方向（H）と垂直方向（V）のどちら側により強くかけるか設定します。 数字を大きく ：H方向に強くかける。 数字を小さく ：V方向に強くかける。 [設定値：H-MIN (–5)、–4～**NORMAL** (0)～4、H-MAX (5)]
H FREQUENCY	輪郭（ディテール）の水平輪郭補正周波数を変えます。被写体によって設定してください。 LOW ：低域の周波数帯を強調します。 大がらな模様の被写体を撮影するときに使用します。 **MIDDLE** ：中域の周波数帯を強調します。 HIGH ：高域の周波数帯を強調します。 細かな模様の被写体を撮影するときに使用します。
V FREQUENCY*1	輪郭（ディテール）の垂直輪郭補正周波数を変えます。プログレッシブ撮影の映像をインターレース方式のモニターに出力するときに発生するひずみを補正します。 **HIGH** ：高域の周波数帯を強調します。 LOW ：低域の周波数帯を強調します。
SKIN DETECT	スキンディテール機能のON/OFFを設定します。 **OFF** ：スキンディテールが機能しません。 ON ：スキンディテールが機能します。（肌色検出部のディテールをソフトにします。） ☞ 87 ページ「スキンディテール機能を使う。」
LEVEL	スキンディテール機能の輪郭補正レベル（ソフトにする度合い）を設定します。 SKIN DETECT項目をONに設定した場合のみ選択できます。 –1 ：輪郭補正レベル（ソフトにする度合い）小 **–2** ：輪郭補正レベル（ソフトにする度合い）中 –3 ：輪郭補正レベル（ソフトにする度合い）大
BLACK	暗い部分のゲインを切り換えます。撮影する映像信号により切り換えてください。 STRETCH3 ：暗い部分の信号のみを伸長することにより、映像の暗い部分の明暗がわかるように強調します。 STRETCH2 STRETCH1→STRETCH2→STRETCH3の順に伸長度が強くなります。 STRETCH1 **NORMAL** ：標準状態 COMPRESS1 ：撮影した映像が全体的に明るくコントラストの少ない場合に、暗い部分のゲインを圧縮して、コ COMPRESS2 ントラストをつけるようにします。 COMPRESS3 COMPRESS1→COMPRESS2→COMPRESS3の順に圧縮度が強くなります。
NEXT PAGE	CAMERA PROCESS[2/2]メニュー画面を表示させるとき、この位置にカーソルを合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
PAGE BACK	カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとTOP MENU画面に戻ります。

*1 VIDEO FORMATメニュー画面のREC項目を“DV-60I”、“DV-50I”に設定時、“-----”と表示され選択できません。

CAMERA PROCESS[2/2]メニュー画面

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
WHITE CLIP	輝度レベルの大きい入力映像信号に対して、ホワイトクリップさせるポイントを設定します。 **108%**　：輝度レベルが108％のポイントでホワイトクリップさせます。 100%　：輝度レベルが100％のポイントでホワイトクリップさせます。108％に設定しても、画面が白すぎる場合、100％に設定します。
KNEE	ハイライト部分の階調を表現するために映像信号のあるレベル以上を圧縮する“ニー”動作を自動または手動で行なうかの設定をします。明るい部分を確認したいときは“ MANUAL”に設定し、ニーポイントを手動調整してください。 AUTO　：輝度レベルに応じ自動でニーポイントを調整します。 **MANUAL**　：輝度レベルを“LEVEL”項目で変更できます。
LEVEL	ニーの圧縮を始める点（ニーポイント）を設定します。 数字を大きく　：ニーポイントのレベルを上げる。 数字を小さく　：ニーポイントのレベルを下げる。 [設定値：80%、85%、90%、95%、**100%**] メモ “KNEE”項目が“AUTO”のときは“----”と表示され選択できません。
MOTION SMOOTH	プログレッシブ撮影時、テープに記録される信号に対しフレームを付加することによりテープ再生時の映像を滑らかにします。 **ON**　：機能します。 OFF　：機能しません。 メモ VIDEO FORMATメニュー画面の“REC”項目が“HDV-HD30p”、“HDV-HD25p”または“HDV-HD24p”のときに設定できます。 設定不可のときは、“----”と表示されます。
ADVANCED PROCESS..	ADVANCED PROCESSメニュー画面を呼び出します。 ☞ 69 ページ「ADVANCED PROCESSメニュー画面」
DNR	ノイズ軽減処理を行なうかどうかを設定します。 **OFF**　：ノイズ軽減処理を効かせません。 ON　：ノイズ軽減処理を効かせます。 メモ この項目を“ON”に設定した場合、S/N比は向上しますが、残像が増えます。
PAGE BACK	カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとCAMERA PROCESS[1/2]メニュー画面に戻ります。

ADVANCED PROCESSメニュー画面

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
CINELIKE	**OFF**　：機能をOFFにします。 ON　：映画の画面特性に近いガンマ特性とカラーマトリクスになります。 （モニター映像を映画のような映像にします。フィルム出力用ではありません。） メモ この項目を“ON”に設定したとき、COLOR MATRIX、GAMMA項目は、“[CINE]”と表示され選択できません。
COLOR MATRIX	カラーマトリクス設定をします。 OFF　：機能をOFFにします。 **STANDARD**　：標準のカラーマトリクスにします。 CINELIKE　：映画の画面特性に近いカラーマトリクスになります。
ADJUST..	COLOR MATRIX項目を“STANDARD”または“CINELIKE”に設定したとき、それぞれに設定できます。 SHUTTERダイヤルを押すと、COLOR MATRIX ADJUSTメニュー画面を呼び出します。 ☞ 70 ページ「COLOR MATRIX ADJUSTメニュー画面」
GAMMA	黒の再現性を決定するガンマカーブの補正をします。 FILMOUT　：映画フィルム出力に適したガンマカーブに固定されます。 **STANDARD**　：標準のガンマカーブにします。 CINELIKE　：映画の画面特性に近い色合いのガンマカーブになります。 メモ この項目を“FILMOUT”に設定したとき、LEVEL項目は、“------”と表示され選択できません。
LEVEL	GAMMA項目を“STANDARD”または“CINELIKE”に設定したとき、それぞれに設定できます。 数字を大きく　：黒の階調をよくします。ただし、明るい部分の階調は悪くなります。 数字を小さく　：明るい部分の階調をよくします。ただし、黒の階調は悪くなります。 [設定値：MIN (–5)、–4～**NORMAL** (0)～4、MAX (5)]
COLOR GAIN	映像信号の色レベルを調整します。 OFF　：白黒にします。 数字を大きく　：色を濃くします。 数字を小さく　：色を薄くします。 [設定値：OFF、MIN (–10)、–9～**NORMAL** (0)～9、MAX (10)]
WHITE PAINT<R>	AWB（オートホワイトバランス）時のR（赤）の成分を調整します。 数字を大きく　：赤味を強くします。 数字を小さく　：赤味を弱くします。 [設定値：MIN (–32)、–31～**NORMAL** (0)～30、MAX (31)] メモ • 本機右側面部の⓭[WHT.BAL]スイッチをAまたはBに設定したときに選択できます。☞ 15 ページ 設定値は、A、Bそれぞれに設定できます。（“PRESET”に設定時は、“------”と表示され選択できません。） • AWB（オートホワイトバランス）ボタンを押してホワイトバランスを合わせなおすと、WHITE　PAINT　Rは“NORMAL”になります。
WHITE PAINT<B>	AWB（オートホワイトバランス）時のB（青）の成分を調整します。 数字を大きく　：青味を強くします。 数字を小さく　：青味を弱くします。 [設定値：MIN (–32)、–31～**NORMAL** (0)～30、MAX (31)] メモ • 本機右側面部の⓭[WHT.BAL]スイッチをAまたはBに設定したときに選択できます。☞ 15 ページ 設定値は、A、Bそれぞれに設定できます。（“PRESET”に設定時は、“------”と表示され選択できません。） • AWB（オートホワイトバランス）ボタンを押してホワイトバランスを合わせなおすと、WHITE　PAINT　Bは“NORMAL”になります。
SKIN COLOR ADJUST	カーソルがこの位置にあるとき、SHUTTERダイヤルを1度押すとSKIN COLOR ADJUST画面と切り換わります。
PAGE BACK	カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとCAMERA PROCESS[2/2]メニュー画面に戻ります。

COLOR MATRIX ADJUSTメニュー画面

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
R GAIN	カラーマトリクスのR軸（赤色およびシアン）の濃淡を手動調整します。 数字を大きく　：赤、シアンを強くします。 数字を小さく　：赤、シアンをおさえます。 [設定値：MIN (–5)、–4～**NORMAL** (0)～4、MAX (5)]
R ROTATION	カラーマトリクスのR軸（赤色およびシアン）の色位相を手動調整します。 数字を大きく　：赤が黄味を増し、シアンが青味を増します。 数字を小さく　：赤が青味を増し、シアンが緑味を増します。 [設定値：MIN (–5)、–4～**NORMAL** (0)～4、MAX (5)]
G GAIN	カラーマトリクスのG軸（緑色およびマゼンタ）の濃淡を手動調整します。 数字を大きく　：緑、マゼンタを強くします。 数字を小さく　：緑、マゼンタをおさえます。 [設定値：MIN (–5)、–4～**NORMAL** (0)～4、MAX (5)]
G ROTATION	カラーマトリクスのG軸（緑色およびマゼンタ）の色位相を手動調整します。 数字を大きく　：緑が青味を増し、マゼンタが赤味を増します。 数字を小さく　：緑が黄味を増し、マゼンタが青味を増します。 [設定値：MIN (–5)、–4～**NORMAL** (0)～4、MAX (5)]
B GAIN	カラーマトリクスのB軸（青色および黄色）の濃淡を手動調整します。 数字を大きく　：青、黄色を強くします。 数字を小さく　：青、黄色をおさえます。 [設定値：MIN (–5)、–4～**NORMAL** (0)～4、MAX (5)]
B ROTATION	カラーマトリクスのB軸（青色および黄色）の色位相を手動調整します。 数字を大きく　：青が赤味を増し、黄が緑味を増します。 数字を小さく　：青が緑味を増し、黄が赤味を増します。 [設定値：MIN (–5)、–4～**NORMAL** (0)～4、MAX (5)]
PAGE BACK	カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとADVANCED PROCESSメニュー画面に戻ります。

SKIN COLOR ADJUSTメニュー画面

SKIN COLOR ADJUST画面に入ると、スキンディテールが機能している部分をカラーで表示し、それ以外は白黒になります。

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
SKIN COLOR DET.	スキンディテールの機能する色を取り込むときに設定します。 **STOP**　：スキンディテールを機能させる色の取り込みを止めます。 EXECUTE　：スキンディテールを機能させる色を取り込みます。 ☞ 87 ページ「スキンディテール機能を使う。」
SKIN COLOR RANGE	スキンディテールが機能する肌色の範囲を調整します。 色の範囲を確認しながら調整します。 数字を大きく　：範囲を広く。 数字を小さく　：範囲をせまく。 [設定値：NARROW (–10)、–9～**NORMAL** (0)～9、WIDE (10)] **メモ** ADVANCED PROCESSメニュー画面のCOLOR GAIN項目が“OFF”設定時、スキンディテールが機能している部分のみ肌色で表示されます。
PAGE BACK	カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとADVANCED PROCESSメニュー画面に戻ります。

SWITCH MODEメニュー画面

SWITCH MODEメニュー画面は、カメラモード時のみ表示します。

<table>
<tr><th>項　目</th><th>機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）</th></tr>
<tr><td>SHUTTER</td><td>右側面部のSHUTTERダイヤルで可変する値を固定値（STEP）かコンピューターモニターなどを撮影する時に使用するVARIABLEを設定します。
STEP　：固定値でシャッタースピードを切り換えます。
VARIABLE　：コンピューターモニターなどを撮影する時などに設定します。
VIDEO FORMATメニュー画面のREC項目の設定により下記のように設定できます。（FULL AUTO時、EEI固定）
<table>
<tr><th>REC項目</th><th>STEP時の設定値</th><th>VARIABLE時の設定値</th></tr>
<tr><td>DV-60I
HDV-SD60P
HDV-HD30P</td><td>1/7.5、1/15、1/30、**1/60**、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000</td><td>1/60.19 ～1/1998.0</td></tr>
<tr><td>DV-50I
HDV-SD50P
HDV-HD25P</td><td>1/6.25、1/12.5、1/25、**1/50**、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000</td><td>1/50.17～1/1982.8</td></tr>
<tr><td>DV-25P</td><td>初期値：**1/25**</td><td>1/25.04～1/1982.8</td></tr>
<tr><td>DV-24P
DV-24PA</td><td>1/6、1/12、**1/24**、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000</td><td>1/24.01～1/1998.0</td></tr>
<tr><td>**HDV-HD24P**</td><td>初期値：**1/48**</td><td>1/48.11～1/1998.0</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>FAW</td><td>FAW（フルオートホワイトバランス）の機能を15ページ⓭[WHT.BAL]ホワイトバランス選択スイッチのどのポジションに割り付けるかを設定します。（FULL AUTO時、FAW固定）
NONE　：FAW機能を割り付けません。
A　：AポジションにFAWを割り付けます。
B　：BポジションにFAWを割り付けます。
PRESET　：PRESETポジションにFAWを割り付けます。</td></tr>
<tr><td>GAIN L
GAIN M
GAIN H</td><td>15ページ⓬[GAIN]感度選択スイッチの各ポジションにゲインの値を設定します。
[設定値：0dB、3dB、6dB、9dB、12dB、15dB、18dB、ALC]（FULL AUTO時、ALC固定）
初期値L：0dB、M：6dB、H：12dB</td></tr>
<tr><td>USER1
USER2
USER3</td><td>14ページ❽[USER1/2/3]USER1/2/3ボタンに下記メニュー機能をそれぞれのボタンに1つ割り付けることができます。
撮影条件に合わせて設定してください。
<table>
<tr><th>設　定　値</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>**NONE**</td><td>機能しません。</td></tr>
<tr><td>BARS
PRESET TEMP.</td><td>CAMERA OPERATIONメニュー画面“BARS”項目の機能を割り付けます。
CAMERA OPERATIONメニュー画面“PRESET TEMP.”項目の機能を割り付けます。
☞ 66 ページ「CAMERA OPERATIONメニュー画面」</td></tr>
<tr><td>B.STRETCH1
B.STRETCH2
B.STRETCH3
B.COMPRESS1
B.COMPRESS2
B.COMPRESS3</td><td>CAMERA PROCESS[1/2]メニュー画面“BLACK”項目の機能を割り付けます。
☞ 67 ページ「CAMERA PROCESS[1/2]メニュー画面」</td></tr>
<tr><td>AE LEVEL+
AE LEVEL–</td><td>CAMERA OPERATIONメニュー画面“AE LEVEL”項目の機能を割り付けます。
メモ
USER3ボタンには、割り付け出来ません。このメニュー機能を割り付ける場合は、USER1ボタンにAE LEVEL+、USER2ボタンにAE LEVEL–のように割り付けて使用してください。</td></tr>
<tr><td>RET</td><td>通常のRETボタン機能を割り付けます。</td></tr>
</table>
初期値 USER1：AE LEVEL+ 、USER2：AE LEVEL– 、USER3：BARS</td></tr>
<tr><td>LENS RET</td><td>レンズのRETボタン機能を設定します。（ご使用のレンズにRETボタンが無い場合は、機能しません。）
RET　：通常のRETボタンとして機能します。
FOCUS ASSIST　：FOCUS ASSISTボタンとして機能します。</td></tr>
<tr><td>PAGE BACK</td><td>カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとTOP MENU画面に戻ります。</td></tr>
</table>

AUDIO/MIC[1/2]メニュー画面

AUDIO/MICメニュー画面は2画面で構成されています。（1/2画面、2/2画面）
VTRモード時は、AUDIOメニュー画面になります。

* VTRモード時は表示されません

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
TEST TONE	カラーバー出力時、オーディオ基準信号（1kHz、–20dBFSまたは–12dBFS）を出力するかを設定します。 **OFF**　：オーディオ基準信号を出力しません。 ON　：オーディオ基準信号を出力します。
MIC WIND CUT*	オーディオ入力信号のロー（低域部）をカットするかを選択します。 マイクの風切り音を小さくしたいときなどに使用します。 **OFF**　：ローカットしません。 INPUT1　：INPUT1端子の音声のみローカットします。 INPUT2　：INPUT2端子の音声のみローカットします。 BOTH　：INPUT1およびINPUT2端子の音声をローカットします。
AUDIO REF. LEVEL	テープへの基準録音レベルを設定します。（CH-1、CH-2共） **–20dB**　：基準録音レベルを–20dBとして記録します。 –12dB　：基準録音レベルを–12dBとして記録します。 記録したテープを民生用DV機器で再生する場合、この設定にします。 * 再生も録音時の設定でおこなってください。 * IEEE1394信号経由の録音レベルは無関係です。
INPUT1 MIC REF.*	INPUT1端子のオーディオ入力基準レベルを設定します。 **–50dB**　：オーディオ入力基準レベルを–50dBにします。 –60dB　：オーディオ入力基準レベルを–60dBにします。
INPUT2 MIC REF.*	INPUT2端子のオーディオ入力基準レベルを設定します。 **–50dB**　：オーディオ入力基準レベルを–50dBにします。 –60dB　：オーディオ入力基準レベルを–60dBにします。
AUDIO MODE*	記録時のオーディオサンプリング周波数を選択します。（CH-1、CH-2共） （HDVフォーマット設定時は、48Kに固定され“[48K]”と表示） 32K　：12ビット32kHzサンプリング周波数でデジタル記録します。 **48K**　：16ビット48kHzサンプリング周波数で記録します。 * DVフォーマットは12ビット32kHzの場合、4チャンネルまで記録トラックを用意しています。 本機はその内CH-1、CH-2チャンネルに記録します。本機では、アフレコはできません。
NEXT PAGE	AUDIO/MIC [2/2]メニュー画面を表示させるとき、この位置にカーソルを合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
PAGE BACK	カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとTOP MENU画面に戻ります。

AUDIO/MIC[2/2]メニュー画面

VTRモード時は、AUDIOメニュー画面になります。

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
AUDIO MONITOR	MONITOR SELECTスイッチをBOTHに設定時、PHONES端子の音声をステレオ音声にするかミックス音声にするかを選択します。 STEREO　：ステレオ音声（CH-1の音声がLに、CH-2の音声がRに出力） * モニタースピーカーからはCH-1の音声のみ出力します。 **MIX**　：ミックス音声（CH-1とCH-2のミックス音声L、Rに出力）
FAS AUDIO	FAS（Full Auto Shooting）設定時、録音レベルを調節する方法を選択します。（CH1、CH2共） **AUTO**　：AUTOに設定します。 SW SET　：AUDIO SELECTスイッチの設定に従がいます。 ☞13ページ❷［CH-1/CH-2 AUDIO SELECT］スイッチ ☞18ページ⓲［FULL AUTO］スイッチ
SEARCH AUDIO [DV]	DVフォーマット記録のテープをサーチ中に音声を出力するかを選択します。（スロー再生も含みます。） **ON**　：音声を出力します。 OFF　：音声を出力しません。
PB AUDIO CH [DV]	音声信号を4チャンネル記録したDVテープを再生時、どのチャンネルの音声を出力するかを選択します。（VTRモード時のみ設定可） **CH1/2**　：CH-1とCH-2チャンネルの音声を出力します。 本機は撮影時、CH-1とCH-2チャンネルにオーディオ記録します。 MIX　：4チャンネルすべての音声を同時に出力します。 CH3/4　：CH-3とCH-4チャンネルの音声を出力します。 **メモ** 本機はCH-3とCH-4チャンネルへのアフレコ機能はありません。
PAGE BACK	カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとAUDIO/MIC[1/2]メニュー画面に戻ります。

LCD/VF[1/3]メニュー画面

LCD/VFメニュー画面は3画面で構成されています。（1/3画面、2/3画面、3/3画面）
LCD/VF[1/3]メニュー画面は、カメラモード時のみ設定できます。
VTRモード時は2画面で構成されています。（1/2画面、2/2画面）

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
ZEBRA	ゼブラ模様を表示する被写体の輝度レベルの切換を行います。 60–70%　：輝度レベル60–70％にゼブラ模様を表示します。 **70–80%**　：輝度レベル70–80％にゼブラ模様を表示します。 85–95%　：輝度レベル85–95％にゼブラ模様を表示します。 OVER95%　：輝度レベル95％以上の部分にゼブラ模様を表示します。 OVER100%　：輝度レベル100％以上の部分にゼブラ模様を表示します。
F. NO/IRIS IND.	液晶画面やビューファインダー画面のステータス表示にレンズアイリスのf値／アイリスレベルマークを表示するかどうかを選択します。（ステータス1画面） **OFF**　：表示しません。 F.NO　：f値を表示します。 F.NO+IND.　：f値とアイリスレベルマークを表示します。
FILTER	液晶画面やビューファインダー画面のステータス表示に本機のFILTERポジションを表示するかどうかを選択します。（ステータス1画面） **OFF**　：FILTERポジションを表示しない。 ON　：FILTERポジションを表示します。
SAFETY ZONE*1	液晶画面やビューファインダー画面にセーフティゾーン表示の有無およびセーフティゾーン表示の形態を選択します。 **OFF**　：表示しません。 4:3　：4:3ゾーンを表示します。 14:9　：14:9ゾーンを表示します。 16:9　：16:9ゾーンを表示します。 16:9+4:3　：16:9と4:3ゾーンをミックス表示します。（DVフォーマット設定時は、選択できません。）
CENTER MARK*1	セーフティーゾーン表示時、センターマークを表示するかどうかを設定します。 **ON**　：センターマークを表示します。 OFF　：センターマークを表示しません。 **メモ** SAFETY ZONE項目がOFF設定時、“------”と表示し、この項目は設定できません。
FOCUS ASSIST	FOCUS ASSIST動作時の合焦表示色を設定します。 **BLUE**　：合焦部分を青色で表示します。 RED　：合焦部分を赤色で表示します。 GREEN　：合焦部分を緑色で表示します。
LEVEL	FOCUS ASSIST動作時の合焦部分の表示範囲を設定します。 LOW　：合焦部分の表示範囲をMIDDLEより狭くします。 **MIDDLE**　：合焦部分の表示範囲を標準に設定します。 HIGH　：合焦部分の表示範囲をMIDDLEより広くします。
LCD MIRROR MODE	液晶画面を対面表示向きにしたときの画像表示方法を設定します。 **NORMAL**　：左右反転せずに表示します。 MIRROR　：左右反転して表示します。（鏡面表示） **メモ** カラーバー表示中、およびステータス拡大表示中は、MIRROR設定は無効となります。 ☞ 88 ページ「カラーバーを出力する」 ☞ 26 ページ「液晶画面のステータス拡大表示」
NEXT PAGE	LCD/VF[2/3]メニュー画面を表示させるとき、この位置にカーソルを合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
PAGE BACK	カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとTOP MENU画面に戻ります。

*1 VTR動作が（PLAY、STL、FWD、REV）中の場合、SAFETY ZONEおよびCENTER MARKは、表示されません。

LCD/VF[2/3]メニュー画面

VTRモード時は（1/2画面）

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
VIDEO FORMAT	液晶画面やビューファインダー画面のステータス表示に映像フォーマットを表示するかを選択します。 （カメラモード：ステータス1画面、VTRモード：ステータス画面） **ON**　：表示します。 OFF　：表示しません。 カメラモード時　：VIDEO FORMATメニュー画面のREC項目で設定した映像フォーマットを表示します。 VTRモード時　：再生テープに記録されている映像フォーマットまたはIEEE1394端子から入力される映像フォーマットを表示します。
TAPE REMAIN	液晶画面やビューファインダー画面のステータス表示にテープ残量時間（分）を表示するかを選択します。 （カメラモード：ステータス1画面、VTRモード：ステータス画面） **ON**　：表示します。 OFF　：表示しません。
TC/UB	液晶画面やビューファインダー画面のステータス表示にタイムコードやユーザーズビットデータを表示するかを選択します。 （カメラ：ステータス1画面、VTRモード：ステータス画面） **ON**　：表示します。 OFF　：表示しません。 * タイムコード表示かユーザーズビット表示かは、TC DISPLAYスイッチで選択します。
AUDIO	液晶画面やビューファインダー画面のステータス表示にオーディオレベルメータを表示するかを選択します。 （カメラ：ステータス1画面、VTRモード：ステータス画面） **ON**　：表示します。 OFF　：表示しません。
BATTERY INFO	Anto Bauer社製バッテリー装着時のステータス表示方法を設定します。 ステータスは、液晶画面やビューファインダー画面に表示されます。 （カメラモードではステータス１画面のときのみ表示されます。） **VOLTAGE**　：バッテリー電圧を0.1Ｖ単位で表示[V] CAPA%　：残容量をパーセントで表示[%] TIME　：残時間を分単位で表示[min] Anto Bauer社製以外のバッテリーでは、いずれを選択してもVOLTAGE表示になります。 **メモ** • TIMEまたはCAPA％を選択したとき、数値の前に表示される電池マークは、残容量によって変化します。 ▯：12％未満　▯：12％以上～50％未満　▮：50％以上 • 残容量が12％未満になった時点で、“▯ RES”表示へ変わります。 • バッテリーからCALIBRATIONを要求されたときには、TIME(CAPA%)表示30秒、“▯ CAL”表示２秒を繰り返します。 • CALIBRATIONについては、Anto Bauer社製バッテリーの取扱説明書をお読みください。 • バッテリー残容量、残時間は撮影時間の目安としてご使用ください。
NEXT PAGE	カメラモード時 LCD/VF[3/3]メニュー画面を表示させるとき、この位置にカーソルを合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。 VTRモード時 LCD/VF[2/2]メニュー画面を表示させるとき、この位置にカーソルを合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
PAGE BACK	カメラモード時 カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとLCD/VF[1/3]画面に戻ります。 VTRモード時 カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとTOP MENU画面に戻ります。

LCD/VF[3/3]メニュー画面

VTRモード時は（2/2画面）
*　VTRモード時は表示されません。

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
LCD+VF	液晶画面とビューファインダーの表示切り換え方法を選択します。 **OFF**　：液晶画面を開いたときに、ビューファインダー表示を消します。 ON　：ビューファインダーには、常に映像を表示します。 メモ • この項目は、Anto-Bauer/IDXバッテリーでの動作時のみ有効となります。バッテリーが検出されるまでは、“ON”に設定されている場合でも“OFF”モードで動作します。 • この項目が、“ON”設定時、DISPLAYボタンにより液晶画面の表示内容を変えることができます。（☞ 26 ページ）
LCD CONTRAST	液晶画面のコントラストを調整します。 [設定値：MIN (–5)、–4～**NORMAL** (0)～4、MAX (5)]
VF CONTRAST	ビューファインダーのコントラストを調整します。 [設定値：MIN (–5)、–4～**NORMAL** (0)～4、MAX (5)]
BLACK & WHITE*	液晶画面とビューファインダーの表示スタイルを選択します。 **COLOR**　：映像をカラー表示します。 B&W　：映像を白黒表示します。 メモ キャラクターは常にカラー表示します。
PAGE BACK	カメラモード時 カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとLCD/VF[2/3]画面に戻ります。 VTRモード時 カーソルがこの位置にある時、SHUTTERダイヤルを押すとLCD/VF[1/2]画面に戻ります。

TC/UB/CLOCKメニュー画面

タイムコード（TC）、ユーザーズビット（UB）および日付・時刻を設定します。日付・時刻はこの画面の下の階層にあるTIME/DATEメニュー画面およびCLOCK ADJUST画面で設定します。

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
TC PRESET	タイムコードをプリセットするとき、この位置にカーソルを合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。 **EXECUTE**　：設定したタイムコードを確定します。 CANCEL　：設定したタイムコードを取り消します。 ZERO PRESET　：タイムコードを全て“0”にします。
UB PRESET	ユーザーズビットをプリセットするとき、この位置にカーソルを合わせSHUTTERダイヤルを押します。 **EXECUTE**　：設定したユーザーズビットを確定します。 CANCEL　：設定したユーザーズビットを取り消します。 ZERO PRESET　：ユーザーズビットを全て“0”にします。
DROP/NON DROP*1	タイムコードジェネレーターのフレーミングモードをドロップフレームかノンドロップフレームかを選択します。 **DROP**　：内部タイムコードジェネレーターがドロップフレームモードで歩進します。記録した時間を重視するとき、この設定にします。 NON DROP　：内部タイムコードジェネレーターがノンドロップフレームモードで歩進します。フレーム数を重視するとき、この設定にします。
UB REC*2	ユーザーズビットのデータを記録するかを選択します。 記録したユーザーズビットのデータをテープ再生中に表示するかを選択します。 **ON**　：撮影時、ユーザーズビットを記録します。 再生時、ユーザーズビットを表示します。 OFF　：撮影時、ユーザーズビットを記録しません。 再生時、ユーザーズビットを表示しません。
TC DUPLI.	DVフォーマットIEEE1394入力時のタイムコード（TC）、ユーザーズビット（UB）の記録方法を設定します。 **OFF**　：本機で設定したTC/UBを記録します。 ON　：IEEE1394入力のTC/UBを記録します。 メモ HDVフォーマット時は、設定に関係なく、本機で設定したTC/UBを記録します。
HEADER REC	HEADER REC機能に関する設定をおこなうとき、この位置にカーソルを合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。 ☞ 78 ページ「HEADER RECメニュー画面」
TIME/DATE	日付・時刻に関する設定をおこなうとき、この位置にカーソルを合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。 ☞ 79 ページ「TIME/DATEメニュー画面」
PAGE BACK	カーソルがこの位置にあるときSHUTTERダイヤルを1度押すと、TOP MENU画面に戻ります。

*1 VIDEO FORMATメニュー画面のFRAME RATE項目が60/30設定時、表示および選択できます。
（24設定時は、“NON DROP”に固定され、“[NON DROP]”と表示）

*2 VIDEO FORMATメニュー画面のFRAME RATE項目が50/25設定時、表示および選択できます。

HEADER RECメニュー画面

HEADER REC機能に関する設定をします。（☞ 52 ページ）

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
START KEY	STOPボタンを押しながらREC/VTRトリガーボタンを押したとき、HEADER REC動作を実行するかを設定します。 **DISABLE**　：HEADER REC動作を実行しません。 STOP+REC　：HEADER REC動作を実行します。
TC DATA	HEADER RECを終了し、撮影スタンバイモードになったときのタイムコード値を設定します。 **EXECUTE**　：設定したタイムコードを確定します。 ZERO PRESET　：タイムコードを全て“0”にします。 CANCEL　：設定したタイムコードを取り消します。 フレームモードはTC/UB/CLOCKメニュー画面のDROP/NON DROP項目の設定値に従がいます。 * 撮影スタンバイモードになったときのタイムコード値は、この項目で設定した値に対して数フレームズレることがあります。
UB DATA	HEADER REC部分のユーザーズビットを設定します。 **EXECUTE**　：設定したユーザーズビットを確定します。 ZERO PRESET　：ユーザーズビットを全て“0”にします。 CANCEL　：設定したユーザーズビットを取り消します。 メモ • 通常記録部のユーザーズビットは、TC/UB/CLOCKメニュー画面で設定します。 • UB REC項目がOFFに設定時は“--------”と表示し、この項目は設定できません。
BARS TIME	HEADER REC時、カラーバー信号およびテスト音声（1 kHz）を記録する時間（秒）を設定します。（1秒ステップ） [設定値：0SEC - **30SEC** - 99SEC]
BLACK TIME	HEADER REC時、ブラック信号を記録する時間（秒）を設定します。（1秒ステップ） [設定値：0SEC - **30SEC** - 99SEC]
PAGE BACK	SHUTTERダイヤルを押すと、TC/UB/CLOCKメニュー画面に戻ります。

TIME/DATEメニュー画面

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
DISPLAY	液晶画面やビューファインダー画面のステータス表示に日付・時刻を表示するかを選択します。 **OFF**　：表示しません。 ON　：表示します。 日付、時刻を記録していないテープを再生した場合、この項目をONに設定しても日付・時刻は表示されません。
DISPLAY MODE	カメラモード時は、下記の設定に応じて日付時刻を表示します。 VTRモード時は、下記の設定に応じてテープに記録した日付・時刻を表示します。 **BARS+CAM**　：常に日付時刻表示します。 BARS　：カラーバー出力時、日付時刻表示します。 CAM　：カメラ画出力時、日付時刻表示します。 DISPLAY項目がOFFに設定時は“- - ---”と表示し、この項目は設定できません。
DISPLAY STYLE	日付・時刻表示のスタイルを選択します。 **DATE+TIME**　：日付と時刻を表示します。 DATE　：日付のみ表示します。 TIME　：時刻のみ表示します。 DISPLAY項目がOFFに設定時は“- - ---”と表示し、この項目は設定できません。
DATE STYLE	日付表示のスタイルを選択します。 **YY/MM/DD**　：年／月／日のスタイルで表示します。 MM/DD/YY　：月／日／年のスタイルで表示します。 DD/MM/YY　：日／月／年のスタイルで表示します。 DISPLAY項目がOFFに設定時は“- - ---”と表示し、この項目は設定できません。
TIME STYLE	時刻表示のスタイルを選択します。 **24 HOUR**　：24時間表示スタイルで表示します。 12 HOUR　：12時間表示スタイルで表示します。 DISPLAY項目がOFFに設定時は“- - ---”と表示し、この項目は設定できません。
SEC DISPLAY	時刻に秒の単位を表示するかどうかを選択します。 **ON**　：秒を表示します。 OFF　：秒を表示しません。 DISPLAY項目がOFFに設定時は“- - ---”と表示し、この項目は設定できません。
TIME SHIFT	時計のOFFSET時間を設定します。（1Hステップ） 内蔵時計の時刻に加算（時間補正）して表示します。また、テープにも加算した時刻が記録されます。 [設定値：–23H～–1H、**OFF**、+1H～+23H]
CLOCK ADJUST	日付・時刻を設定するときは、この位置にカーソルを合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。 CLOCK ADJUST画面で日付・時刻を設定します。 ☞ 38 ページ「日付・時刻を設定する」
PAGE BACK	カーソルがこの位置にあるとき、SHUTTERダイヤルを押すとTC/UB/CLOCKメニュー画面に戻ります。

OTHERS[1/2]メニュー画面

OTHERSメニュー画面は2画面で構成されています。（1/2画面、2/2画面）

項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
OUTPUT CHAR.	映像信号出力端子に接続したモニターにメニュー画面やワーニング表示をオンスクリーン表示するかを選択します。 **ON**　：オンスクリーン表示します。 OFF　：オンスクリーン表示しません。
LONG PAUSE TIME	記録ポーズ状態を続けたとき、テープ保護モード（ドラムの回転が停止する）に入る時間（分）を設定します。 **3MIN**　：3分 5MIN　：5分 * 低温環境下や、停止またはスチル状態を続けた場合では設定とは関係なく3分以下となります。 * ヘッド目詰まりやテープ破損を防ぐため通常は、“3MIN”設定でご使用ください。
ALARM VR LEVEL	アラーム音の有無およびアラーム音の音量を選択します。 アラーム音は、モニタースピーカーまたはPHONES端子から出力します。 OFF　：出力しません。 LOW　：音量レベル小 MIDDLE　：音量レベル中 **HIGH**　：音量レベル大
FRONT TALLY	記録時、前面部タリーランプの点灯方法を選択します。 **BLINK**　：REC/VTRトリガーを押して、記録が始まるまでは点滅します。記録中は点灯します。 ON　：記録中だけ点灯します。 OFF　：常に消灯している。
BACK TALLY	記録時、後面部タリーランプの点灯方法を選択します。 **BLINK**　：REC/VTRトリガーを押して、記録が始まるまでは点滅します。記録中は点灯します。 ON　：記録中だけ点灯します。 OFF　：常に消灯している。
FORMAT LED	HDVフォーマットまたはDVフォーマットに応じて14ページ⓱[HDV/DV表示灯]の点灯の有無を設定します。 **ON**　：点灯します。 OFF　：点灯しません。
NEXT PAGE	OTHERS[2/2]メニュー画面を表示するとき、この位置にカーソルを合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
PAGE BACK	カーソルがこの位置にあるとき、SHUTTERダイヤルを1度押すと、TOP MENU画面に戻ります。

OTHERS[2/2]メニュー画面

* VTRモード時は表示されません

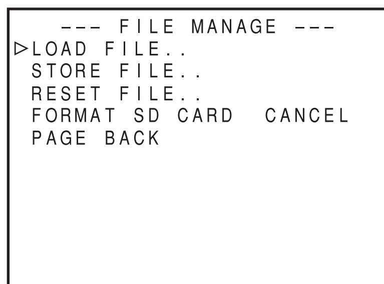
<table>
<tr><th>項　目</th><th>機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）</th></tr>
<tr><td>1394 REC TRIGGER*</td><td>1394端子から出力されるRECトリガーコマンドの制御方法を設定します。(カメラモード時、表示および設定可能)
本機のDV信号を他機でバックアップ記録するときに設定します。
OFF　：バックアップ機を制御しません。
SYNCRO：本機の記録モード、記録停止モード状態に連動してバックアップ機を制御します、カセットがない場合や、テープ記録残量がない場合は、本機のRECトリガーボタンおよびレンズのVTRボタンに連動してバックアップ機を制御します。
SPLIT　：本機右側面部のRECトリガーボタンがバックアップ機の記録スタート／ストップを制御します。
本機とバックアップ機の記録タイミングを別に制御したいときに設定します。
SERIES　：撮影中に本機のテープ残量が約3分以内になると、記録ポーズ状態のバックアップ機が自動的に記録を開始します。
メモ
• BR-HD50でバックアップレコーディング機能を使用する場合は、この項目をOFFに設定します。
• 本機が記録動作中のときカーソル（▶）はこの項目に移動しません。</td></tr>
<tr><td>BACK SPACE [HDV]*</td><td>HDVモードにてIEEE1394端子に外部HDDやバックアップ用レコーダーを接続したとき、この項目の設定に応じて、本機の記録開始時のテープ走行動作（バックスペースやプリロール時間）がコントロールされます。
P-1394　：IEEE1394端子の接続機器での記録動作を優先します。(AUTO設定)
P-TAPE　：本機での記録動作を優先します。
<table>
<tr><th>BACK SPACE [HDV]</th><th>IEEE1394接続</th><th>1394 REC TRIGGER
(☞ 81 ページ)</th><th>内部VTR記録
開始遅延時間</th><th>IEEE1394接続機器</th></tr>
<tr><td rowspan="8">P-1394</td><td rowspan="4">接続あり
および
電源ON</td><td>OFF</td><td rowspan="4">約3秒</td><td>動作せず</td></tr>
<tr><td>SYNCRO</td><td>注 1 参照</td></tr>
<tr><td>SPLIT</td><td>注 2 参照</td></tr>
<tr><td>SERIES</td><td>動作せず</td></tr>
<tr><td rowspan="4">接続なし
または
電源OFF</td><td>OFF</td><td rowspan="4">約1秒</td><td rowspan="4">動作せず</td></tr>
<tr><td>SYNCRO</td></tr>
<tr><td>SPLIT</td></tr>
<tr><td>SERIES</td></tr>
<tr><td rowspan="8">P-TAPE</td><td rowspan="4">接続あり
および
電源ON</td><td>OFF</td><td rowspan="4">約1秒</td><td rowspan="3">注 3 参照</td></tr>
<tr><td>SYNCRO</td></tr>
<tr><td>SPLIT</td></tr>
<tr><td>SERIES</td><td>動作せず</td></tr>
<tr><td rowspan="4">接続なし
または
電源OFF</td><td>OFF</td><td rowspan="4">約1秒</td><td rowspan="4">動作せず</td></tr>
<tr><td>SYNCRO</td></tr>
<tr><td>SPLIT</td></tr>
<tr><td>SERIES</td></tr>
</table>
注 1 ：
RECトリガーボタンを押してから約 3 秒後、RECスタート信号が出力されます。
* 実際の記録開始時間は、接続したレコーダーの性能によります。
注 2 ：
RECトリガーボタンを押すと、すぐにRECスタート信号が出力されます。
* 実際の記録開始時間は、接続したレコーダーの性能によります。
注 3 ：
本機内部のVTRがバックスペース動作中（RECトリガーが操作された時）、IEEE1394端子からのストリームは途切れます。そのため、外部レコーダーのテープ記録には画抜けが発生することがあります。また、外部HDDの場合、記録動作に移行しなかったり、ファイルが分割されることがあります。</td></tr>
</table>

OTHERS[2/2]メニュー画面（つづき）

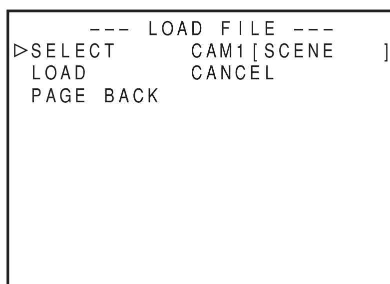
* VTRモード時は表示されません

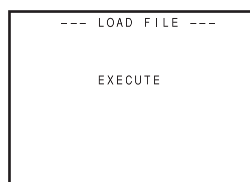
項　目	機　能　・　設　定　値（太字が初期設定値）
DR-HD100 A. OFF*	DR-HD100（FOCUS enhancements製HDDユニット）の電源OFFを本機の電源OFFに連動させるかどうかを選択します。 **OFF**　：連動させません。 ON　：連動して電源OFFさせます。 **メモ** • DR-HD100を接続すると、液晶画面およびビューファインダーの右上部にDDマークが表示されます。このマークが表示される前に、本機を電源OFFにした場合は、この項目を“ON”に設定していても連動できません。 • 下記の場合、本設定は無効となり、DR-HD100は本機に連動して電源OFFしません。 1394 REC TRIGGER項目がOFF設定時 VTRモード時 • DR-HD100の電源が連動してOFFになった後、本機の電源を再度ONにすると、約12秒後に本機の液晶画面上に“DR-HD100 POWER?”が約7秒間表示されます。
MENU ALL RESET	メニュー画面の設定を初期設定値にリセットするかを選択します。 カメラモードおよびVTRモードのメニュー設定がリセットされます。 （TC PRESET、UB PRESET、CLOCK AJUSTの設定値は、リセットされません。） **CANCEL**　：リセットしません。 EXECUTE　：リセットします。 **メモ** • 本機がVTR動作中やEJECT動作中のとき、カーソル（▶）はこの項目に移動しません。 • 現在のメニュー設定と工場出荷時設定が異なるFRAME RATE設定の場合、3秒間リブート表示され自動的に電源が切れた後、ONになります。
PAGE BACK	カーソルがこの位置にあるとき、SHUTTERダイヤルを1度押すと、OTHERS[1/2]メニュー画面に戻ります。
DRUM HOUR	ドラム使用時間を表示します。 定期メンテナンスの目安としてください。 カーソル（▶）はこの項目に移動しません。
FAN HOUR	ファンモーター使用時間を表示します。 定期メンテナンスの目安としてください。 カーソル（▶）はこの項目に移動しません。

FILE MANAGEメニュー画面

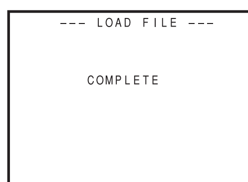


FILE MANAGEメニュー画面

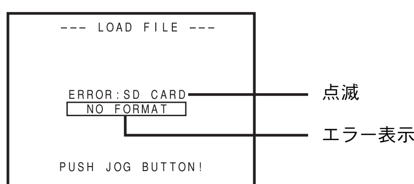




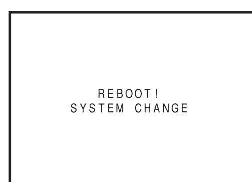
実行中



正常終了



異常終了



リブート表示

FILE MANAGEメニュー画面は次の事がおこなえます。

- 撮影状況に応じた設定を瞬時に呼び出せる呼び出し専用ファイルを装備

LIVE HD30P	：HD30P撮影に適した設定
LIVE HD25P	：HD25P撮影に適した設定
CINELIKE HD24P	：映画のような映像撮影に適した設定

*上記の専用ファイルは、保存およびリセットできません。
- メニュー設定内容をファイル（本機：CAM1、CAM2、SDメモリーカード：EXT1、2、3、4）に保存します。
- 保存したファイルを読み出します。
- 保存するファイルにSUB NAMEを設定できます。
- メニュー設定内容を工場出荷時設定にリセットします。
- SDメモリーカードの初期化（フォーマット）ができます。
- LOAD、STORE RESET、FORMAT SD CARD項目をCANCELに設定すると、各動作は実行しません。
- 液晶画面やビューファインダーにメッセージが表示されます。

実行中 ：3秒間表示
正常終了 ：3秒間表示
異常終了 ：点滅表示（エラー表示☞ 84 ページ）

異常終了した場合
- STATUSボタンを押す→通常画面に戻ります。
- SHUTTERダイヤルを押す→FILE MANAGEメニュー画面に戻ります。

- FILE MANAGE画面を終了する場合：
PAGE BACKにカーソル（▶）を合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
または
STATUSボタンを押します。

■ FILE MANAGEメニュー画面を表示させる

TOP MENU画面のFILE MANAGE..項目を選択します。

■ メニュー設定のファイルを読み出す

FILE MANAGEメニュー画面のLOAD FILE..項目を選択します。

1. SHUTTERダイヤルを回し、カーソル（▶）をSELECTに合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
   - ファイル名の設定値部分が点滅します。
2. SHUTTER ダイヤルを回し、読み出すファイルを選択し、SHUTTERダイヤルを押します。
3. SHUTTERダイヤルを回し、カーソル（▶）をLOAD項目に合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
   - EXECUTEが点滅します。
4. EXECUTE を選択した状態で SHUTTER ダイヤルを押すと、選択したファイルのメニュー設定を読み出します。
現在のメニュー設定と読み出すメニュー設定が異なる映像フォーマット設定の場合、3秒間リブート表示され自動的に電源が切れた後、ONになります。

FILE MANAGEメニュー画面（つづき）

1. 2.

```
   --- STORE FILE ---
▷SELECT      CAM1[SCENE    ]
 EDIT
  SUB NAME   [SCENE    ]
 STORE       OVERWRITE
 PAGE BACK
```

3.

```
   --- STORE FILE ---
 SELECT      CAM1[SCENE    ]
 EDIT
▷ SUB NAME   [SCENE    ]
 STORE       OVERWRITE
 PAGE BACK
```

設定可能文字

```
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ-
1234567890□
```

スペース

4.

```
   --- STORE FILE ---
 SELECT      CAM1[SCENE    ]
 EDIT
  SUB NAME   [SCENE    ]
▷STORE       OVERWRITE
 PAGE BACK
```

5. 6.

```
--- STORE FILE ---

EXECUTE
```

実行中

```
--- STORE FILE ---

COMPLETE
```

正常終了

```
--- STORE FILE ---

ERROR:SD CARD
NO FORMAT

PUSH JOG BUTTON!
```

点滅

エラー表示

異常終了

■ 設定値を保存する

FILE MANAGEメニュー画面のSTORE FILE..項目を選択します。

1. SHUTTERダイヤルを回し、カーソル（▶）をSELECTに合わせSHUTTERダイヤルを押します。
- ファイル名の設定値部分が点滅します。

2. SHUTTERダイヤルを回し、保存先ファイルを選択しSHUTTERダイヤルを押します。

■ SUB NAMEを設定する

SUB NAMEを設定しない場合は、手順**5.**へ

3. SHUTTERダイヤルを回し、カーソル（▶）をSUB NAMEに合わせSHUTTERダイヤルを押します。
- ファイル名の1文字目が点滅します。

4. SHUTTERダイヤルを回し、文字を選択しSHUTTERダイヤルを押します。
- ファイル名の2文字目が点滅します。

8文字目まで手順**4.**を繰り返します。

5. SHUTTERダイヤルを回し、カーソル（▶）をSTORE項目に合わせSHUTTERダイヤルを押します。
- EXECUTE（ファイルがすでに存在する場合は“OVERWRITE”）が点滅します。

6. EXECUTE を選択した状態で SHUTTER ダイヤルを押すと、メニュー設定が選択したファイルに保存されます。

■ エラー表示

- **NO CARD:**

SDメモリーカードが装填されていません。
SDメモリーカードを装填してください。

- **NO FORMAT:**

SDメモリーカードが初期化（フォーマット）されていません。
SDメモリーカードを初期化（フォーマット）してください。

- **NO ACCESS:**

SDメモリーカード異常です。
SDメモリーカードを交換してください。

- **WRITE PROTECT:**

SDメモリーカードがライトプロテクトの可能性があります。
ライトプロテクトが解除されているか確認してください。

- **CARD FULL:**

SDメモリーカードの容量不足です。
不要なデータを消去するか初期化（フォーマット）してください。

- **INVALID VIDEO FORMAT:**

対応していない映像フォーマット設定のファイルを呼び出そうとしています。
対応していない映像フォーマット設定のファイルは、呼び出しできません。

- **READ ONLY FILE:**

呼び出し専用ファイルです。
呼び出し専用ファイルには、保存できません。

■ メニュー設定を工場出荷時設定にリセットする

```
--- RESET FILE ---
▷SELECT      CAM1[SCENE    ]
 RESET       EXECUTE
 PAGE BACK
```

FILE MANAGEメニュー画面のRESET FILE..項目を選択します。

1. SHUTTERダイヤルを回し、カーソル（▶）をSELECTに合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
- リセットするファイル名の設定値部分が点滅します。

2. SHUTTERダイヤルを回し、リセットするファイル名を選択し、SHUTTERダイヤルを押します。
CAM1、CAM2、CURRENT（現在設定値）

3. SHUTTERダイヤルを回し、カーソル（▶）をRESET項目に合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
- EXECUTEが点滅します。

4. EXECUTE を選択した状態で SHUTTER ダイヤルを押すと、設定値がリセットされます。

現在のメニュー設定と工場出荷時設定が異なる映像フォーマット設定の場合、3秒間リブート表示され自動的に電源が切れた後、ONになります。
このとき、SUB NAMEは初期値の“[SCENE]”になります。

```
--- RESET FILE ---
EXECUTE
```

実行中

```
--- RESET FILE ---
COMPLETE
```

正常終了

```
REBOOT!
SYSTEM CHANGE
```

リブート表示

メモ

CAM1、CAM2をリセットしても現在設定されている値はリセットされません。
現在設定されている値をリセットする場合は“CURRENT”を選択します。

■ SDメモリーカードを初期化（フォーマット）する

初期化（フォーマット）する前に

❶SDメモリーカードの出し入れは、本機の電源がOFFのときにおこなってください。

❷SD メモリーカードのライトプロテクトを解除してください。

❸本機に SD メモリーカードが装填されていることを確認してください。

1. SHUTTERダイヤルを回し、カーソル（▶）を FORMAT SD CARD項目に合わせSHUTTERダイヤルを押します。
- CANCELが点滅します。

2. SHUTTERダイヤルを回し、EXECUTEを点滅させSHUTTERダイヤルを押すと、初期化（フォーマット）を実行します。

```
--- FILE MANAGE ---
FORMAT SD CARD
EXECUTE
```

実行中

```
--- FILE MANAGE ---
FORMAT SD CARD
COMPLETE
```

正常終了

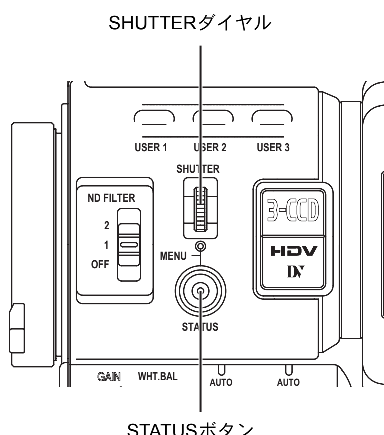
```
--- FILE MANAGE ---
ERROR:SD CARD
NO FORMAT
PUSH JOG BUTTON!
```

点滅
エラー表示
異常終了

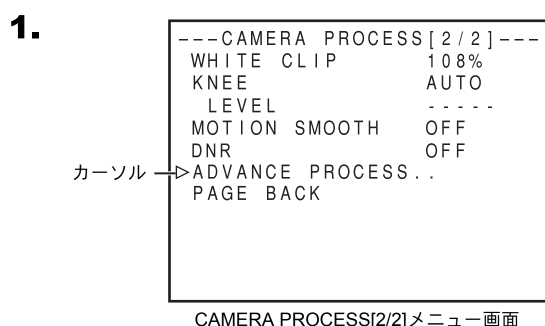
異常終了した場合
“初期化（フォーマット）する前に”の❷、❸を確認してください。

カメラの各種機能について

スキンディテールの使い方

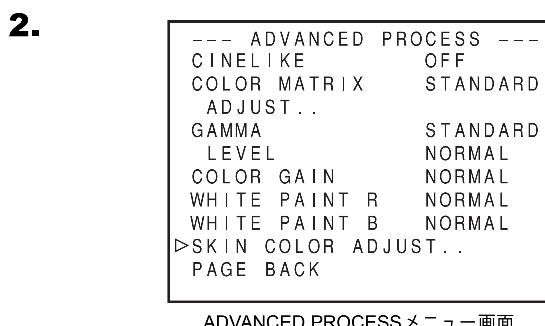


1.



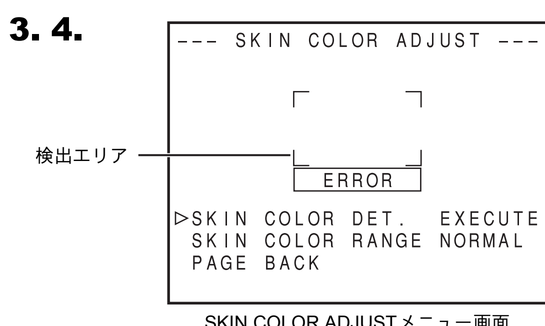
CAMERA PROCESS[2/2]メニュー画面

2.

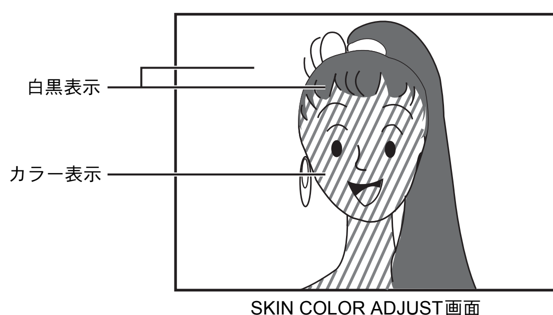


ADVANCED PROCESSメニュー画面

3. 4.



SKIN COLOR ADJUSTメニュー画面



SKIN COLOR ADJUST画面

ビデオ信号の肌色部分の輪郭強調をおさえ、肌色をしっとりとなめらかに見せることができます。

■ スキンディテール機能の色や範囲を設定する。

1. ADVANCED PROCESSメニュー画面を表示させます。
メニュー設定の手順で
TOP MENU画面→CAMERA PROCESS[1/2]→CAMERA PROCESS[2/2]→ADVANCED PROCESS項目を選択します。

2. SHUTTERダイヤルを回し、カーソル(▶)をSKIN COLOR ADJUST項目に合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
- SKIN COLOR ADJUST画面を表示します。
- 画面全体が白黒表示となり、スキンディテール機能で認識している部分のみがカラーで表示されます。

3. カーソル(▶)をSKIN COLOR DET.項目に合わせ、SHUTTERダイヤルを押し、EXECUTEにすると、スキンカラー検出モードとなります。

4. 検出エリアの枠内に検出したい色の部分が入るように撮像します。
検出を決定するには、SHUTTERダイヤルを押しSKIN COLOR DET.をSTOPにします。
- 画面上の枠内がスキンディテール機能の検出エリアです。
- 検出エリア内の色をスキンディテール機能が働く色として認識します。
- 検出エリア内の色をスキンディテール機能が働く色として認識しない場合は画面上に“ERROR”を表示します。

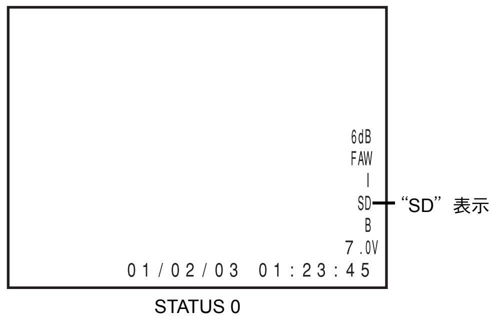
5. スキンカラー検出で認識した色の範囲を変えたい場合は次のようにします。

❶SHUTTERダイヤルを回して、カーソル(▶)をSKIN COLOR RANGEに合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。
→設定値部分が点滅し、可変状態になります。

❷SHUTTERダイヤルを上下に回して、色の範囲を広げたり、又は狭くします。
- カラー表示を確認しながら範囲を設定します。

❸色の範囲を確定するため、SHUTTERダイヤルを押します。
- 設定値が点灯状態に戻ります。

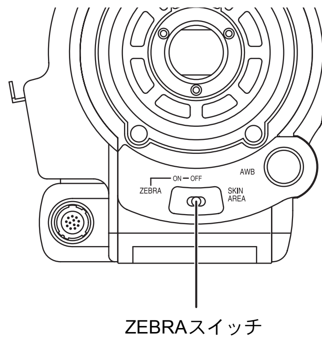
6. SKIN COLOR ADJUSTを止めるにはSHUTTERダイヤルを回してカーソル(▶)をPAGE BACKに合わせ、SHUTTERダイヤルを押します。



STATUS 0

■ スキンディテール機能を使う。

SKIN COLOR ADJUST画面で設定したスキンディテール機能を使う場合は、CAMERA PROCESS[1/2]メニュー画面内のSKIN DETECT項目を“ON”に設定します。
また、LEVEL項目でビデオ信号のはだ色部分の輪郭強調をおさえるレベルを3段階で設定できます。☞ 67 ページ
スキンディテール機能が動作中液晶画面やビューファインダーのステータス0およびステータス1画面に“SD”を表示します。



ZEBRAスイッチ

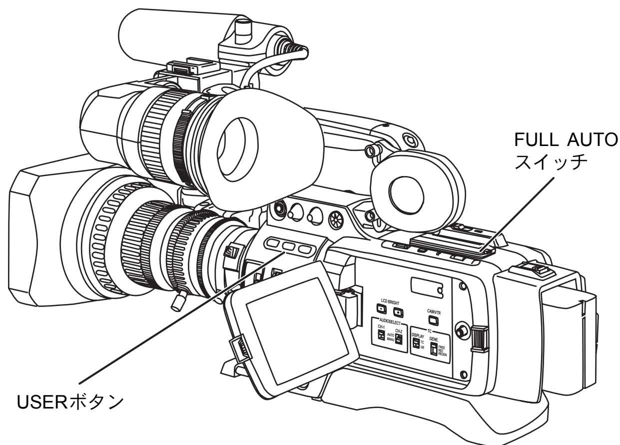
■ スキンディテール調整した色相エリアを確認する。

前面部のZEBRAスイッチを“SKIN AREA”側に押すと、スキンディテール機能がONになり、液晶画面やビューファインダーにスキンディテール調整した色相エリアをカラー表示します。

メモ

ADVANCED PROCESSメニュー画面のCOLOR GAIN項目が“OFF”設定時、スキンディテールが機能している部分のみ肌色で表示されます。☞ 69 ページ

カラーバーを出力する



本機は、カメラ設定に応じて3種類のカラーバーを出力できます。

NTSC方式時	：SMPTE準拠のカラーバーを出力します。
PAL方式時	：EBU準拠のカラーバーを出力します。
16:9画面時	：マルチフォーマットカラーバーを出力します。

カラーバーを出力する場合は、下記の設定をします。

1. FULL AUTOスイッチを“OFF”にします。

2. CAMERA OPERATIONメニュー画面の“BARS”項目を“ON”に設定します。☞ 66 ページ
- カラーバーが出力されます。

■ USERボタンを使ってカラーバーを出力する場合

1. FULL AUTOスイッチを“OFF”にします。

2. “USER1 ～ 3”ボタンのいずれかに“BARS”を割り付けます。
☞ 71 ページ「SWITCH MODEメニュー画面」

3. “BARS”を割り付けた“USER”ボタンを押します。
- カラーバーが出力されます。

メモ

- カラーバー出力時、オーディオ基準信号を出力するかをAUDIO/MIC[1/2]メニュー画面のTEST TONE項目で選択できます。☞ 72 ページ
- FULL AUTO ON時やVTRモード時カラーバーは出力しません。

その他

警告表示とその対応

本機は操作ミスのメッセージ、バッテリーやテープ残量の予告およびVTRで異常があった場合の警告を液晶画面やビューファインダー画面に表示します。
また、テープやバッテリー残量が少なくなったり、VTRで異常があった場合、タリーランプが点滅（または点灯）し、モニタースピーカーやPHONES端子からアラーム音を出力します。

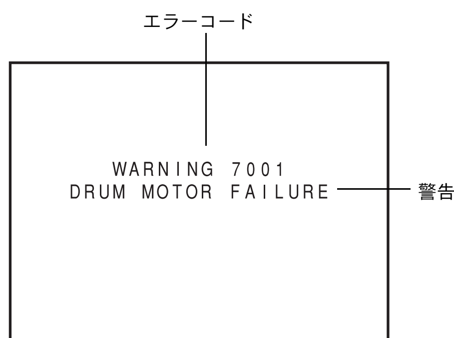
メモ

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。このような時は、電源を入れ直してください。

表　示	状　況	処　置
60/30 24 INHIBIT CHANGE FRAME RATE MENU	FRAME RATE項目が50/25設定時に60/30、24フレームのHDVフォーマットで記録したテープを再生、またはVTRモードで1394入力されています。	VIDEO FORMATメニュー画面のFRAME RATE項目をフレームに合わせて設定してください。 ☞ 64 ページ
60/30 INHIBIT CHANGE FRAME RATE MENU	FRAME RATE項目が50/25設定時に60/30フレームのDVフォーマットで記録したテープを再生、またはVTRモードで1394入力されています。	
50/25 INHIBIT CHANGE FRAME RATE MENU	FRAME RATE項目が60/30または24設定時に50/25フレームのHDV/DVフォーマットで記録したテープを再生、またはVTRモードで1394入力されています。	
24 INHIBIT CHANGE FRAME RATE MENU	FRAME　RATE項目が50/25設定時に24フレームのDVフォーマットで記録したテープを再生、またはVTRモードで1394入力されています。	
DV-60I INVALID! DV-24P INVALID! DV-24PA INVALID!	FRAME　RATE項目が50/25設定時DV-60I、DV-24P、DV-24PAで記録したテープを再生、またはVTRモードで1394入力されています。	FRAME RATE項目が50/25設定時は、DV-60I、DV-24P、DV-24PAで記録したテープを再生、またはVTRモードで1394入力はできません。
DV-50I INVALID! DV-25P INVALID!	FRAME　RATE項目が60/30または24設定時DV-50I、DV-25Pで記録したテープを再生、またはVTRモードで1394入力されています。	FRAME RATE項目が60/30または24設定時は、DV-50I、DV-25Pで記録したテープを再生、またはVTRモードで1394入力はできません。
INVALID TAPE!	パソコン用データテープやDVC PROカセットを使用しています。	ビデオ用MiniDVカセットをお使いください。
LP TAPE INVALID!*	LPモードで記録したテープを再生しようとしています。	本機はLPモードで記録や再生はできません。
NO DV SIGNAL*	DV信号が入力されていません。	IEEE1394スイッチをDV側にしてDV信号を入力してください。
NO HDV SIGNAL*	HDV信号が入力されていません。	IEEE1394スイッチをHDV側にしてHDV信号を入力してください。
COPY INHIBIT*	コピーガード付き信号を記録しようとしています。	コピーガード付き信号は記録できません。
REC INHIBIT*	記録不可カセットテープ（背面スイッチがSAVE設定）が挿入されています。	カセットテープの背面スイッチをRECに設定してください。
NO TAPE*	カセットテープが挿入されていません。	カセットテープを挿入してください。
LOW VOLTAGE*	バッテリーの容量が少ない。	充電したバッテリーの準備または交換をしてください。
TAPE NEAR END*	テープ残量が3分未満です。（記録時のみ点滅表示）	撮影を続ける場合は新しいテープの準備または交換をしてください。
TAPE END*	テープが終了したとき表示します。	テープを交換してください。
CHANGE 1394 SWITCH*	IEEE1394接続時、記録または再生の映像フォーマットとIEEE1394設定が異なった設定です。	IEEE1394スイッチを正しく設定し、電源を入れ直してください。
SWITCH TO VTR MODE*	カメラモード時にFF、REWボタンを操作しようとしています。	CAM/VTRボタンを押してVTRモードに設定してください。
HEAD CLEANING REQUIRED	ビデオヘッドが汚れたとき表示します。（ヘッドの目詰まりは撮影モードのエディトサーチ時および再生時に検出し、表示します。）	専用のヘッドクリーニングテープで清掃してください。 ☞ 7 ページ
CLEANING TAPE!	ヘッドクリーニングテープが挿入されたとき表示します。	ヘッドクリーニングテープを取り出すと表示が消えます。
COPY GUARD!*	コピーガード付きテープを再生しようとしています。	コピーガード付きテープは再生できません。
FAN MOTOR HOUR	ファンモーター使用が規定時間以上です。	お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
PUSH CASSETTE COVER*	カセットカバーが確実に閉じていません。	カセットカバー上中央部を軽く押してください。

* 液晶画面のステータス拡大表示中は、液晶画面にはワーニング表示しません。
☞ 26 ページ「液晶画面のステータス拡大表示」

警告表示とその対応（つづき）



- **VTR**異常時の警告表示
  VTRが動作中に不具合が発生した場合、その原因を自己診断し、その結果をエラーコードを付けて液晶画面やビューファインダー画面に表示します。

エラーコード	エラーの内容	本機の動作	処　置
0201 CONDENSATION ON DRUM	つゆつき（結露）状態を示します。	動作を停止します。全ての操作を受け付けません。	電源を入れた状態で、表示が消えるまで待ってください。
3200 LOADING FAILURE	テープをローディングできない		電源を入れ直すと解除しますが、場合によってはテープを傷める事がありますので、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
3300 UNLOADING FAILURE	テープをアンローディングできない		
4100 CASSETTE EJECT FAILURE	イジェクト動作の異常		
5605 - 5609 DEFECTIVE TAPE	テープ切れ	動作を停止します。	EJECTボタンを押して、カセットテープを取り出してください。
5702 TAPE END DET. ERROR	テープエンドセンサー異常	動作を停止します。全ての操作を受け付けません。	電源を入れ直すと解除しますが、場合によってはテープを傷める事がありますので、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
5802 TAPE BEGIN DET. ERROR	テープビギンセンサー異常		
7001 DRUM MOTOR FAILURE	ドラムの回転異常		
7101 CAP MOTOR FAILURE	キャプスタンの回転異常		
7202 - 7203 SUPPLY REEL FAILURE	サプライリールの回転異常		
7302 - 7303 TAKE UP REEL FAILURE	テイクアップリールの回転異常		
7305 TAKE UP REEL FAILURE	アンローディング時のテープ巻き取り異常		
8000 EMERGENCY TAPE!	テープ検出異常		
TURN POWER OFF. TURN BACK ON LATER.	電源立ち上げ時のシステムエラー	HDV/DV表示灯、VTRインジケーター、タリーランプ点滅。POWERスイッチのみ操作を受け付けます。	電源を切ってしばらく放置してから電源を入れ直してください。

■ タリーランプ
バッテリーやテープ残量が少なくなると点滅します。
（カメラモード時のみ）

点滅状況	バッテリー／テープ残量
ゆっくり点滅 （1秒間1回）	• バッテリー残量が少ない • テープ残量が3分未満
早く点滅 （1秒間に4回）	• テープが終了 • VTRに異常が発生した場合

■ アラーム音
バッテリーやテープ残量が少なくなると、モニタースピーカーやPHONES端子から、アラーム音を出力します。
（カメラモード時のみ）
また、VTRに異常が発生した場合も、アラーム音を出力します。

アラーム音出力の有無や音量はOTHERS[1/2]メニュー画面のALARM VR LEVEL項目で選択できます。

■ アラーム状況に応じて、液晶画面／ビューファインダー画面のアラーム表示、タリーランプおよびアラーム音は下表のように表示または出力します。

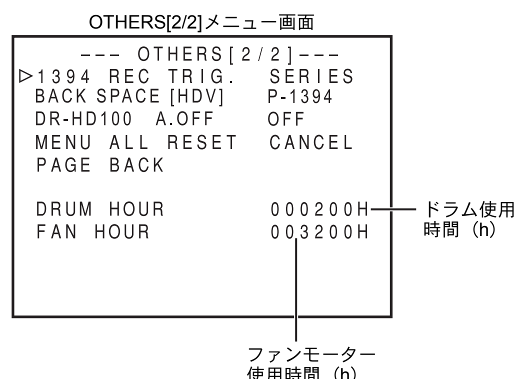
液晶画面/ビューファインダー画面のアラーム表示	TALLYランプ	アラーム音	状　況
VTR警告表示 （例） 7001 DRUM MOTOR FAILURE	1秒間に4回点滅	連続音	つゆつき（結露）やVTRに異常が発生した
TAPE NEAR END	1秒間に1回点滅	1秒間に1回の断続音	テープ終了約3分前 （記録時に表示します）
TAPE END	1秒間に4回点滅	連続音	テープが終了 （記録時に表示します）
LOW VOLTAGE	1秒間に1回点滅	1秒間に1回の断続音	バッテリー残量が少ない

表示記号
◑ ：1秒間に1回点滅
⊛ ：1秒間に4回点滅
—||||— ：1秒間に1回の断続音
|||||||| ：連続音

こんなときは

症　状	処　置
電源が入らない。	• 電源ユニットが正しく接続されていますか。 • バッテリーは充電されていますか。 • 電源を切った後すぐに電源を入れなかったですか。 電源の再立ち上げは5秒以上時間を空けてからおこなってください。
記録ができない。	• ハンドル部のREC LOCKスイッチがONになっていませんか。 • カセットのスイッチが“REC”になっていますか。“SAVE”のときは“REC”にセットしてください。 • カメラモードになっていますか。（VTRインジケーターが消灯していますか。） VTRインジケーターが点灯しているときは、CAM/VTRボタンを押し、VTRインジケーターを消灯させてください。
液晶画面やビューファインダー画面にカメラ画が出力されない。	• カメラモードになっていますか。（VTRインジケーターが消灯していますか。） VTRインジケーターが点灯しているときは、カメラ画を出力しません。 VTRインジケーターが点灯しているときは、CAM/VTRボタンを押し、VTRインジケーターを消灯させてください。
液晶画面やビューファインダー画面の画像が暗かったり、ぼんやりしている。	• 液晶画面やビューファインダーのコントラストと明るさを調整しなおしてください。 • NDフィルタースイッチが2にセットされていないか確かめてください。 • アイリスが閉じていないか確かめてください。 • シャッター速度が速すぎる設定になっていないかどうか確かめてください。 • ビューファインダーケーブルの接続を確認してください。
再生ボタンを押しても、再生にならない。	• カメラモード時、VTR動作モード表示が“STOP”になっていますか。 “STBY”表示の時はSTOPボタンを押し“STOP”表示にしてください。
再生できない。	• VIDEO FORMATメニュー画面のPB TAPE項目がAUTO以外の設定になっていませんか。 このメニュー項目とテープフォーマットが一致していないと再生できません
HDV/DV信号を入力できない。	• VTRモードになっていますか。（VTRインジケーターが点灯していますか。） • IEEE1394スイッチは、正しく設定されていますか。
再生画面にノイズが出る。	• ビデオヘッドにゴミが付いています。専用のヘッドクリーニングテープでヘッドを清掃してください。☞ 7 ページ「クリーニングテープ使用上のご注意」
再生時、音声が出力しない。	• AUDIOメニュー画面のAUDIO SELECT項目がCH3/4に設定されていませんか。 撮影時の音声を出力する場合は、CH1/2に設定してください。
他のセットで記録したテープを本機で再生したとき、ノイズが出る。 他のセットで記録したテープを本機で記録したとき、つなぎ目が乱れる。	• 本機以外のセットで記録したテープを再生または記録した場合、トラキングずれにより左記の現象が発生することがあります。 • HDV 1080i フォーマットで記録したテープを再生しようとしていませんか。 本機は、HDV 1080iフォーマットで記録したテープは、再生および出力できません。
録音レベルボリュームが効かない。	• CH-1/CH-2 AUDIO SELCTスイッチが“AUTO”になっていませんか。 • FULL AUTOスイッチが“ON”になっていませんか。
SDメモリーカードが初期化（フォーマット）できない。	• SDメモリーカードがライトプロテクト状態になっていませんか。☞ 31 ページ
フル充電されたバッテリーを入れても、バッテリーアラームが表示される。	• バッテリーが古くないですか。
電源投入後、カセットがイジェクトしない。	• 電源の電源容量が不十分な場合がありますので、電源電圧を確認してください。
タイムコードやユーザーズビットを表示しない。	• LCD/VF[2/3]メニュー画面のTC/UB項目がOFFになっていませんか。 表示する場合は、ONに設定してください。
日付・時刻が表示されない。	• TIME/DATEメニュー画面のDISPLAY項目がOFFになっていませんか。 表示する場合はONに設定してください。 • 日付・時刻は設定されていますか。☞ 37、38 ページ「日付・時刻の設定／表示」

アワーメーター表示のしかた



本機はアワーメーターとしてドラムおよびファンモーター使用時間をOTHERS[2/2]メニュー画面のDRUM HOUR項目およびFAN HOUR項目に表示します。
定期メンテナンスの目安としてください。☞ 7 ページ

1. POWERスイッチをONにします。
2. STATUSボタンを1秒以上押し、TOP MENU画面を表示させます。
3. SHUTTERダイヤルをまわして、OTHERS..項目を選択しSHUTTERダイヤルを押します。
   OTHERS[1/2]メニュー画面を表示します。
4. OTHERS[1/2]メニュー画面のNEXT PAGE項目を選択し、SHUTTERダイヤルを押します。
   OTHERS[2/2]メニュー画面を表示します。

■ OTHERS[2/2]メニュー画面

DRUM HOUR項目 ：ドラム使用時間を表示します。
FAN HOUR項目 ：ファンモーター使用時間を表示します。

5. 通常画面表示にもどすには、次のいずれかの操作をします。
   • STATUSボタンを押す。
   または
   • TOP MENU画面にもどして、TOP MENU画面のEXIT項目を選択し、SHUTTERダイヤルを押す。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記載および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

■ 保証期間について
保証期間はお買い上げ日より1年間です。以後は有償修理となります。保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理致します。なお、修理保証以外の補償は致しかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる製品については、お客様のご要望により有料にて修理致します。

■ アフターサービスについてのお問い合わせ先
ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店または別紙ビクターサービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店またはビクターサービスにご相談ください。

機種名：GY-HD100
故障の状態をできるだけ詳しく：
購入年月日：
ご住所、ご氏名、電話番号：

■ 商品廃棄について
この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

仕様

[一般]

電源 : DC 7.2 V
消費電力 : 約16.5 W（記録時）
外形寸法 : 235（幅）× 232（高さ）× 341（奥行き）mm
質量 : 3.3 ㎏（撮影時：レンズ（Th16×5.5BRMU）、ビューファイダー、バッテリー、テープ、マイクロホンを含む）

許容動作温度 : 0℃ ～ 40℃
許容保存温度 : –20℃ ～ 60℃

許容動作湿度 : 30% ～ 80% RH
許容保存湿度 : 85% RH 以下

[カメラ部]

映像素子 : 1/3型　ITCDDT × 3
色分解プリズム : F1.4、3色分解プリズム
総画素数 : 111万画素
カラー方式 : 広帯域色差方式（NTSC/PAL）
カラーバー : SMPTE/EBUタイプ
同期方式 : 内部同期（内蔵SSG）
レンズマウント : 1/3型バヨネット方式
光学フィルター : 1/4ND、1/16ND
ゲイン : 0、3、6、9、12、15、18 dB、ALC
電子シャッター : 標準 59.94 Hz
Fixed values : 7.5 ～ 10,000 Hz, 11 ステップ (HDV HD30p/HDV SD60p/DV 60i)
6.25 ～ 10,000 Hz, 11 ステップ (HDV HD25p/HDV SD50p/DV 50i)
6 ～ 10,000 Hz, 12 ステップ (HDV HD24p/DV 24p)
6.25 ～ 10,000 Hz, 11 ステップ (DV 25p)
バリアブルスキャン : 60.19 ～ 1,998.0 Hz (HDV HD30p/HDV SD60p/DV 60i)
50.17 ～ 1,982.8 Hz (HDV HD25p/HDV SD50p/DV 50i)
48.11 ～ 1,998.0 Hz (HDV HD24p)
24.01 ～ 1,998.0 Hz (DV 24p)
25.04 ～ 1,982.8 Hz (DV 25p)
ダイナミックレンジ : 300%以上

[VTR部]

記録フォーマット : 720/24p、720/25p、720/30p、576/50p、480/60p、480/24p、480/60i、576/25p、576/50i
映像フォーマット
[HDV]
映像記録信号 : HDV720p方式、8-bit、19.7 Mbps
映像圧縮 : MPEG-2 video (profile & level: MP@H-14)
[DV]
映像記録信号 : DV format、8-bit、25 Mbps
映像圧縮 : DV圧縮 4:1:1 (NTSC)/4:2:0 (PAL)

音声
[HDV]
音声記録信号 : MPEG1 Audio Layer II
[DV]
音声記録信号 : 48 kHz、16 bit (locked audio)、2 ch PCM/32kHz、12bit 4ch PCM
使用カセットテープ : ミニDVテープ
テープスピード : 18.8 mm/sec
記録／再生時間 : 63分（M-DV63PROテープ使用時）

[端子部]

アナログコンポジット出力 : 1.0 V（p-p）、75 Ω、RCA（不平衡）
アナログコンポーネント出力
Y : 1.0 V（p-p）、75 Ω、RCA（不平衡）
PB/PR : 0.7 V（p-p）、75 Ω、RCA（不平衡）
オーディオ入力
マイク : –60 dBs、3 kΩ、XLR（平衡）、+48 V 出力（ファンタム電源供給）
ライン : +4 dBs、10 kΩ、XLR（平衡）
オーディオ出力 : –8 dBs、ローインピーダンス、ステレオミニジャック（不平衡）
イヤホンジャック : –17 dBs ～ –60 dBs、8 Ω インピーダンス、ステレオミニジャック×2
IEEE1394端子 : 6ピン

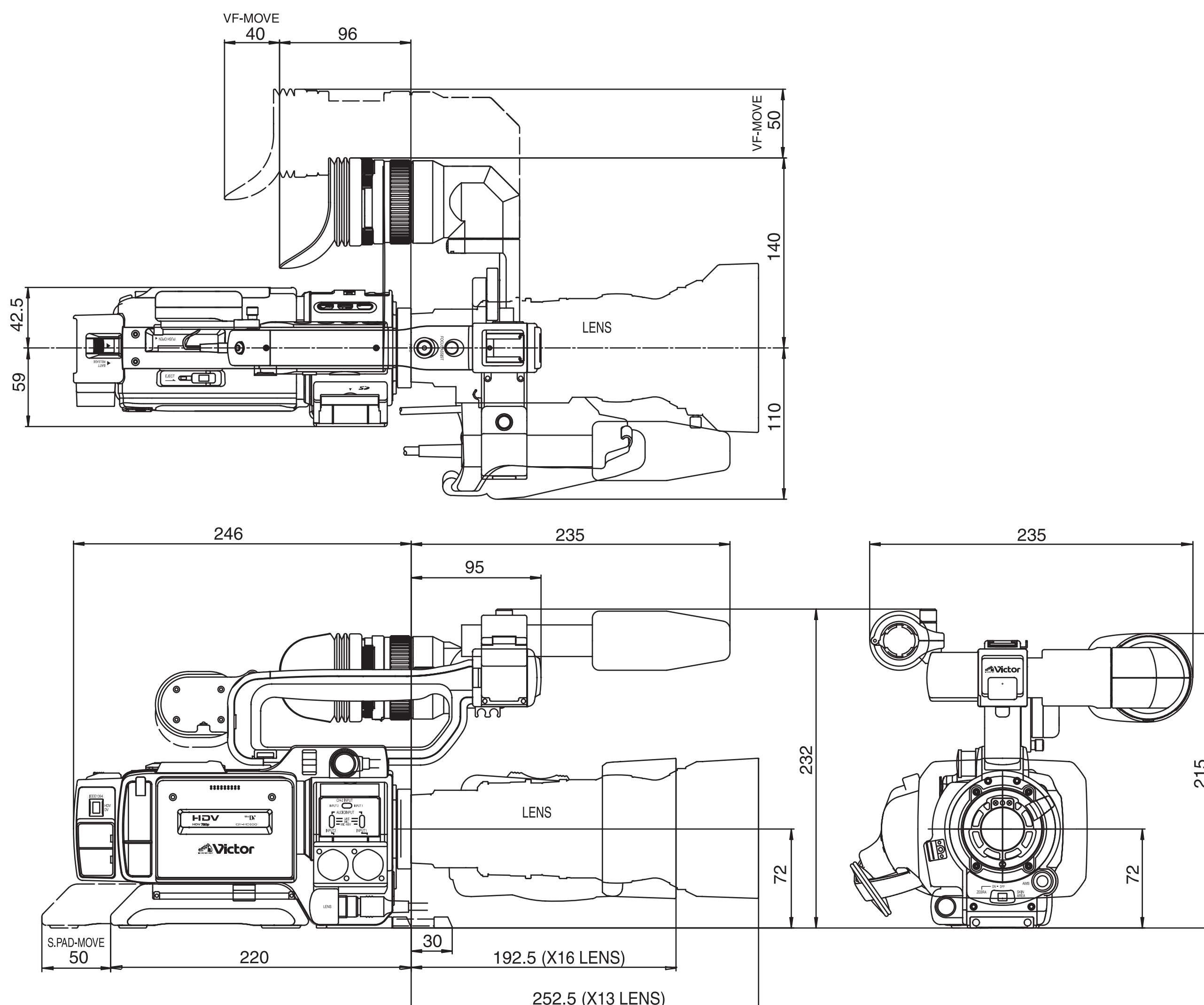
[付属品]

レンズ	: 1
マイクロホン	: 1
ACアダプター	: 1
バッテリー	: 1
DCケーブル	: 1 (2m)
電源コード	: 1 (2m)
コアフィルター	: 2
クランプフィルター	: 2
取扱説明書	: 1
保証書	: 1
ビクターサービス窓口案内	: 1

[ACアダプター部]

電源入力	: AC 100 V～ 240 V 50 Hz/60Hz
電源出力	: DC 7.2 V 、1.2 A（充電時） DC 7.2 V 、2.3 A（電源供給時）
入力容量	: 27 VA（AC 100 V充電時） 38 VA（AC 240 V充電時） 43 VA（AC 100 V VTR時） 57 VA（AC 240 V VTR時）
許容動作温度	0 ℃～40 ℃ （充電時は10 ℃～35 ℃）
外形寸法	: 幅122 mm × 高さ51 mm × 奥行き92 mm
質量	: 約280 g（本体のみ）

外形寸法図（単位：mm）



* 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル
 0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950［代表］
FAX (045)450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　電話 (042) 660-7245

LST0398-001A